

# 神栖市学校施設等長寿命化計画

(素案)



令和2年 1月

神栖市



## 目 次

はじめに ～学校施設等長寿命化計画とは～	1
第1章 背景・目的等	3
1.1 背景・目的	3
1.2 位置づけ	4
1.3 計画期間	4
1.4 対象施設	5
第2章 学校施設の目指すべき姿	7
2.1 学校施設の目指すべき姿	7
第3章 学校施設の実態	11
3.1 本市の人口、財政等の状況	11
3.2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	15
3.3 学校施設の老朽化状況の実態	34
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	79
4.1 学校施設長寿命化計画の基本方針	79
4.2 学校施設の規模・配置計画等の方針	81
4.2 改修等の基本的な方針	91
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	95
5.1 改修等の整備水準	95
5.2 維持管理項目の手法等	109
第6章 長寿命化の実実施計画	112
6.1 学校施設の整備優先度	112
6.2 学校施設の長寿命化計画	114
6.3 学校施設の整備計画	116
6.4 長寿命化計画の維持・更新コストの見通しと課題	120
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	126
7.1 情報基盤の整備と活用	126
7.2 推進体制の整備	127
7.3 フォローアップ	128
参考資料	129
参考文献	129
用語集	131
庁内検討委員会の実施	132

## はじめに ～学校施設等長寿命化計画とは～

学校施設等長寿命化計画策定の目的は、中長期的な維持管理用に係わるトータルコストの縮減及び予算の標準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することにあります。

### 1. 長寿命化改修とは

学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるための新しい改修方法。従来のように建築後40年程度で建て替えるのではなく、コストを抑えながら建て替え同等の教育環境の確保が可能。

### 2. 長寿命化改修のメリット

- ① 工事費用の縮減、工期の短縮が可能
- ・構造体(柱やはり)の工事が大幅に減少するため、工事費用が建て替えと比較して**4割程度縮減**
  - ・工期も大幅に短縮



環境に配慮した学校施設として再生

- ② 建て替えた場合と同等の教育環境の確保が可能
- ・ライフラインや仕上げ、機能の一新が可能
  - ・間取りを変更することも可能



改修に併せて多目的に活用できるワークスペースを整備

- ③ 廃棄物量が少ない
- ・排出する廃棄物が少なく環境負荷が少ない
  - ・廃棄物処理に係るコストの削減が可能



改修前

図1 長寿命化改修とは

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引～参考資料」（平成27年4月、文部科学省）

施設の「保全」は、①対象の状況把握と②異常を把握した場合の適切な処置の2つの要素からなります。

また、「保全」には大きく分けて、「事後保全」と「予防保全」があります。

建物が損傷した後や設備の機能不全が起こってから処置を施す「事後保全」中心の維持管理から、定期点検等に基づき、損傷や機能不全が起こる前に、計画的に機能回復や機能向上を図る「予防保全」中心の修繕・改修に切替えることにより、建物の長寿命化を図り、安全に利用することができるようになります。

### 予防保全のメリット

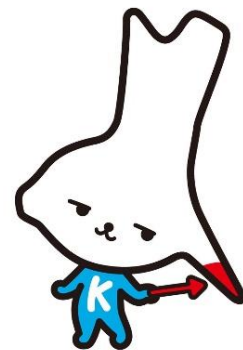
- 突発的な事故が減る。突発的な多額の費用が発生しにくくなる
- 事故から復旧までの時間が短い
- 維持管理・更新の費用が平準化する
- 設備の長寿命化が図れる

図2 予防保全のメリット

引用：「学校施設の長寿命化改修の手引」（平成26年1月、文部科学省）

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活する場であるとともに、地域住民にとって生涯にわたる学習・文化・スポーツ等の活動の場となります。また、災害時には、避難所としての役割を果たす重要な施設となります。そのため、学校施設の老朽化対策は、先送りのできない重要な課題です。

神栖市においても、策定した学校施設等長寿命化計画に沿った学校環境整備ができるよう、当該計画を市全体における中長期的な財源検討・確保につなげていくことが望まれます。



## 第1章 背景・目的等

### 1.1 背景・目的

#### 1) 背景

神栖市では、これまでに小・中学校については、児童生徒のよりよい教育環境の整備と、教育の質のさらなる充実を目的とした学校の適正規模及び適正配置を推進するため、平成22年度に、「神栖市学校適正規模適正配置基本計画」を策定しました。さらに、平成28年10月には、改めて市内小中学校の状況や将来の推計を検討・協議し、次世代を担う子ども達のための教育環境を整備するため、「神栖市学校適正規模適正配置基本計画（改訂版）」（以下、「基本計画（改訂版）」という。）を策定しました。

また、幼稚園については、本市の子育て支援関連施設の活性化を図るとともに、地域の実情に応じた就学前の子どもに対する望ましい教育・保育の確保や子育て支援、保育サービスの充実を目指し、整備・再編等を計画的に進めるため、平成27年12月に「神栖市子どものための施設等再編基本計画」を策定しました。

国においては、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を策定し、地方公共団体には、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を示す「公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を策定することが要請されました。

さらに、地方公共団体は、総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な方針を定めた長寿命化計画（個別施設計画）を平成32（令和2）年度頃までに策定することとなり、文部科学省では平成27年4月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」（以下、「手引き」という。）、平成29年3月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（以下、「解説書」という。）を作成し公表しています。

こうした中で、本市では長期的な視点で公共施設等の管理を総合的に推進し、効果的かつ効率的に質の高い公共サービスを提供できるようにすることを目的として、平成29年3月に「神栖市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を策定しました。

#### 2) 目的

本業務は、総合管理計画を推進するため、その中の“学校教育系施設等”（以下、「学校施設」という。）を対象に、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保する「神栖市学校施設等長寿命化計画」（以下、「本計画」という。）を策定することを目的とします。

また、本計画では、防災機能強化、エコスクール化、バリアフリー化についても検討し、子ども達がより良い学習環境の中で安全安心な学校生活を送れるよう施設整備の基本方針を策定します。

## 1.2 位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、上位・関連計画で示された基本的な方針や考え方と整合し、本市の学校施設に係る「個別施設計画（長寿命化計画）」として位置づけます。

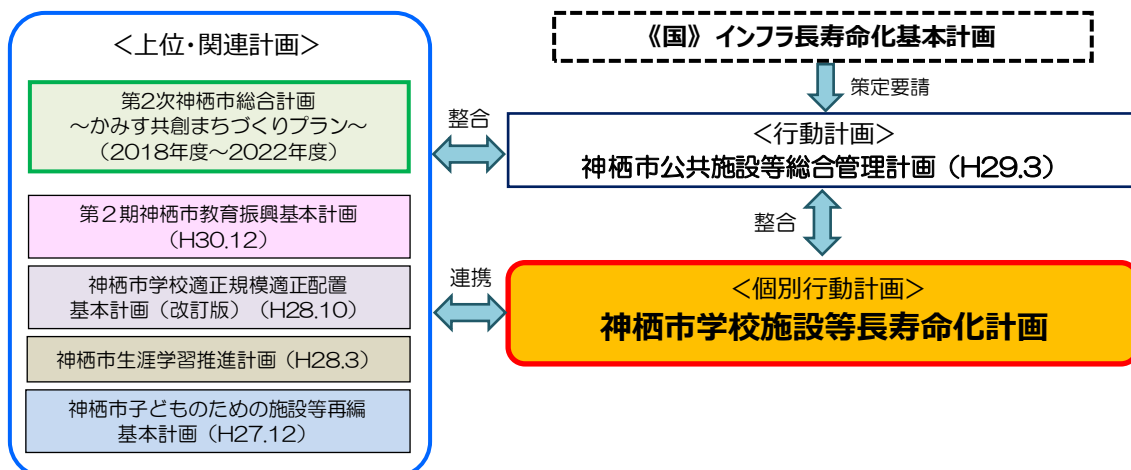


図 1-1 本計画の位置づけ

## 1.3 計画期間

本計画の対象期間は、令和2年度から令和41年度までの40年間とします。

なお、本計画は、社会情勢の変化等の状況に応じて、適宜の見直しを行い、神栖市公共施設等総合管理計画などの上位関連計画の見直しが行われた際にも、適宜、見直しを実施します。

また、下図のとおり、整備期間とし、計4期（10年毎）に分け整備計画を策定していきます。

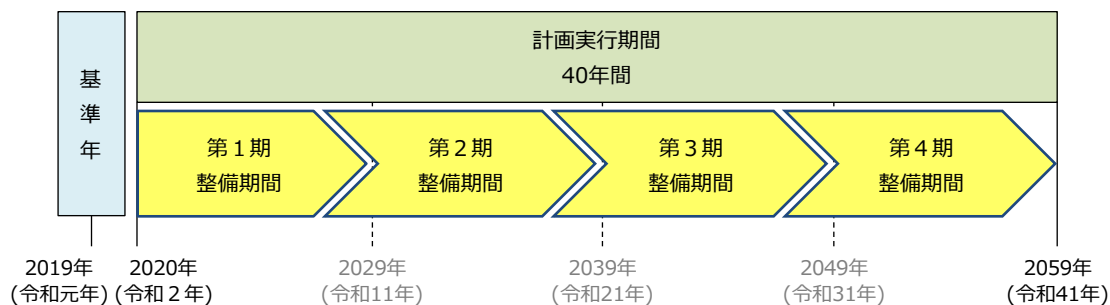


図 1-2 計画期間

## 1.4 対象施設

本計画では、小学校14校・65棟、中学校8校・59棟、幼稚園4園・13棟、教職員住宅3施設・3棟、その他3施設・11棟の合計32施設・151棟を対象とします。但し、グラウンドやプール、小規模な倉庫等は対象外となります。

表1-1 対象施設一覧（令和元年度9月時点）

施設種別	施設名	棟数	延床面積 (㎡)	建物・運動場等面積 (㎡)	所在地
小学校 (14校)	息栖小学校	5	9,908	27,055	神栖市平泉2780
	深芝小学校	2	7,892	29,313	神栖市深芝南3-8
	軽野小学校	4	5,946	18,625	神栖市知手2-2
	軽野東小学校	6	6,206	26,194	神栖市奥野谷5746-2
	大野原小学校	7	7,082	28,134	神栖市大野原中央2-1-8
	横瀬小学校	4	6,924	25,479	神栖市横瀬1276-15
	大野原西小学校	3	6,187	19,663	神栖市大野原5-1-45
	柳川小学校	4	377	19,016	神栖市柳川中央1-9-10
	太田小学校	5	3,762	14,257	神栖市太田598-2
	須田小学校	5	4,267	19,522	神栖市須田1177-13
	波崎小学校	4	3,872	19,736	神栖市波崎8759
	波崎西小学校	4	4,608	16,118	神栖市波崎5011
	植松小学校	9	5,162	20,551	神栖市土合本町4-9809-2
	やたべ土合小学校	3	3,702	23,115	神栖市土合南3-16-36
中学校 (8校)	神栖第一中学校	9	6,742	32,833	神栖市知手100-3
	神栖第二中学校	8	6,284	31,705	神栖市平泉東1-60-1
	神栖第三中学校	7	8,219	38,500	神栖市知手中央7-1-17
	神栖第四中学校	6	9,630	30,216	神栖市大野原中央2-8-46
	波崎第一中学校	4	7,273	28,987	神栖市波崎7070
	波崎第二中学校	10	5,637	26,255	神栖市矢田部3120
	波崎第三中学校	10	5,793	39,247	神栖市須田2340-1
	波崎第四中学校	5	5,116	31,906	神栖市土合北1-8-10
幼稚園 (4園)	うずも幼稚園	1	977	4,979	神栖市知手中央5-9-7
	石神幼稚園	3	758	4,303	神栖市石神773-1
	大野原幼稚園	5	842	5,345	神栖市大野原中央2-1-22
	須田幼稚園	4	598	2,588	神栖市須田1301-1
教職員住宅 (3施設)	土合住宅	1	570	2,216	神栖市土合本町8762-18外2筆
	第二松風荘	1	905	4,636	神栖市奥野谷6405-1
	第二泉荘	1	687	5,900	神栖市平泉2782-5
その他 (3施設)	旧矢田部小学校	2	2,377	11,759	神栖市矢田部3057
	旧植松幼稚園	8	1,015	5,020	神栖市土合本町4-9809-3
	旧清水住宅	1	365	1,940	神栖市矢田部9112-7外2筆



対象施設 32 施設・151 棟の位置図を以下に示します。

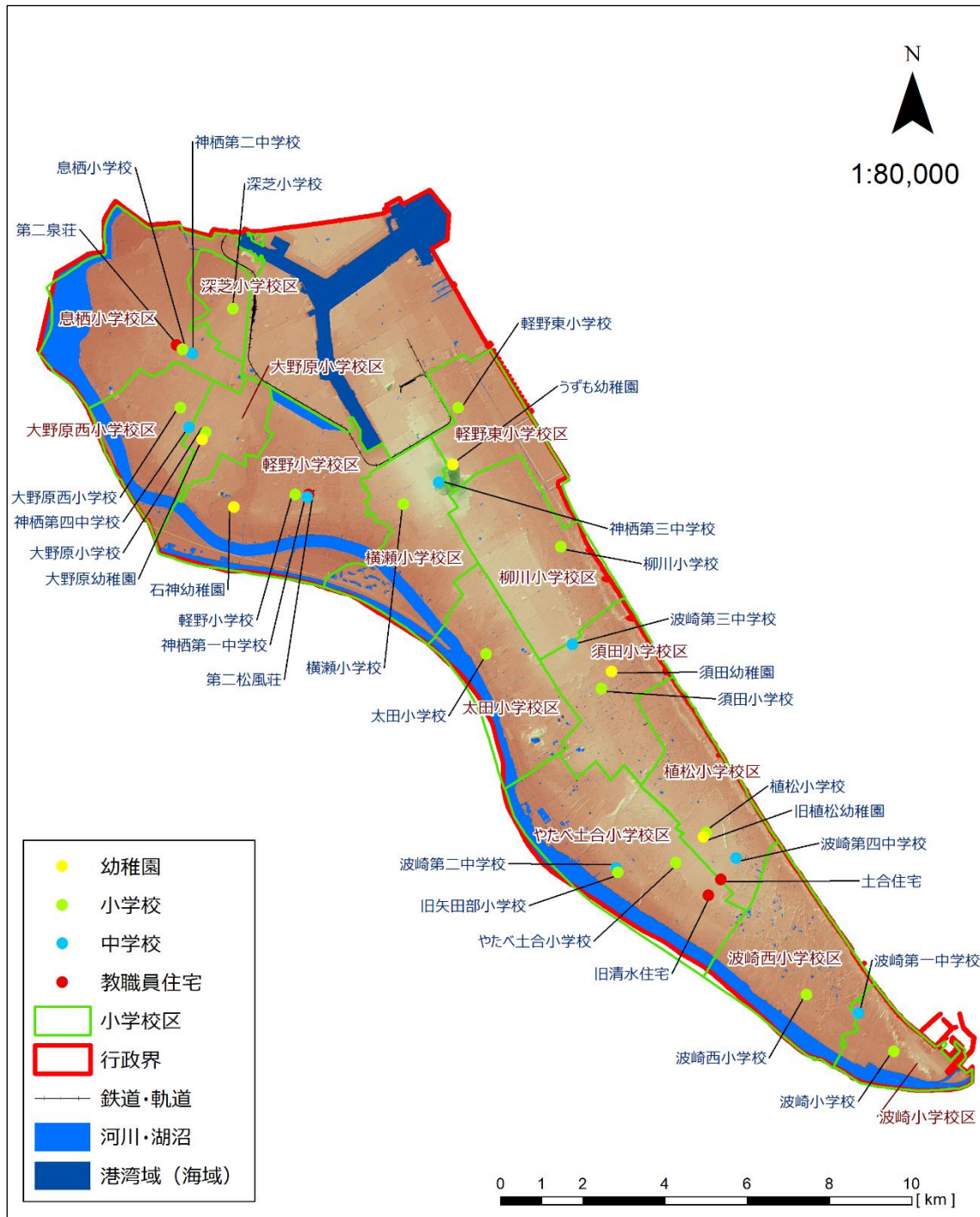


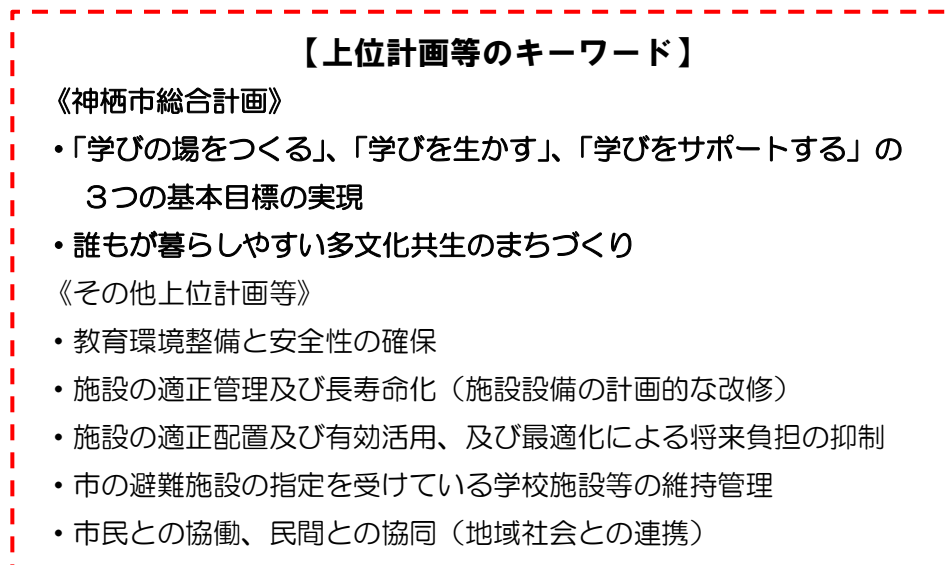
図 1-3 対象施設位置図 (令和元年度 9 月時点)

## 第2章 学校施設の目指すべき姿

### 2.1 学校施設の目指すべき姿

1) 上位・関連計画との整合（キーワードの整理）

本市の学校施設の目指すべき姿を設定するに際し、上位計画等で示されたキーワード等（後記・参考欄を参照）は、以下の通りとなります。



2) 本市の学校施設の目指すべき姿

上記、上位計画等で示されたキーワード等を念頭に、(1) 学習活動への適応性を確保した教育環境の整備、(2) 安全性・快適性を備えた施設環境の整備、(3) 地域活動の拠点施設としての施設整備の3つの視点から、本市の学校施設の目指すべき姿を設定します。

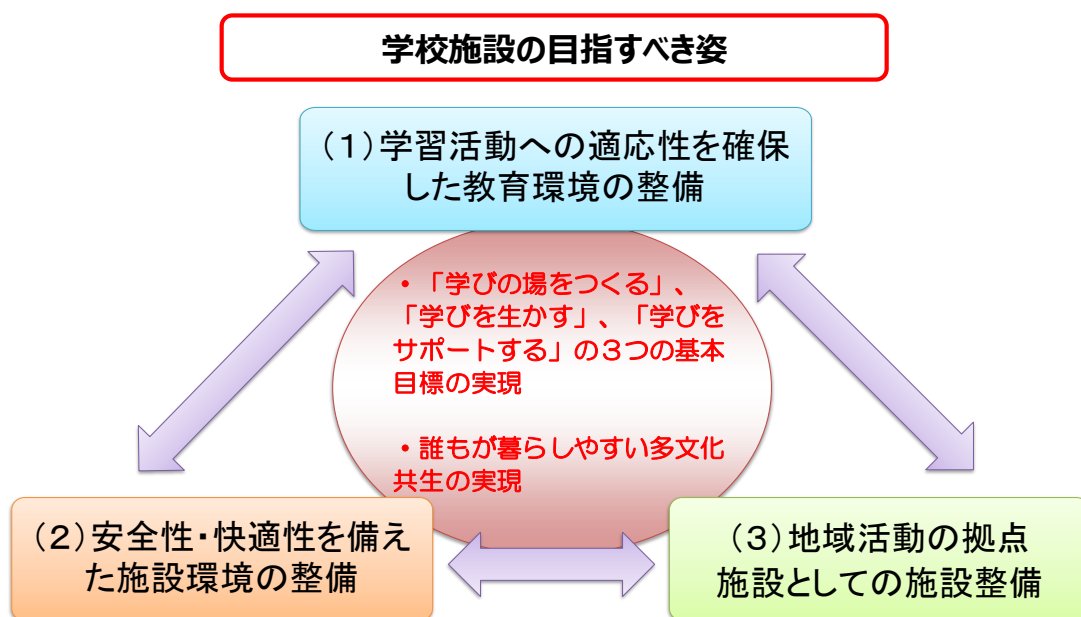


図 2-1 本市の学校施設の目指すべき姿のイメージ

**(1) 学習活動への適応性を確保した教育環境の整備**

ハード面

- ◆ 学校施設は、子供たちの基礎的・基本的な学力の定着を図る学習の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう老朽化した学校施設を計画的に改善し、機能的な施設環境を整えます。
- ◆ グローバル社会に対応した教育の推進（英語力・コミュニケーション力等の育成）や高度情報化に対応し学習効果を高めるためのICT環境の充実を図ります。
- ◆ 将来の人口減少・少子化を踏まえ、施設の適正管理及び長寿命化を推進し、適正配置及び有効活用の観点から、民間事業者のノウハウの活用や施設の統廃合・複合化等の最適化により、維持・更新等施設管理費用の将来負担の抑制を目指します。

ソフト面

- ◇ 個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させるため、調べ学習や少人数授業、チームティーチング等、多様な学習活動に柔軟に対応できる環境づくりに取り組みます。

**(2) 安全性・快適性を備えた施設環境の整備**

ハード面

- ◆ 学校施設は、子供たちの「学びの場」であるとともに1日の約3分の1を過ごす「生活の場」でもあることから、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防犯性や衛生的な施設環境を整えます。加えて、教職員が働く場でもあることから、より効率的に事務ができるよう、打合せや収納場所等の確保、ICTの整備や快適な温熱環境の確保等、執務環境としてふさわしい基本的な機能を確保します。
- ◆ 予防保全の観点から、日常的な点検や法令に基づく定期点検等を実施し、その結果、必要な補修・改修を適切に行うことで、子供たちが安全かつ安心して学校生活を送れるよう、学校施設の整備・向上を目指します。

ソフト面

- ◇ 子供たちの学校施設への愛着や思い出につながり、また、地域住民が誇りや愛着を持つことができる学校施設を目指します。
- ◇ 子供たちや保護者が教員を訪れやすい環境づくりに取り組みます。

**(3) 地域活動の拠点施設としての施設整備**

ハード面

- ◆ 誰もが利用しやすい空間として、バリアフリーに配慮した施設整備を推進します。
- ◆ 地球環境・エコロジーに配慮し、持続可能な社会の実現のため、自然エネルギーの利用や校内緑化を推進します。また、太陽光発電設備の導入、高断熱材の採用、LED照明、人感センサー照明等の省エネルギー化を意識した施設整備を推進します。
- ◆ 児童・生徒・園児数の減少に伴う余剰な教室やスペースは、本来の機能に配慮しつつ、市民や民間との協働・協同による新たな地域活動拠点として利活用を図ります。

ソフト面

- ◇ 学校施設は、地域住民が学習・文化・スポーツ等の身近な活動の場として利用するほか、地域振興・再生に貢献するコミュニティの拠点としての役割を果たします。
- ◇ 地震、津波、大雨等の自然災害時には、避難所や復興拠点としての重要な役割を担っているため、避難ルートや避難誘導指示の確認・指導等、子供たちや教員、保護者等の協働による防災対策の強化にも取り組みます。

(参考) 上位計画等における学校施設に関する事項の整理

計画名等	方針・施策等
第2次神栖市総合計画 ～かみす共創まちづくりプラン～ (2018年度～2022年度)	<p>○基本計画(分野別計画)</p> <p>③人を育み若者を育てるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの多様性を理解し、共生の心や国際性、郷土愛を身に付けた児童生徒を育てます。</li> <li>「<u>学びの場をつくる</u>」、「<u>学びを生かす</u>」、「<u>学びをサポートする</u>」の3つの基本目標を実現するため、<u>市民と協働して取り組みます</u>。</li> <li>外国人を含め市民の誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進</li> </ul> <p>○実施計画(2019～2021年度)</p> <p>小学校、中学校施設管理事業：  <u>児童生徒の安全確保及び市の避難施設の指定を受けている学校施設等の維持管理に努める。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設における<u>児童生徒等の安全を確保するための適正な維持管理</u></li> <li>各学校施設の修繕や保守点検、環境整備工事等による維持管理 等</li> </ul> <p>小学校、中学校建設事業：            各学校施設の改修等を進めることによって、より安全で安心できる教育環境の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校のトイレの洋式化、給水管、校舎・体育館外壁等の改修工事</li> <li>神栖第二中学校校舎増築工事(2019)</li> </ul> <p>幼稚園施設管理事業：  <u>園児の教育環境整備と安全性の確保を行い、幼児教育の充実を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各幼稚園施設の修繕や保守点検、環境整備工事等による維持管理 等</li> </ul> <p>教職員住宅管理事業：  <u>入居者の良好な居住環境の確保及び教職員住宅の維持管理に努める。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の良好な居住環境を確保するための維持管理</li> <li>教職員住宅の修繕や保守点検、改修工事等による維持管理</li> </ul>
「神栖市生涯学習推進計画－後期見直し計画」(平成28年3月)	<p>○基本目標(めざす姿を実現するための取り組み)</p> <p>めざす姿を実現するため、「<u>学びの場をつくる</u>」「<u>学びを生かす</u>」「<u>学びをサポートする</u>」の3つの基本目標を定め、これに沿って取組みを進める。</p> <p>○基本目標1：<u>学びの場をつくる</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>豊かな心と生きる力をはぐくむ学習機会の拡充</li> <li>生涯スポーツ活動の機会の提供</li> <li>地域の課題やまちづくりへの関心を促す学習機会の提供</li> </ol>
「神栖市学校適正規模適正配置基本計画(改訂版)」(平成28年10月)	<p>○神栖市の<u>適正規模の基準</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【小学校】クラス替が可能な各学年2学級以上となる概ね12学級以上</li> <li>【中学校】クラス替及び全ての教科の担任が配置可能な概ね9学級以上</li> </ul> <p>○神栖市の<u>適正配置の基準</u>(適正な通学距離の基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【小学校】概ね4km以内、【中学校】概ね6km以内</li> </ul> <p>○<u>早期に取り組むべき事案</u></p> <p>適正化について、早期に改善を図る必要がある事案</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>矢田部小学校と土合小学校の統廃合について、児童の減少に伴い早期に実施←平成30年4月に「<u>やたべ土合小学校</u>」に統合済み</li> <li>神栖第二中学校校舎の増築を平成32(令和2)年4月から供用開始を予定</li> </ol>
神栖市子どものための施設等再編基本計画(平成27年4月)	<p>○再編・整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【波崎東部地域】明神幼稚園及び波崎保育所を廃止し、平成30年4月に、幼稚園及び保育所の機能や特徴を併せ持つ認定こども園(定員80人程度)を新設</li> </ul>

計画名等	方針・施策等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【土合地域】植松幼稚園を廃止し、平成31年4月に、認定こども園（定員120人程度）を新設</li> <li>・【知手地域】当地域は教育・保育ニーズが比較的高い地域であることを踏まえ、うずも幼稚園は、今後の在籍園児数及び児童人口の動向に注視し、将来の認定こども園化を見据えながら、現状維持</li> <li>・【その他地域】基本的に再編は行わない方針とし、現施設の更新で対応</li> </ul>
神栖市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）	<p><b>○基本目標</b></p> <p>① <b>施設の適正管理及び長寿命化</b> 施設の安全性と機能性を継続的に確保するため、適正管理及び長寿命化に努めます。</p> <p>② <b>施設の適正配置及び有効活用</b> 質の高い公共サービスを提供し続けるため、人口構造等の変化に伴う市民ニーズに適応した施設配置及び有効活用に努めます。</p> <p>③ <b>施設の最適化による将来負担の抑制</b> 将来の更新等費用の軽減を図るため、<u>民間との協同</u>や<u>統廃合・複合化</u>等による施設の最適化を目指します。</p> <p><b>○施設類型ごとの管理に関する基本的な方針</b></p> <p>学校教育系施設：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校適正規模適正配置基本計画」の進行状況を見ながら、大規模修繕工事や建替え等を実施します。</li> <li>・平成32（令和2）年度までに学校施設の長寿命化計画を策定します。</li> </ul> </p> <p>子育て支援施設：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の再編計画については、「神栖市子どものための施設等再編基本計画」に基づき整備・再編等を推進します。</li> </ul> </p>
第2期神栖市教育振興基本計画（平成30年12月）	<p><b>○基本テーマ</b> <b>豊かな人間性と創造性を備えた未来につなげる人づくり</b></p> <p><b>○基本目標 ※抜粋</b></p> <p><b>基本目標1：生きる力と確かな学力の育成</b> 《幼児教育の基本方針》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育環境の整備や魅力ある幼稚園づくりを目指し、幼稚園の適正配置を推進します。</li> <li>・地域の保護者の要請に対応した幼稚園経営のため、<u>施設設備を計画的に改修</u>します。</li> </ul> 《学校教育の基本方針》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身に付け、規範意識をもって主体的に行動する児童生徒を育てます。</li> <li>・一人ひとりの多様性を理解し、共生の心や国際性、郷土愛を身に付けた児童生徒を育てます。</li> </ul> </p> <p><b>基本方針2：学びを支える教育環境の整備</b> 《学習環境の基本方針》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがより良い教育環境で学べるよう、<u>学校の適正規模・適正配置</u>を推進します。</li> <li>・安全で安心な学校生活を送れるよう、<u>施設整備</u>を推進します。</li> </ul> </p> <p><b>基本目標3：地域社会と連携した教育の推進</b> 《青少年健全育成の基本方針》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の抱える問題は多様化・深刻化しており、<u>各分野の連携</u>を図りながら、青少年を見守るまちづくりが必要です。</li> </ul> </p>

## 第3章 学校施設の実態

### 3.1 本市の人口、財政等の状況

#### 1) 人口の状況

「総合管理計画」において、本市の将来人口推計を行ったところ、人口減少や少子高齢化は全国的な傾向であり、本市の人口も平成37年の95,270人をピークに、平成67年には約8.8万人に減少するものと見込まれています。

※人口データの 実績値は、各年の国勢調査を、推計値は「神栖市人口ビジョン」を引用しています。

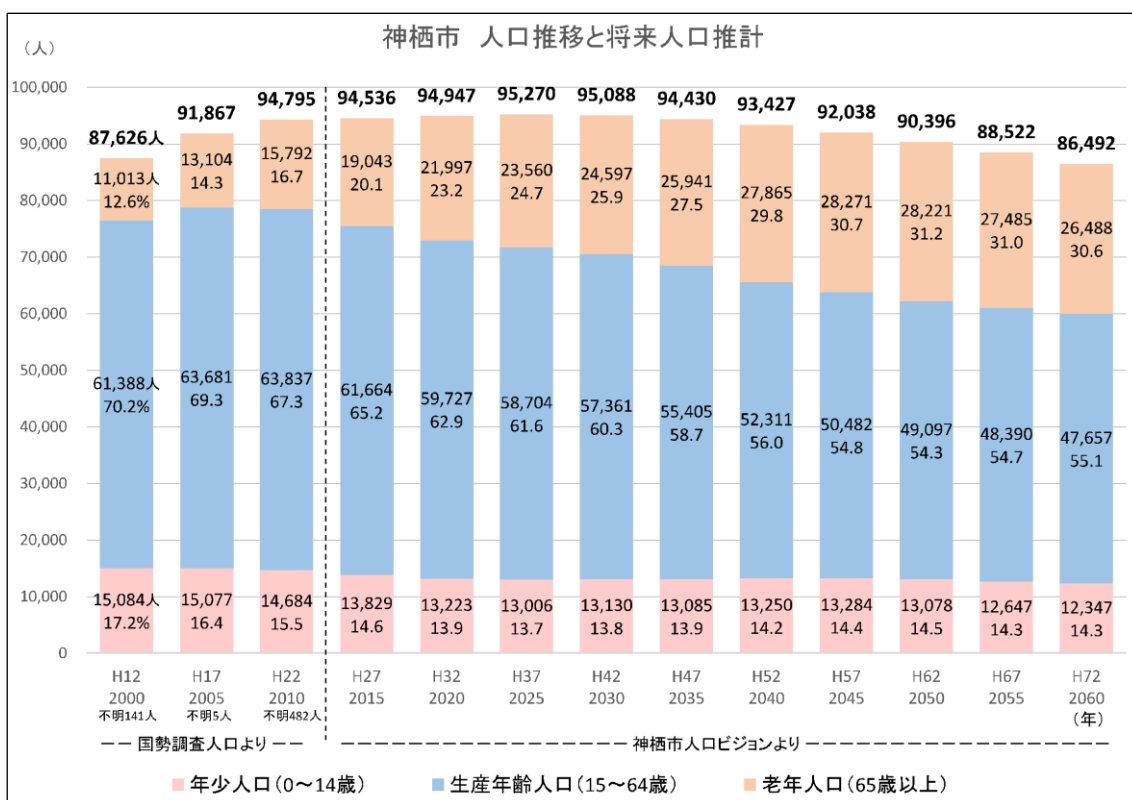


図3-1 人口推移と将来人口推計

引用：「神栖市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）

## 2) 財政状況

### (1) 歳入・歳出の状況

地方税収入については、ほぼ横ばいの傾向にあります。地方交付税については、平成23年度以降は震災復興特別交付税が交付されているため増えていますが、今後は震災復興事業の終息及び合併算定替による普通交付税の減額措置が講じられるなどの要因により、減少していくことが見込まれます。

表3-1 歳入決算額の推移（普通会計決算）

(億円)

	H20年度 2008	H21年度 2009	H22年度 2010	H23年度 2011	H24年度 2012	H25年度 2013	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017
一般財源	261	243	249	304	304	284	280	288	284	297
地方税	231	214	219	218	214	220	217	221	218	220
地方交付税	7	7	9	65	69	42	41	38	39	48
その他一般財源	23	22	21	21	21	22	22	29	27	29
特定財源	116	149	133	150	212	226	209	178	203	166
地方債	16	16	13	12	19	20	21	11	11	10
国庫支出金	31	44	44	52	83	98	76	47	51	60
都道府県支出金	18	19	22	25	22	21	22	23	25	26
その他特定財源	51	71	53	61	88	87	90	97	115	70

引用：平成20～26年度の数值は「神栖市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）、  
平成27～29年度の数值は総務省の「財政状況資料集」

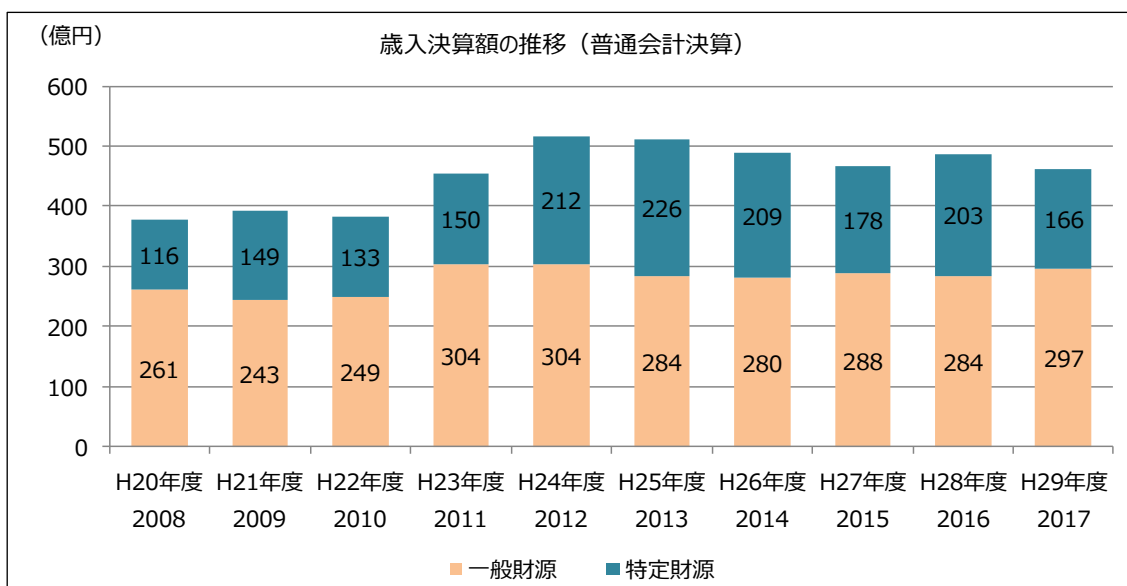


図3-2 歳入決算額の推移（普通会計決算）

引用：平成20～26年度の数值は「神栖市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）、  
平成27～29年度の数值は総務省の「財政状況資料集」

また、人件費・物件費・維持補修費・扶助費（社会保障制度の一環として各種法令に基づいて、生活困窮者、児童、老人、心身障害者等を援助するために要する経費）・補助費の消費的経費（扶助費のほか、各種団体への補助金や負担金、道路や学校等の各公共施設の維持補修費、施設に必要な物品の購入費、職員給与等の経費）は、平成25年度までは減少傾向でしたが、平成26年度以降は増加傾向に転じています。これは特に扶助費の増加が大きいことに起因しています。扶助費は、平成20年度に54億円であったものが、平成29年度では87億円にまで増加しています。

表3-2 歳出決算額の推移（普通会計決算）

(億円)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人件費	61	59	56	56	53	48	47	52	52	52
物件費	53	55	56	58	64	63	66	67	71	72
維持補修費	6	6	7	6	8	8	10	10	8	9
扶助費	54	57	73	77	75	76	79	82	84	87
補助費等	46	76	51	51	46	49	53	56	57	55
消費的経費	219	252	242	248	246	243	255	266	273	276
投資的経費	43	52	43	58	92	137	74	81	84	50
公債費	22	21	21	22	22	22	27	21	26	26
積立金・投資及び出資金・貸付金	42	18	21	51	44	36	70	31	39	48
繰出金	29	29	32	42	47	34	31	30	31	25
合計	355	373	358	420	451	472	458	429	453	425
義務的経費（人件費・扶助費・公債費）	137	137	149	154	150	146	154	154	163	165

引用：平成20～26年度の数值は「神栖市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）、平成27～29年度の数值は「統計かみす～一般会計年度別歳出決算額」

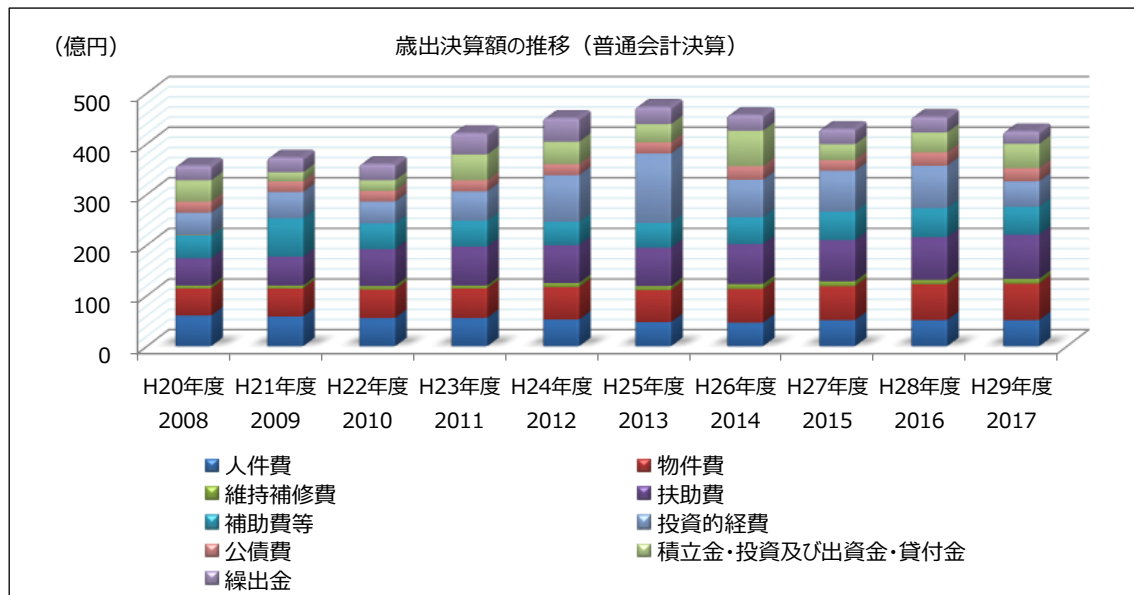


図3-3 歳出決算額の推移（普通会計決算）

引用：平成20～26年度の数值は「神栖市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）、平成27～29年度の数值は「統計かみす～一般会計年度別歳出決算額」



(2) 充当可能な財源見込みと将来更新等費用との比較

本市の充当可能な財源見込みと将来更新等費用との比較を行ったところ、建築物系、インフラ系の全ての公共施設にあてられる財源の見込みは、平均で年間約 70.0 億円となります。一方、全ての公共施設等に係る将来更新等費用は、平均で年間約 76.6 億円と推計されるため、年間約 6.6 億円の不足が見込まれます。

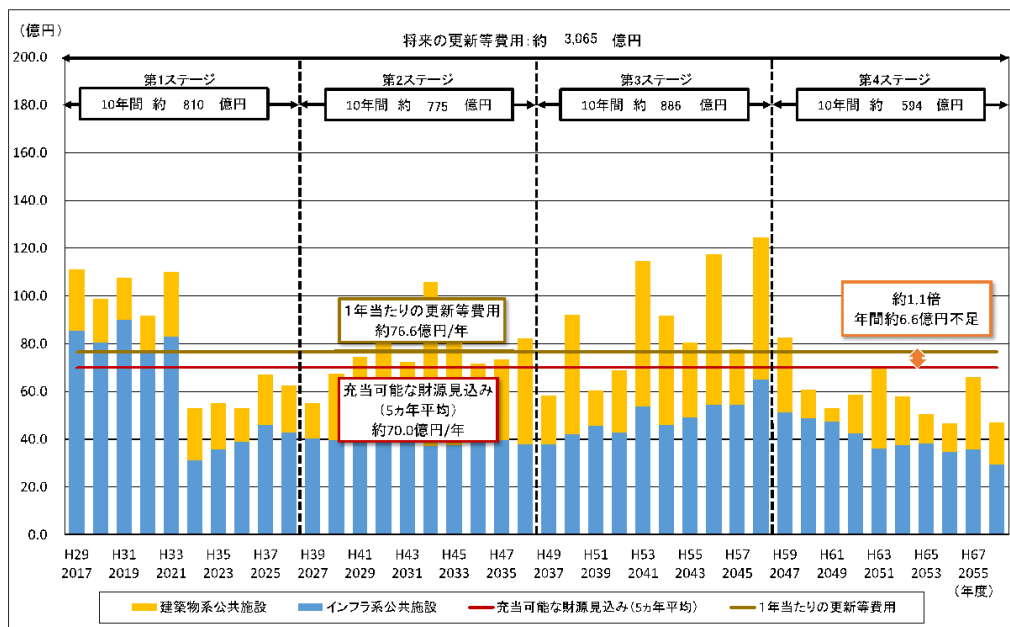


図 3-4 充当可能な財源見込みと将来更新等費用との比較

引用：「神栖市公共施設等総合管理計画」(平成 29 年 3 月)

(3) 学校施設の保有量

本市の公共施設の総延床面積は、303,234.58 m<sup>2</sup>あり、施設類型別にみると学校教育系施設（主に小中学校）が 167,240.46 m<sup>2</sup>で最も多く、全体の約 55%を占めています。

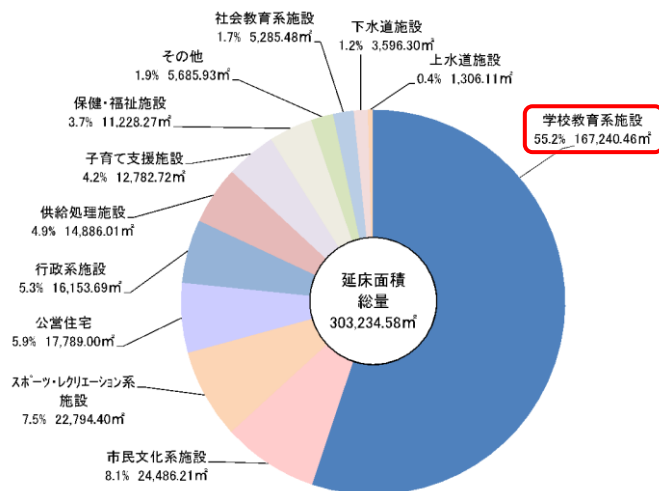


図 3-5 建築物系公共施設の施設類型別延床面積構成 (平成 26 年度末時点)

引用：「神栖市公共施設等総合管理計画」(平成 29 年 3 月)

## 3.2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

### 1) 児童・生徒・園児数及び学級数の変化

#### (1) 児童・生徒・園児数の推移

引用：以下の各図表とも「学校施設台帳総括表」（平成26～令和元年度）

##### ① 小学校の児童数の推移

本市の小学校は、神栖地域及び波崎地域にそれぞれ7校ずつ計14校あります。合計児童数の推移は、2014（平成26）年度から2019（令和元）年度までは、やや減少傾向にあります。横瀬小、大野原小は、やや増加傾向にあります。軽野東小、太田小、柳川小、波崎西小、植松小等のように、やや減少傾向が続いている学校もあります。

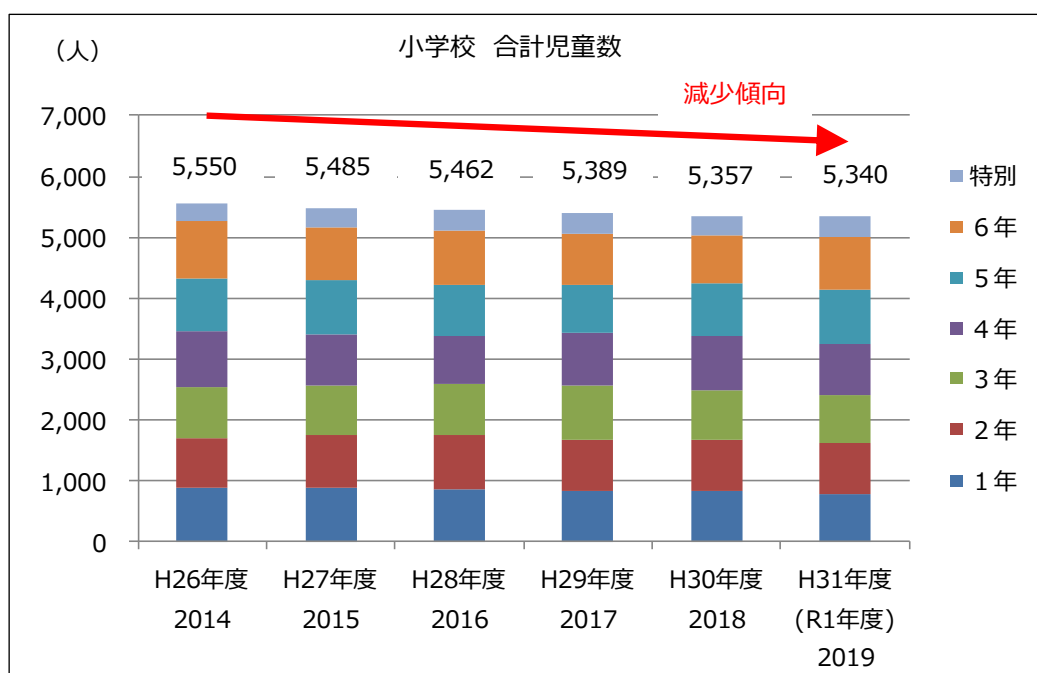


図3-6 市内小学校の合計児童数の推移

表 3-3 市内小学校の学年別児童数の推移

(単位：人)

学校名	学年	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31年度 (R1年度) 2019	学校名	学年	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31年度 (R1年度) 2019
息栖小学校	1年	123	127	133	118	113	104	太田小学校	1年	42	38	18	25	23	33
	2年	98	115	116	120	109	111		2年	37	41	37	19	24	24
	3年	111	94	109	114	114	110		3年	28	37	38	39	19	22
	4年	124	115	90	108	112	112		4年	28	30	36	39	38	19
	5年	97	120	110	89	110	112		5年	31	29	29	37	39	38
	6年	115	96	120	109	90	109		6年	38	28	25	29	37	39
	特別	28	40	51	59	61	60		特別	12	17	11	9	8	10
	総計	696	707	729	717	709	718		総計	216	220	194	197	188	185
深芝小学校	1年	115	89	84	101	97	79	須田小学校	1年	53	46	44	37	43	37
	2年	75	113	89	80	99	95		2年	35	51	45	44	38	43
	3年	112	76	112	88	84	96		3年	44	34	53	43	43	38
	4年	103	110	75	113	88	87		4年	55	43	33	53	43	44
	5年	85	103	110	82	112	89		5年	40	51	43	35	52	43
	6年	108	85	102	110	81	114		6年	44	40	51	42	35	52
	特別	39	38	36	38	35	41		特別	12	9	11	14	15	14
	総計	637	614	608	612	596	601		総計	283	274	280	268	269	271
軽野小学校	1年	57	74	66	72	43	58	波崎小学校	1年	41	45	36	37	41	42
	2年	58	59	73	63	71	44		2年	40	38	44	40	36	42
	3年	67	59	59	74	61	72		3年	38	40	37	44	39	36
	4年	55	67	60	59	74	63		4年	43	37	40	39	45	39
	5年	74	54	67	59	59	78		5年	45	42	39	42	37	47
	6年	76	74	55	66	57	59		6年	61	44	42	40	43	39
	特別	20	16	23	20	22	19		特別	9	15	20	11	10	12
	総計	407	403	403	413	387	393		総計	277	261	258	253	251	257
軽野東小学校	1年	42	60	46	43	45	35	波崎西小学校	1年	23	36	30	27	20	20
	2年	41	42	55	45	43	41		2年	35	23	38	29	29	21
	3年	46	42	44	56	44	41		3年	29	34	23	37	29	30
	4年	56	46	42	43	57	43		4年	47	29	34	24	39	29
	5年	50	55	47	42	43	55		5年	45	47	28	34	26	39
	6年	52	51	54	46	42	43		6年	33	45	48	28	34	26
	特別	20	20	20	23	20	22		特別	12	15	13	15	16	16
	総計	307	316	308	298	294	280		総計	224	229	214	194	193	181
大野原小学校	1年	76	81	81	81	80	80	植松小学校	1年	91	78	76	71	82	75
	2年	75	75	79	82	85	81		2年	92	94	81	77	71	80
	3年	72	71	72	74	82	82		3年	79	91	92	83	76	74
	4年	75	73	72	74	78	84		4年	88	75	90	94	82	73
	5年	86	79	72	72	73	79		5年	92	88	76	88	94	81
	6年	68	84	81	74	70	72		6年	115	93	86	78	88	92
	特別	25	26	26	23	23	27		特別	34	33	37	36	34	34
	総計	477	489	483	480	491	505		総計	591	552	538	527	527	509
横瀬小学校	1年	83	80	99	87	101	94	やたべ土合 小学校 (旧土合小学校 ※)	1年	33	41	40	24	53	55
	2年	95	79	80	96	86	97		2年	35	32	39	39	31	52
	3年	101	92	81	82	95	86		3年	36	38	31	40	51	31
	4年	95	100	90	83	80	95		4年	42	37	37	31	51	51
	5年	84	96	99	86	82	78		5年	41	43	37	36	41	51
	6年	77	84	94	99	86	82		6年	37	40	42	37	51	41
	特別	19	26	24	26	29	27		特別	12	12	18	19	27	29
	総計	554	557	567	559	559	559		総計	236	243	244	226	305	310
大野原西 小学校	1年	79	72	86	86	75	60	旧矢田部 小学校	1年	11	10	9	7		
	2年	68	75	68	84	84	71		2年	14	10	11	10		
	3年	61	64	79	67	86	79		3年	13	15	9	11		
	4年	68	58	63	82	66	86		4年	12	12	15	9		
	5年	64	63	56	61	81	66		5年	12	12	12	15		
	6年	73	62	63	57	60	79		6年	17	12	12	12		
	特別	22	32	33	26	26	26		特別	8	8	8	6		
	総計	435	426	448	463	478	467		総計	87	79	76	70		
柳川小学校	1年	17	16	17	19	17	13	小学校合計	1年	886	893	865	835	833	785
	2年	15	19	17	17	17	17		2年	813	866	872	845	823	819
	3年	11	15	19	17	15	16		3年	848	802	858	869	838	813
	4年	17	10	16	19	17	15		4年	908	842	793	870	870	840
	5年	23	18	12	16	19	17		5年	869	900	837	794	868	873
	6年	27	24	18	12	17	18		6年	941	862	893	839	791	865
	特別	13	13	13	12	8	8		特別	285	320	344	337	334	345
	総計	123	115	112	112	110	104		総計	5,550	5,485	5,462	5,389	5,357	5,340

※基準日：各年度ともに5月1日

※やたべ土合小学校の2014～2017年の児童数は、旧土合小学校の児童数を示しています。

※旧矢田部小学校は、閉校前の2014～2017年の児童数を示しています。

②中学校の生徒数の推移

市内の中学校は、神栖地域及び波崎地域にそれぞれ4校ずつ計8校あります。合計生徒数（※特別支援学級を除く）の推移は、少しずつ増減を繰り返しながら僅かに減少傾向にあります。神栖三中のように増加傾向の学校がある一方、神栖一中のように毎年減少が続く学校もあります。

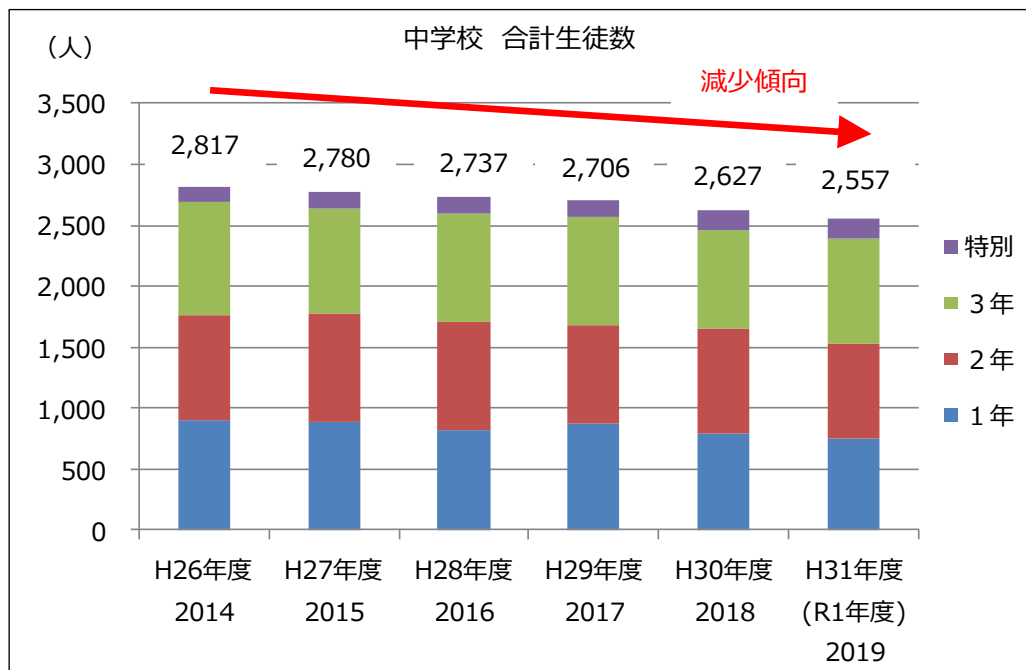


図 3-7 市内中学校の合計生徒数の推移

表 3-4 市内中学校の学年別生徒数の推移

学校名		学年	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31年度 (R1年度) 2019
神栖第一 中学校	1年	91	93	101	66	90	74	
	2年	103	93	94	98	63	87	
	3年	102	103	91	93	96	63	
	特別	16	16	11	13	15	20	
	合計	312	305	297	270	264	244	
神栖第二 中学校	1年	208	204	169	213	193	156	
	2年	196	203	200	175	214	192	
	3年	190	198	206	204	169	208	
	特別	23	28	29	30	52	46	
	合計	617	633	604	622	628	602	
神栖第三 中学校	1年	109	110	103	125	107	98	
	2年	83	110	110	102	125	108	
	3年	122	82	107	109	102	124	
	特別	9	13	18	17	13	16	
	合計	323	315	338	353	347	346	
神栖第四 中学校	1年	136	127	134	142	127	128	
	2年	143	135	129	129	138	124	
	3年	143	139	136	130	128	134	
	特別	35	39	36	36	39	34	
	合計	457	440	435	437	432	420	
波崎第一 中学校	1年	81	87	89	92	64	75	
	2年	82	81	87	85	91	63	
	3年	101	82	81	83	85	91	
	特別	10	10	6	13	13	12	
	合計	274	260	263	273	253	241	
波崎第二 中学校	1年	66	52	51	52	47	51	
	2年	72	66	49	49	52	47	
	3年	61	72	66	49	50	51	
	特別	5	4	6	5	4	7	
	合計	204	194	172	155	153	156	
波崎第三 中学校	1年	99	104	90	95	84	90	
	2年	98	100	102	90	96	82	
	3年	109	97	101	102	89	96	
	特別	14	14	16	16	23	19	
	合計	320	315	309	303	292	287	
波崎第四 中学校	1年	111	107	88	86	74	86	
	2年	87	109	106	88	86	73	
	3年	99	87	107	105	87	87	
	特別	13	15	18	14	11	15	
	合計	310	318	319	293	258	261	
中学校合計	1年	901	884	825	871	786	758	
	2年	864	897	877	816	865	776	
	3年	927	860	895	875	806	854	
	特別	125	139	140	144	170	169	
	合計	2,817	2,780	2,737	2,706	2,627	2,557	

※基準日：各年度ともに5月1日

③幼稚園の園児数の推移

本市の幼稚園は、うずも幼稚園、石神幼稚園、大野原幼稚園、須田幼稚園の計4園あり、合計園児数の推移は、年々減少傾向にあります。各幼稚園を見ても、石神幼稚園、大野原幼稚園、須田幼稚園では減少傾向が続いています。2019(令和元)年度の合計園児数は、2014(平成26)年度と比べて3割近く減少しています。

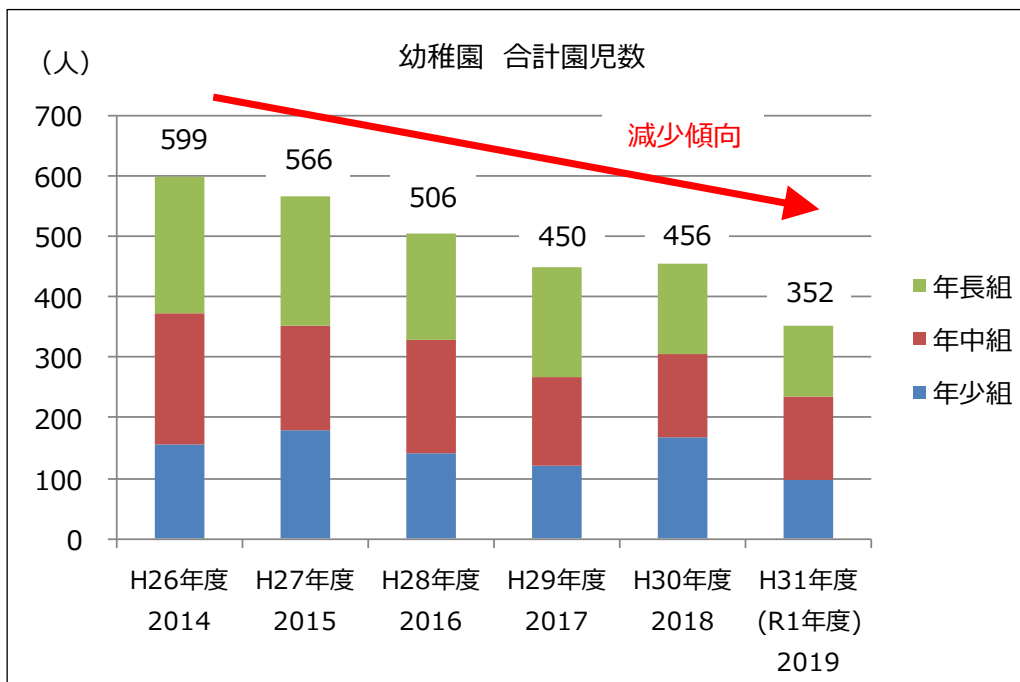


図 3-8 市内幼稚園の合計園児数の推移

表 3-5 市内幼稚園の学年ごと園児数の推移

(単位: 人)

園名	学年	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31年度 (R1年度) 2019	園名	学年	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31年度 (R1年度) 2019
うずも幼稚園	年少組	29	49	35	35	45	43	須田幼稚園	年少組	14	21	17	14	19	10
	年中組	51	35	52	33	38	45		年中組	18	14	23	18	16	20
	年長組	42	49	37	51	33	39		年長組	23	18	15	24	17	16
	合計	122	133	124	119	116	127		合計	55	53	55	56	52	46
石神幼稚園	年少組	47	37	30	24	24	15	旧植松幼稚園	年少組	20	24	26	17	32	
	年中組	43	50	38	31	29	27		年中組	35	18	23	31	21	
	年長組	43	43	49	36	32	27		年長組	49	36	17	23	32	
	合計	133	130	117	91	85	69		合計	104	78	66	71	85	
大野原幼稚園	年少組	46	49	32	31	49	29	幼稚園合計	年少組	156	180	140	121	169	97
	年中組	70	57	52	34	34	46		年中組	217	174	188	147	138	138
	年長組	69	66	60	48	35	35		年長組	226	212	178	182	149	117
	合計	185	172	144	113	118	110		総計	599	566	506	450	456	352

※基準日: 各年度ともに5月1日

※旧植松幼稚園は、閉園前の2014~2018年の園児数を示しています。

(2) 児童・生徒数及び学級数の推計

引用：以下の各図表とも「学校施設台帳総括表」（平成26～令和元年度）

過去6年間（2014～2019年度）の小学校児童数、中学校生徒数及び小・中学校の学級数の推移を基に、将来の児童・生徒数及び学級数を以下のとおり推計しました。（ただし、本推計では特別支援学級の児童・生徒数を除いています。）

この結果、2020年度から2025年度までの今後6年間にかけて、小学校児童数は、減少傾向が続く見込みです。中学校生徒数は、2022年度あたりをピークに増加傾向を見せますが、その後減少傾向に転じます。また、学級数の傾向も同様です。

今後40年間についても、同様の傾向で緩やかに減少していくことが見込まれます。

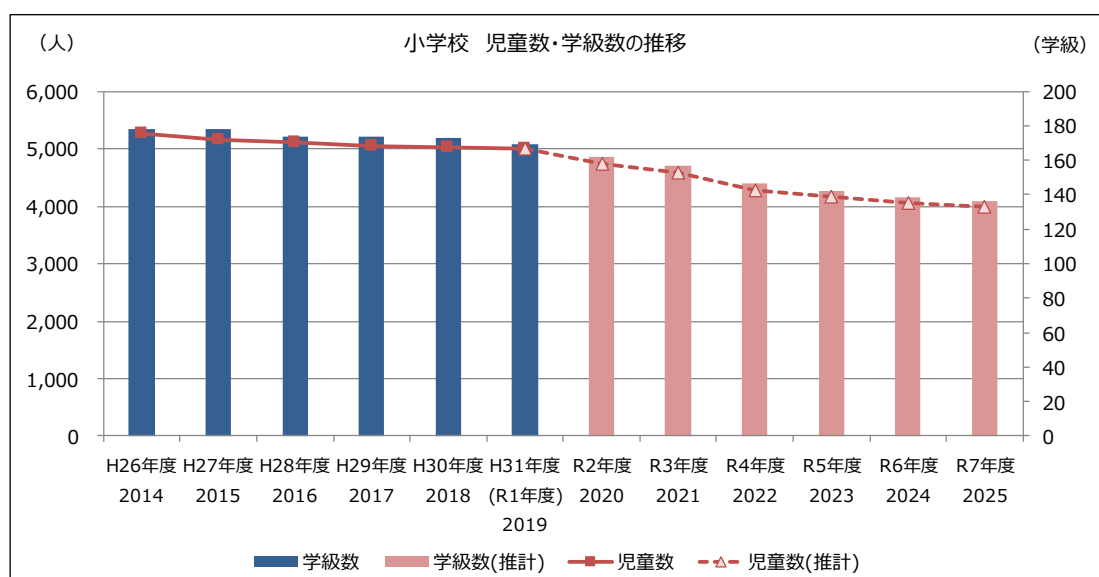


図3-9 小学校の児童数・学級数の推移（将来推計）

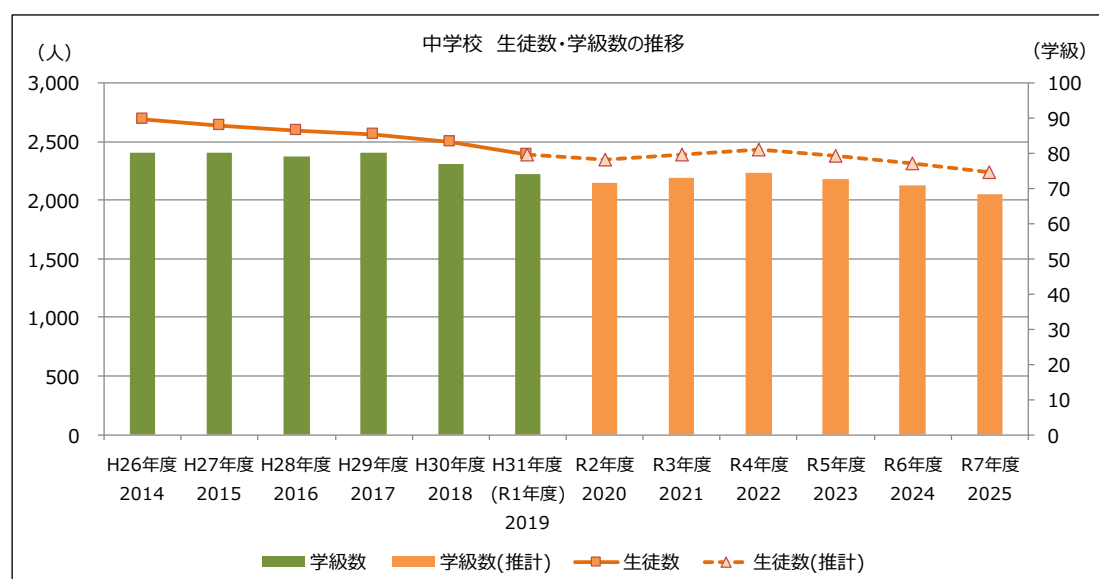


図3-10 中学校の生徒数・学級数の推移（将来推計）

表3-6 児童・生徒数の推計一覧表

(単位：人)

児童・生徒数	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31(R1)年度 2019	R2年度 2020	R3年度 2021	R4年度 2022	R5年度 2023	R6年度 2024	R7年度 2025
小学校	5,265	5,165	5,118	5,052	5,023	4,995	<b>4,735</b>	<b>4,583</b>	<b>4,282</b>	<b>4,167</b>	<b>4,052</b>	<b>3,986</b>
中学校	2,692	2,641	2,597	2,562	2,494	2,388	<b>2,347</b>	<b>2,393</b>	<b>2,429</b>	<b>2,375</b>	<b>2,315</b>	<b>2,241</b>

表3-7 学級数の推計一覧表

(単位：学級)

学級数	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31(R1)年度 2019	R2年度 2020	R3年度 2021	R4年度 2022	R5年度 2023	R6年度 2024	R7年度 2025
小学校	178	178	174	174	173	169	<b>161.7</b>	<b>156.6</b>	<b>146.3</b>	<b>142.4</b>	<b>138.4</b>	<b>136.2</b>
中学校	80	80	79	80	77	74	<b>71.8</b>	<b>73.2</b>	<b>74.3</b>	<b>72.6</b>	<b>70.8</b>	<b>68.5</b>

(参考) 園児数・児童数・生徒数及び学級数の推計方法について

園児・児童・生徒数の推計方法は、過去6年間の各学年の園児数、生徒数を基本母集団として、次年度に昇級（例えば、小学1年生が小学2年生に、小学6年生が中学1年生に昇級）する際の変化率を求め、それを基に将来の園児数・児童数・生徒数を推計しました。なお、3歳児の数値は、2歳児以下の数値が不明であり、「2歳→3歳」の変化率が求められないため、過去6年間の平均値の124人を2020～2025年度のみなし値としています。

また、学級数は、過去6年間の平均値を各推計年度の生徒数で割り戻した値を推計値としています。（ただし、上記推計方法では、特別支援学級の児童・生徒数を除いています。）

■園児数・児童数・生徒数の変化率

昇級毎の 変化率	2014→ 2015	2015→ 2016	2016→ 2017	2017→ 2018	2018→ 2019	平均
3歳→4歳	1.1471	1.0577	1.0175	1.1250	1.0073	1.0709
4歳→5歳	0.9670	1.0321	0.9636	1.0086	1.0000	0.9943
5歳→小1	5.0452	4.9148	5.1863	5.2390	6.7094	5.4189
小1→小2	0.9774	0.9765	0.9769	0.9856	0.9832	0.9799
小2→小3	0.9865	0.9908	0.9966	0.9917	0.9878	0.9907
小3→小4	0.9929	0.9888	1.0140	1.0012	1.0024	0.9998
小4→小5	0.9912	0.9941	1.0013	0.9977	1.0034	0.9975
小5→小6	0.9919	0.9922	1.0024	0.9962	0.9965	0.9959
小6→中1	0.9394	0.9571	0.9754	0.9368	0.9583	0.9534
中1→中2	0.9956	0.9921	0.9891	0.9931	0.9873	0.9914
中2→中3	0.9954	0.9978	0.9977	0.9877	0.9873	0.9932

■各学年の園児数・児童数・生徒数の推計

(単位：人)

学年	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31(R1)年度 2019	R2年度 2020	R3年度 2021	R4年度 2022	R5年度 2023	R6年度 2024	R7年度 2025
3歳	136	156	114	104	137	97	<b>124</b>	<b>124</b>	<b>124</b>	<b>124</b>	<b>124</b>	<b>124</b>
4歳	182	156	165	116	117	138	<b>104</b>	<b>133</b>	<b>133</b>	<b>133</b>	<b>133</b>	<b>133</b>
5歳	177	176	161	159	117	117	<b>137</b>	<b>103</b>	<b>132</b>	<b>132</b>	<b>132</b>	<b>132</b>
小1	886	893	865	835	833	785	<b>634</b>	<b>744</b>	<b>560</b>	<b>715</b>	<b>715</b>	<b>715</b>
小2	813	866	872	845	823	819	<b>769</b>	<b>621</b>	<b>729</b>	<b>548</b>	<b>701</b>	<b>701</b>
小3	848	802	858	869	838	813	<b>811</b>	<b>762</b>	<b>615</b>	<b>722</b>	<b>543</b>	<b>695</b>
小4	908	842	793	870	870	840	<b>813</b>	<b>811</b>	<b>762</b>	<b>615</b>	<b>722</b>	<b>543</b>
小5	869	900	837	794	868	873	<b>838</b>	<b>811</b>	<b>809</b>	<b>760</b>	<b>614</b>	<b>720</b>
小6	941	862	893	839	791	865	<b>869</b>	<b>834</b>	<b>808</b>	<b>806</b>	<b>757</b>	<b>611</b>
中1	901	884	825	871	786	758	<b>825</b>	<b>829</b>	<b>796</b>	<b>770</b>	<b>768</b>	<b>722</b>
中2	864	897	877	816	865	776	<b>751</b>	<b>818</b>	<b>822</b>	<b>789</b>	<b>763</b>	<b>762</b>
中3	927	860	895	875	806	854	<b>771</b>	<b>746</b>	<b>812</b>	<b>816</b>	<b>783</b>	<b>758</b>

■1学級当りの児童数・生徒数の6年間の平均

(単位：人)

1学級当り 児童生徒数	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31(R1)年度 2019	平均
小学校	29.58	29.02	29.41	29.03	29.03	29.56	29.27
中学校	33.65	33.01	32.87	32.03	32.39	32.27	32.70

2) 学校施設の配置状況

(1) 神栖市総人口及び年少人口の動向（2015年と2045年の推移）

本計画の対象施設32施設（幼稚園4園、小学校14校、中学校8校、その他6施設（教職員住宅等））の位置と神栖市の総人口及び年少人口について、2015年の国勢調査結果及び国立人口問題研究所による2045年推計値に基づく100mメッシュ人口分布を以下に示します。

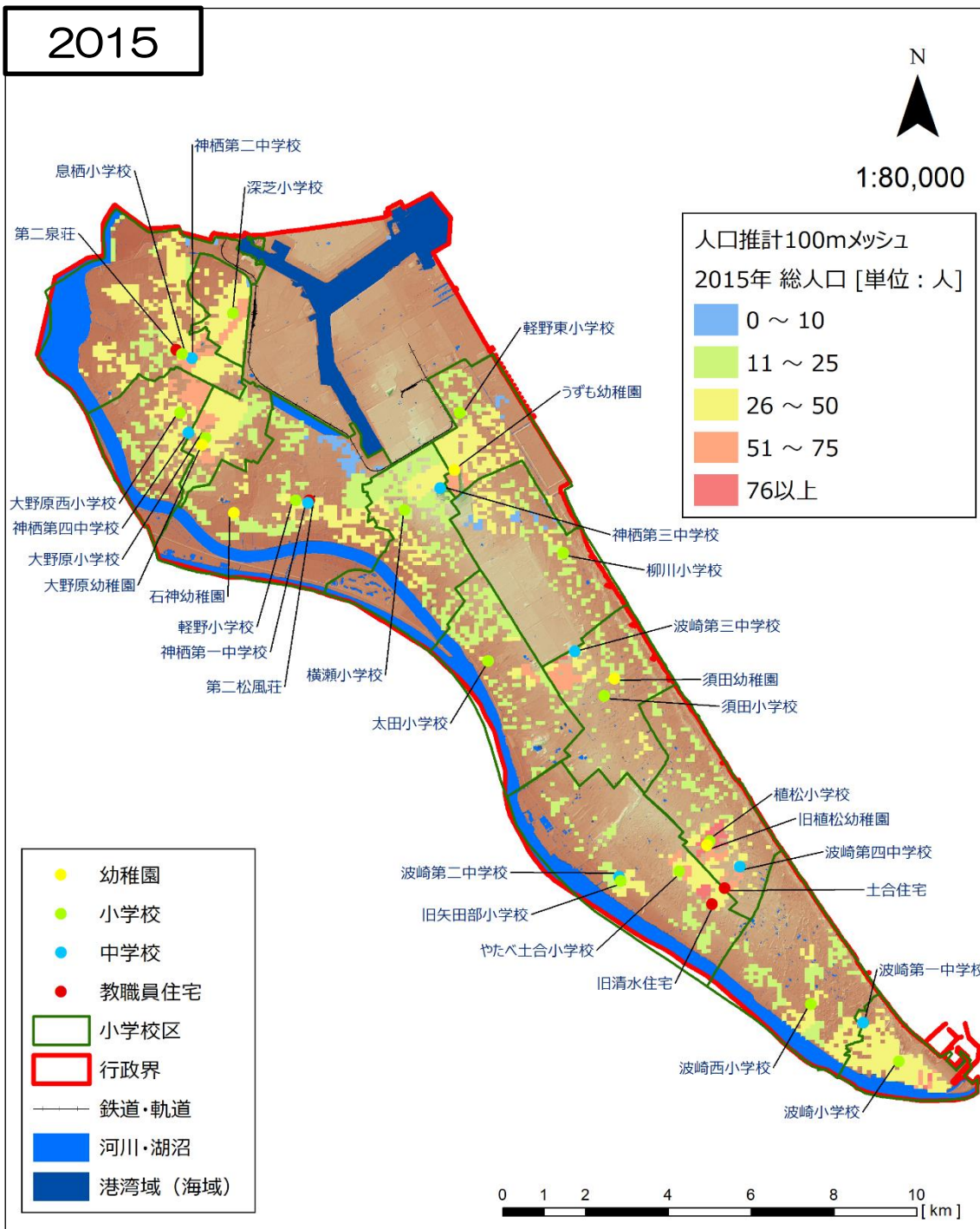


図3-11 100mメッシュにおける総人口の分布（2015年）

※分布図データは、総務省統計局（e-stat）の平成27年度国勢調査の数値データを、国土交通省国土政策局の国土数値情報より公開メッシュデータに属性を付して表示しています。



総人口では、今後減少する地域が全体的に見込まれ、本市が将来的な人口減少傾向に向かうことが示されています。また、神栖地区に比べて波崎地区の減少傾向が比較的大きいことが示されています。増加傾向は、深芝、居切西部、大野原、田畑、奥野谷浜、知手浜、柳川、砂山、須田、土合の一部地域に見られます。

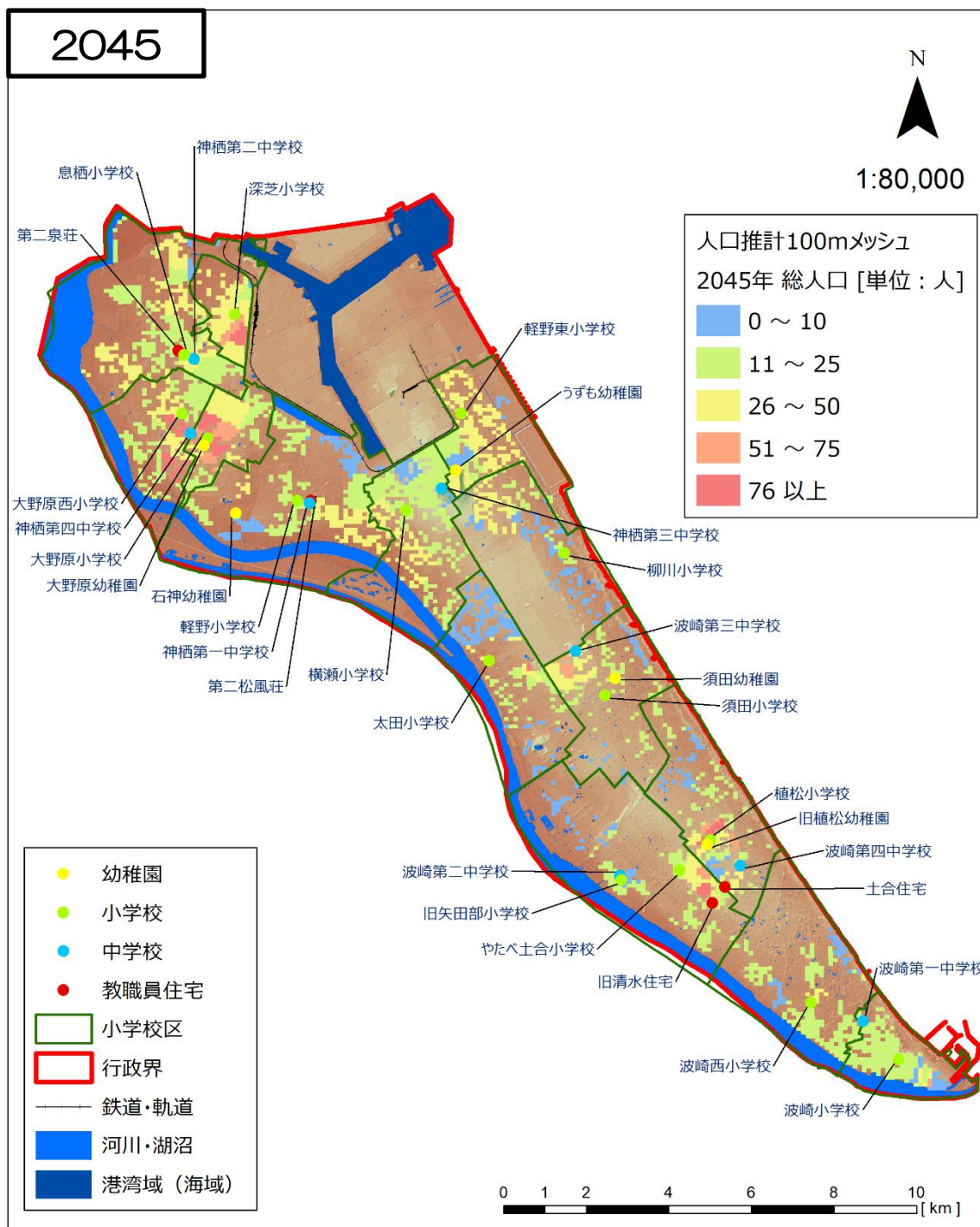


図3-12 100mメッシュにおける総人口の分布（2045年）

※分布図データは、総務省統計局（e-stat）の平成27年度国勢調査の数値データを、国土交通省国土政策局の国土数値情報より公開メッシュデータに属性を付して表示しています。

年少人口（0～14歳人口）では、総人口と同様に減少傾向に向かう地域が全体的に見込まれ、神栖地区よりも波崎地区に減少域が多く分布しています。また、増加傾向は、深芝、大野原、田畑、奥野谷浜、柳川、須田、土合の一部地域に見られます。

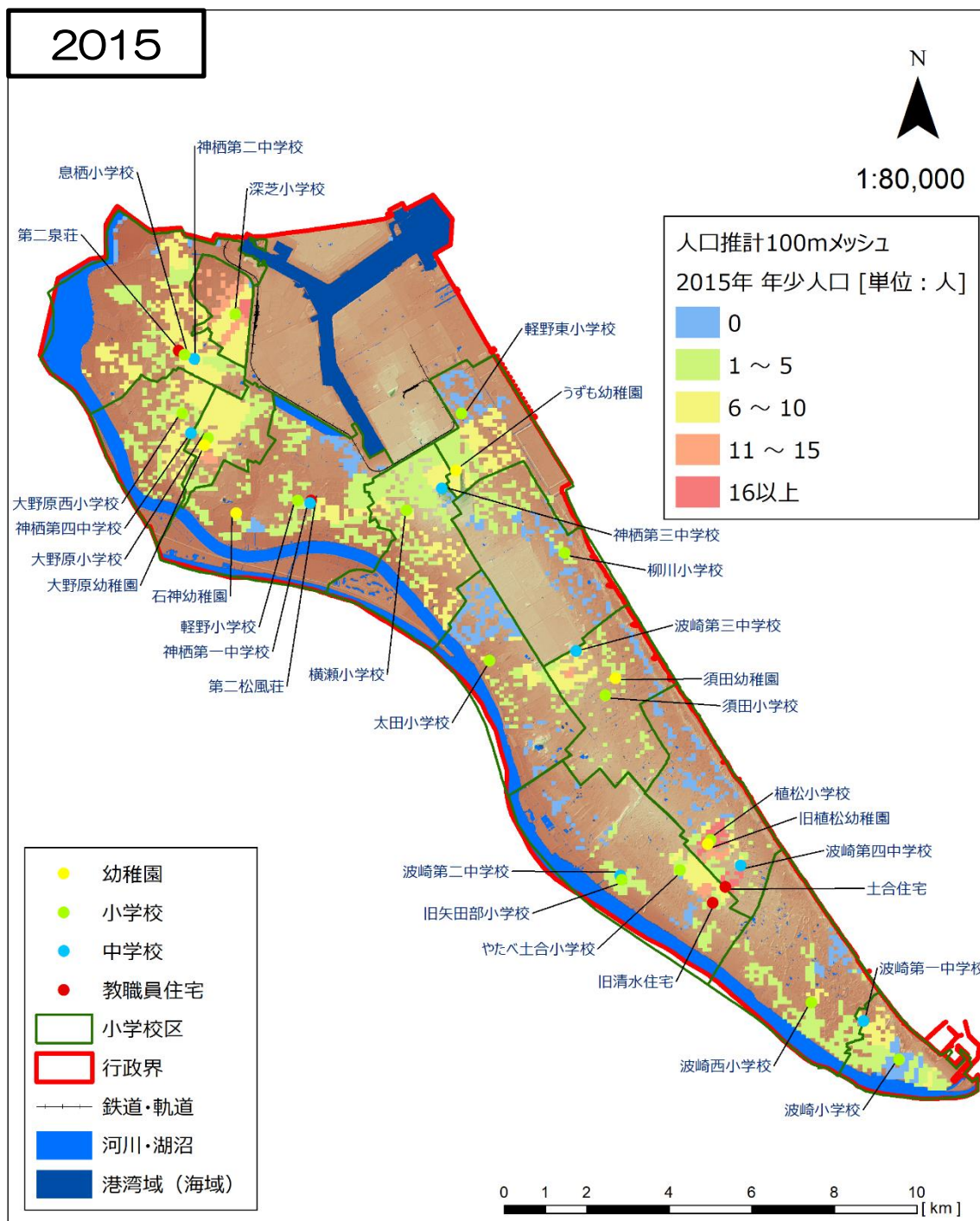


図 3-13 100mメッシュにおける年少人口の分布（2015年）

※分布図データは、総務省統計局（e-stat）の平成27年度国勢調査の数値データを、国土交通省国土政策局の国土数値情報より公開メッシュデータに属性を付して表示しています。

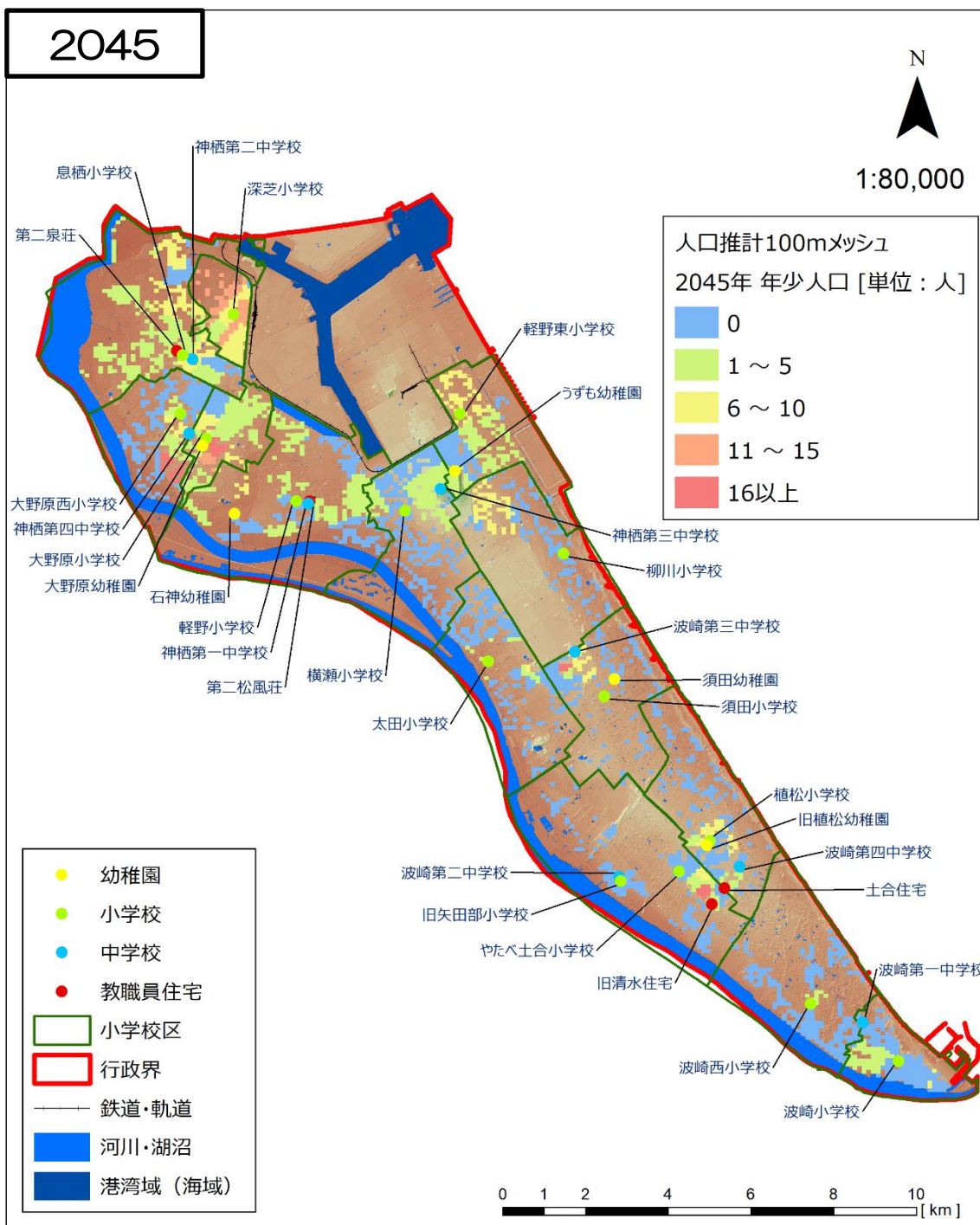


図 3-14 100mメッシュにおける年少人口の分布（2045年）

※分布図データは、総務省統計局（e-stat）の平成27年度国勢調査の数値データを、国土交通省国土政策局の国土数値情報より公開メッシュデータに属性を付して表示しています。

(2) 浸水想定区域及び津波浸水想定区域重ね合わせ図

本市は、東は太平洋（鹿島灘）に面し、南は利根川（常陸利根川）に接する立地であるため、防災面では特に、水害等による防災対策の取り組みも重要となります。

浸水想定区域及び津波浸水想定区域重ね合わせ図を以下に示します。

浸水想定区域に重なる小学校区は、利根川沿いに立地する、息栖、深芝、大野原西、軽野、横瀬、太田、やたべ土合、波崎西、波崎の小学校区になります。

津波想定浸水区域に重なる小学校区は、息栖、深芝、大野原西、軽野、軽野東、柳川、太田、須田、植松、やたべ土合、波崎西、波崎の小学校区になります。

小・中学校は指定緊急避難場所・指定避難所に指定されているため、浸水想定区域及び津波浸水想定区域に重なる小学校区は、事前の強固な防災対策を図る必要があります。

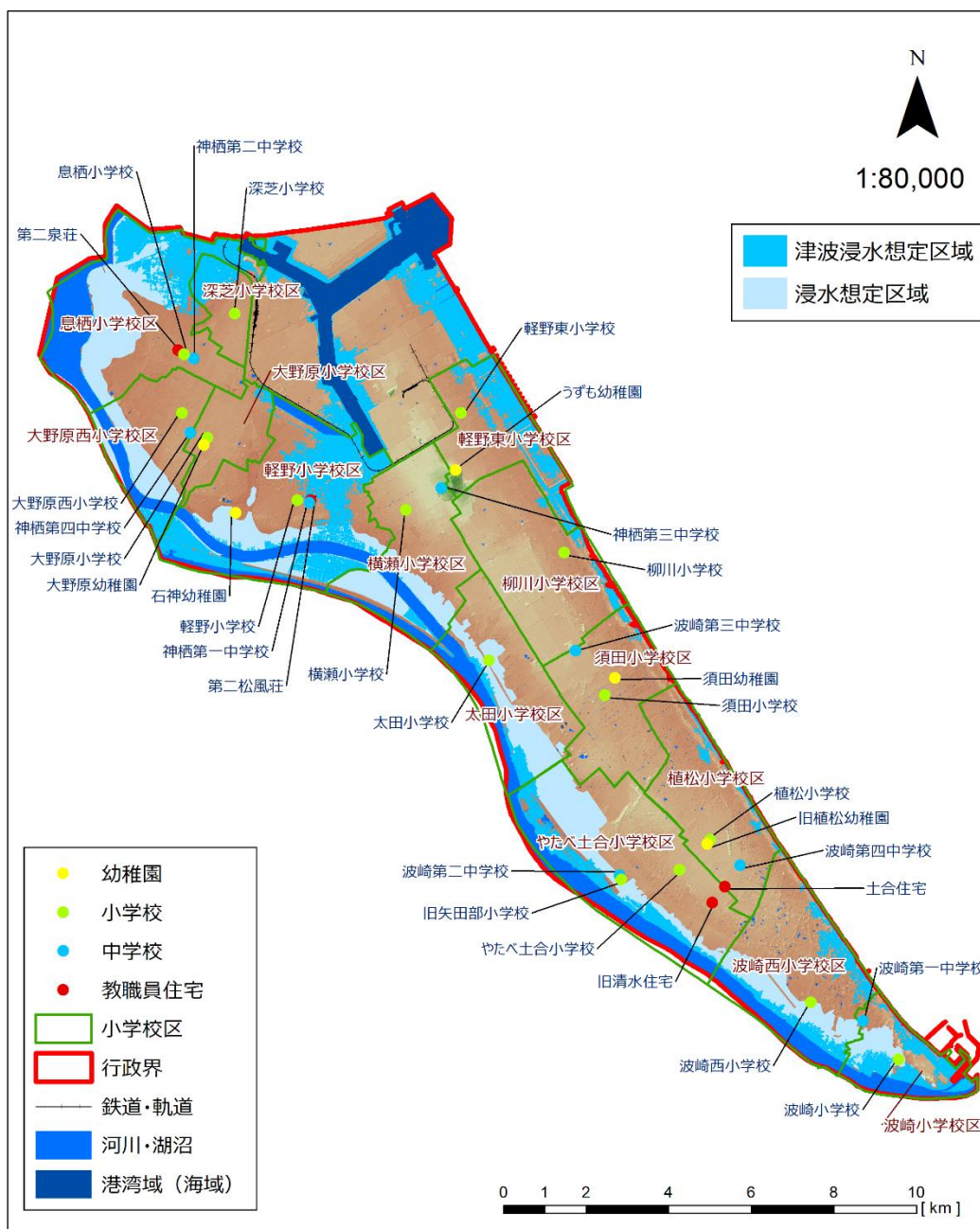


図 3-15 浸水想定区域及び津波浸水想定区域重ね合わせ図

※浸水想定区域図データは、国土交通省国土政策局の国土数値情報より公開データを表示しています。

3) 施設関連経費の推移と学校施設の建築年別整備状況

(1) 施設関連経費の推移

過去5年間（平成26～30年度）における施設関連経費は、下表に示すとおりです。

過去5年間の施設関連経費の平均は、1,720,752千円になります。また、平成26年度・平成27年度の施設整備費が他年度と比べて高い理由は、各学校の校舎や体育館等の耐震化事業や波崎第一中学校の改築事業がこの時期に集中したことによるものです。

表3-8 施設関連経費の推移

(単位：千円)

年度	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	5年平均
施設整備費	1,895,663	1,744,592	1,016,629	483,269	560,055	1,140,041
維持修繕費	211,264	230,067	296,207	214,287	334,313	257,228
その他施設関連経費	129,767	90,891	54,245	374,122	317,931	193,391
光熱水費・委託費	142,740	139,430	124,029	120,798	123,462	130,092
合計	2,379,434	2,204,981	1,491,109	1,192,476	1,335,760	1,720,752

※「施設整備費」は、建設工事業費が該当します。

※「維持修繕費」は、「施設整備費」の工事業に係らない建物内外の改修工事等に加えて、給排水管や照明、昇降口、フェンス等の共用設備の比較的軽微な維持管理に係わる修理・修繕費用、施設の保守点検に係る委託料が該当します。

※「その他の関連経費」は、グラウンド、テニスコート、プール、砂場、駐車場等、建物部位以外の設備工事・修繕費用が該当します。

※「光熱水費・委託費」は、光熱水費、通信費、借地料等が該当します。

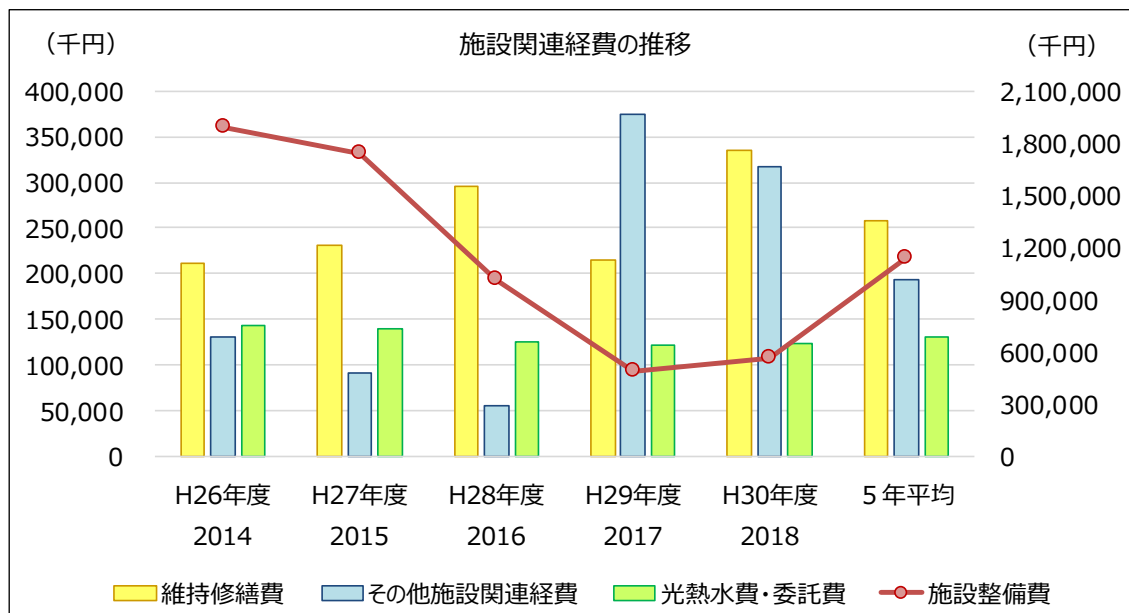


図3-16 施設関連経費の推移

(2) 学校施設の建築年別整備状況

対象建物 151 棟のうち、築 50 年以上は、4 棟（約 0.3 万㎡、約 2%）、築 40 年以上 50 年未満は、58 棟（約 5.5 万㎡、約 38%）、築 30 年以上 40 年未満は、47 棟（約 4.0 万㎡、約 28%）あり、今後 10 年間で 7 割程度の対象建物が長寿命化改修や大規模改造、更新（建替）の時期を迎えます。

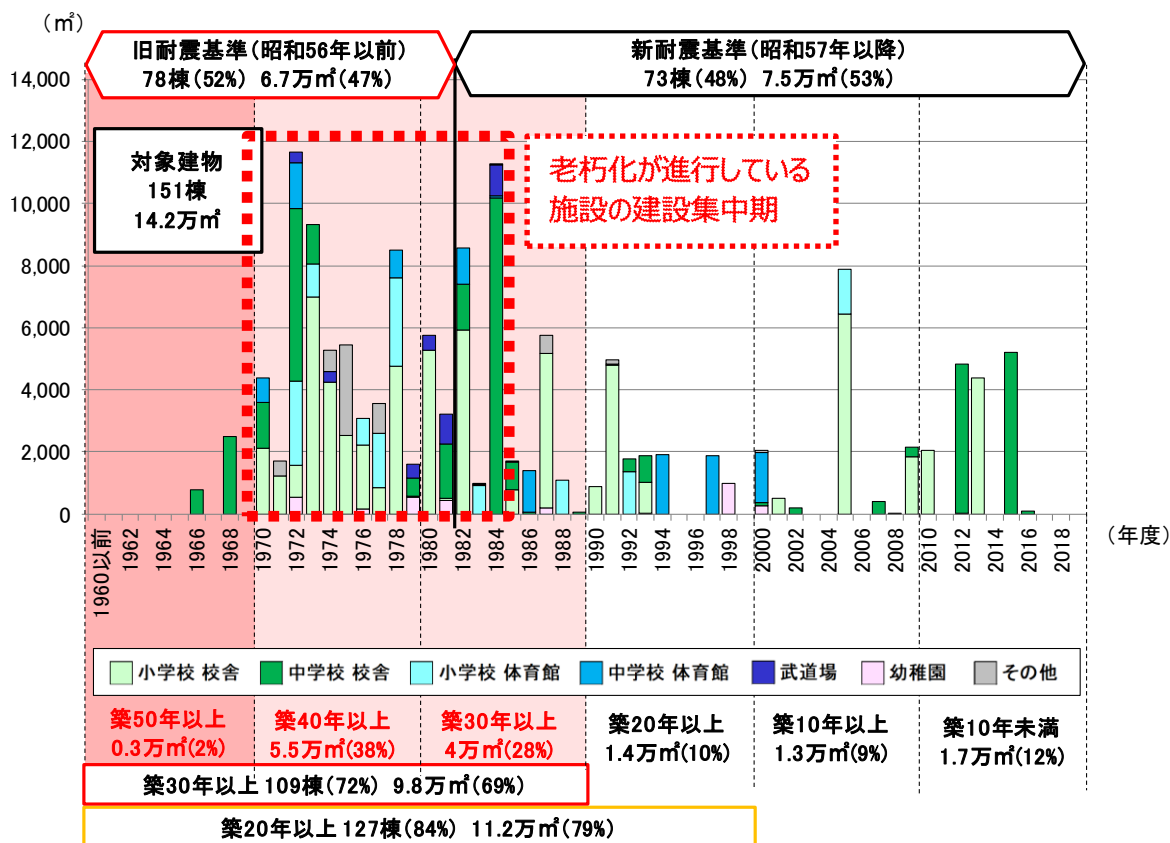


図 3-17 対象建物の建築年別整備状況

4) 今後の維持・更新コスト（従来型）

文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトにより試算した今後の維持・更新コスト（従来型）は、40年間で約815.9億円、年平均約20.4億円と試算されます。

過去5年間の施設関連経費の平均は約17.2億円となっています。今後の維持・更新コスト（従来型）の試算では、今後40年間では過去5年間平均の施設関連経費と同規模程度の改築・修繕費用がかかる見込みであり、対応を検討していく必要があります。

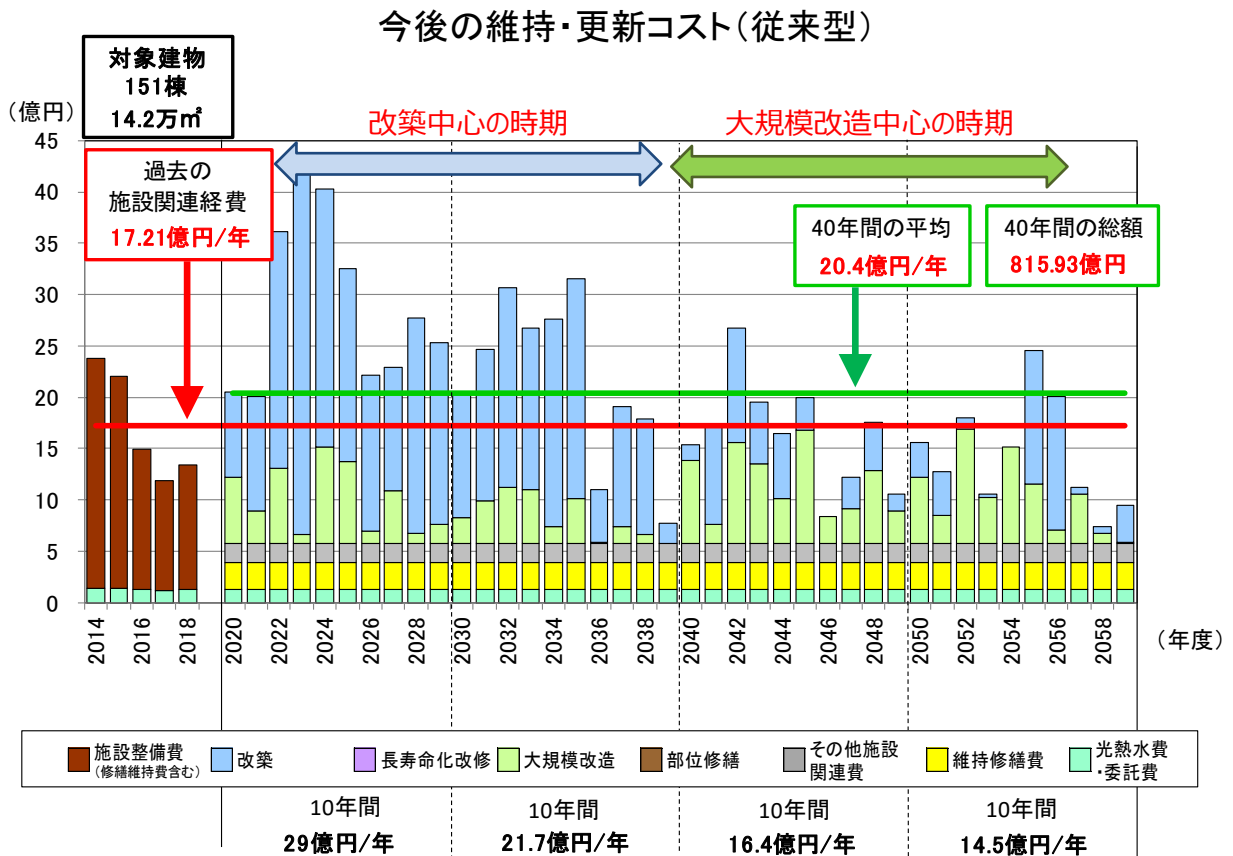


図 3-18 今後の維持・更新コスト（従来型）

【コスト試算条件】

- ・ 基準年度：2019年
- ・ 試算期間：基準年の翌年から40年間
- ・ 改築：更新周期50年  
改築単価：330,000円/㎡  
(引用：総務省の公共施設等更新費用試算ソフト仕様書の更新（建替え）及び大規模改修の単価)  
工事期間2年  
実施年数より古い建物（積み残し）の改修は10年以内に実施
- ・ 大規模改造：実施年数20年周期  
大規模改造単価82,500円/㎡（改築単価の25%に自動設定）  
工事期間1年

※文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトによる今後の維持・更新コスト（従来型）グラフの大規模改造単価（改築単価の25%）は、改築単価から自動で決定されます。

5) 学校プール利用に係る経費及び利用状況

小学校及び中学校について、2014年度から2018年度の5年間における学校プール利用におけるコスト状況ならびに2016年度から2018年度の3年間における利用状況を以下に示します。下記の整理では、旧矢田部小学校は2018年度に土合小学校と統合したため除外しています。

(1) 学校プール利用の関連経費の推移

- 維持・管理費（合計）は、5年間の維持・管理費の年間平均額は約206千円となっています。
- 保守・点検費用は、5年間の保守・点検費用の年間平均額は約41千円となっています。
- 水質検査・薬剤費用は、5年間の水質検査・薬剤費用の年間平均額は約28千円となっています。
- 水道費用は、5年間の水道費用の年間平均額は約183千円となっています。
- プールに係る修繕費は、5年間の計上では年度やプールの修繕が必要な学校により差がありますが、5年間の修繕費の年平均額は約2,140千円となっています。

表3-9 学校プール利用の関連経費の推移

(単位：千円)

年度	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	5年平均
<b>維持・管理費（合計）</b>						
年間平均	184.0	174.9	235.5	210.3	224.9	205.9
<b>(内訳) 保守・点検費用</b>						
年間平均	38.9	40.1	42.4	40.3	40.9	40.5
<b>(内訳) 水質検査・薬剤費用</b>						
年間平均	17.4	17.0	42.8	40.4	24.2	28.4
<b>(内訳) 水道費用</b>						
年間平均	189.2	159.1	193.3	166.0	207.7	183.1
<b>修繕費</b>						
年間平均	4,843.9	2,625.3	490.4	400.3	2,340.2	2,140.0

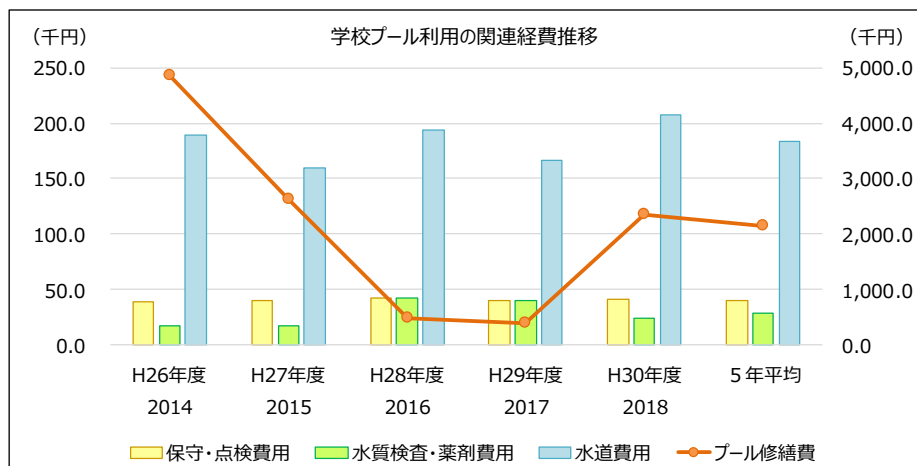


図3-19 学校プール利用の関連経費の推移



(2) 学校プールの利用状況

- 小学校及び中学校 22 施設のうち、2018 年度における屋外の学校プールを利用している施設は 16 施設であり、屋内の公営プール等を利用している施設は6施設（植松小学校、神栖第三中学校、神栖第四中学校、波崎第一中学校、波崎第二中学校、波崎第三中学校）となっています。
- 小学校及び中学校 22 施設を統計とした3年間の年間平均使用日数は、約 14 日です。また、年間総授業時間は、約 62 時間になります。
- 小学校及び中学校 22 施設を統計とした3年間の教職員の年間平均授業・調整時間(※)は、約 29 時間になります。屋内の公営プールを利用している学校は、教職員の年間授業・調整時間がありません。

※調整時間とは、水泳授業の内容の検討や授業を行うまでの準備、授業終了後の跡片付け等に係る時間が該当します。

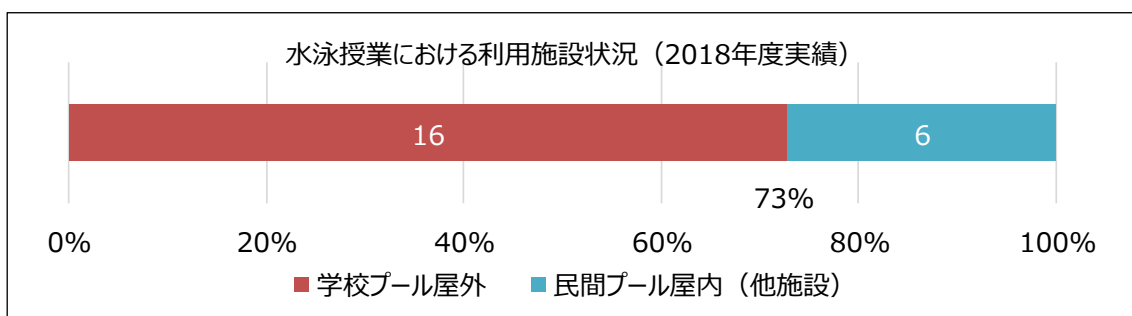


図 3-20 プールの設置状況 (2018 年度実績)

表 3-10 学校プールにおける利用状況

(単位：日，時間)

年度	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	3年平均
年間総使用日数 (プール使用日数)				
年間平均	14.3	13.9	13.0	13.7
年間総授業時間 (プール使用时间)				
年間平均	60.6	62.1	62.4	61.7
教職員の年間授業・調整時間				
年間平均	28.8	29.5	28.6	28.9

## 6) バリアフリー及び防災機能の整備状況

小学校、中学校、幼稚園のバリアフリー及び防災機能の整備状況を下表に示します。

表3-11 バリアフリー・防災機能整備状況一覧表（平成31年3月末時点）

施設名	バリアフリー				防災機能					
	多目的トイレ	手すり (校舎階段)	スロープ (玄関・昇降口等)	スロープ (体育館避難経路)	屋上避難階段	自家発電機	太陽光発電機	受水槽	高架水槽	防災井戸
息栖小学校	○	○(両側)	○	○		○	○	○		○
深芝小学校	○	○(両側)	○	○	屋上なし			○		○
軽野小学校		○(両側)	○	○	○		○	○		○
軽野東小学校		○(両側)	○	○	○			○		○
大野原小学校	○	○(両側)	○	○	○			○		
横瀬小学校	○	○(両側)	○	○	屋上なし			○	○	
大野原西小学校	○	○(両側)	○	○	屋上なし			○	○	
柳川小学校		○(両側)	○	○	○			○		○
太田小学校	○	○(両側)	○	○	○			○		○
須田小学校	○	○(両側)	○	○	○		○			○
波崎小学校		○(両側)	○	○	○			○		○
波崎西小学校	○	○(両側)	○	○	○			○		○
植松小学校		○(両側)	○	○	○			○	○	○
やたべ土合小学校	○	○(両側)	○	○	○			○	○	○
神栖第一中学校		○(両側)	○	○	○			○		○
神栖第二中学校		○(両側)	○	○	○	○		○		○
神栖第三中学校	○	○(両側)	○	○	○		○	○		○
神栖第四中学校	○	○(両側)	○		○			○	○	
波崎第一中学校	○	○(両側)	○		○	○		○	○	○
波崎第二中学校		○(両側)	○	○	○			○	○	
波崎第三中学校		○(両側)	○	○	○			○	○	○
波崎第四中学校		○(両側)	○	○	屋上なし			○		○
うずも幼稚園		—		—	—					○
大野原幼稚園		—	○	—	—					
石神幼稚園		—		—	—					○
須田幼稚園		—		—	—					○
旧矢田部小学校		○(両側)	○	○	—			○		○

※表中の「○」は設置済みを示します。

7) 教職員住宅に係る経費及び利用状況

(1) 施設関連経費の推移

教職員住宅（土合住宅、第二松風荘、第二泉荘）の過去5年間（平成26～30年度）の施設関連経費の推移を下表に示します。

過去5年間の施設関連経費の平均は、3,204千円になります。年度によってばらつきがありますが、近年は増加傾向にあります。また、第二松風荘は、借地料を毎年約130万円支払っています。

表3-12 教職員住宅の施設関連費の推移

(単位：千円)

年度	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	5年平均
維持修繕費	2,131.6	3,633.5	3,077.2	2,009.6	2,842.6	2,738.9
その他関連経費	1,438.4	244.5	115.1	84.1	445.9	465.6
合計	3,570.0	3,877.9	3,192.3	2,093.7	3,288.5	3,204.5

※「維持修繕費」は、建設工事業に係らない建物内外の改修工事等に加えて、給排水設備や照明等の比較的軽微な維持管理に係わる修理・修繕費用、施設の保守点検に係る委託料が該当します。

※「その他関連経費」は、樹木剪定・除草等委託料が該当します。

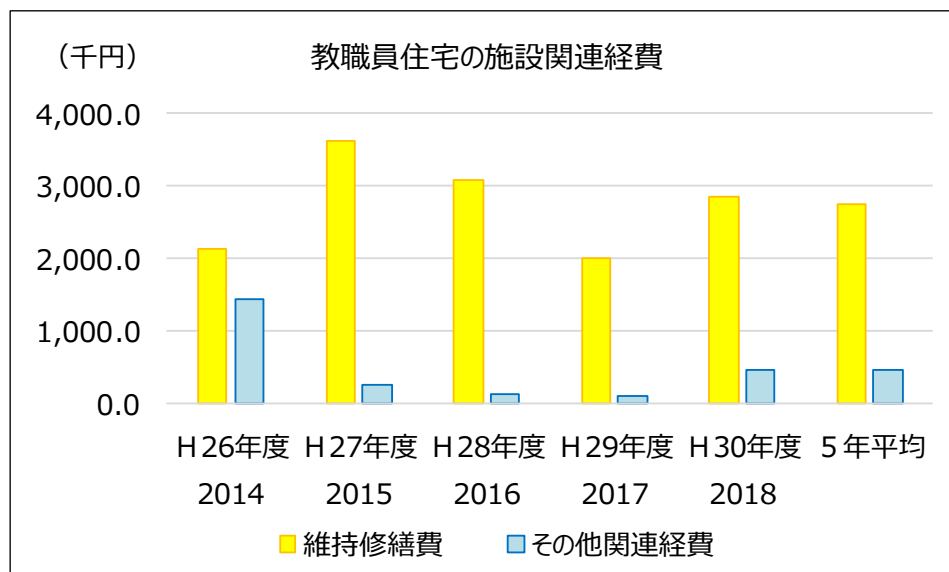


図3-21 教職員住宅の維持修繕費等の推移

(2) 入居率の推移

各教職員住宅の過去9年間（平成22～30年度）の入居率の推移を下表に示します。  
 入居率は、近年低下傾向にあります。主な理由としては、以下の事項が考えられます。

- 各施設ともに建築後30年以上が経過し、建物の老朽化が進行している。
- 建設当時と比較して、民間の住宅（アパート）の増加により、選択肢が増えたほか、民間施設と比べて、外装、内装、設備等の造りが時代にそぐわない部分もあり、若い教職員の嗜好やライフスタイルに合わなくなっている。
- 住居手当が最高2万7千円まで補助されるため、設備等の充実した新しい民間アパート・マンションに入居する教職員が増えている傾向にある。

表3-13 教職員住宅の入居率の推移

年度	土合住宅		第二松風荘		第二泉荘	
	入居率	入居/全室	入居率	入居/全室	入居率	入居/全室
H22年度 2010	83%	(10/12)	80%	(8/10)	100%	(10/10)
H23年度 2011	100%	(12/12)	80%	(8/10)	100%	(10/10)
H24年度 2012	92%	(11/12)	80%	(8/10)	100%	(10/10)
H25年度 2013	58%	(7/12)	80%	(8/10)	40%	(4/10)
H26年度 2014	58%	(7/12)	50%	(5/10)	30%	(3/10)
H27年度 2015	75%	(9/12)	80%	(8/10)	40%	(4/10)
H28年度 2016	91%	(11/12)	80%	(8/10)	60%	(6/10)
H29年度 2017	83%	(10/12)	80%	(8/10)	40%	(4/10)
H30年度 2018	67%	(8/12)	100%	(10/10)	40%	(4/10)
構造/階数	鉄筋コンクリート/2階		鉄筋コンクリート/3階		鉄筋コンクリート/3階	
建築年	1987年		1977年		1974年	

※基準日：各年度とも4月1日

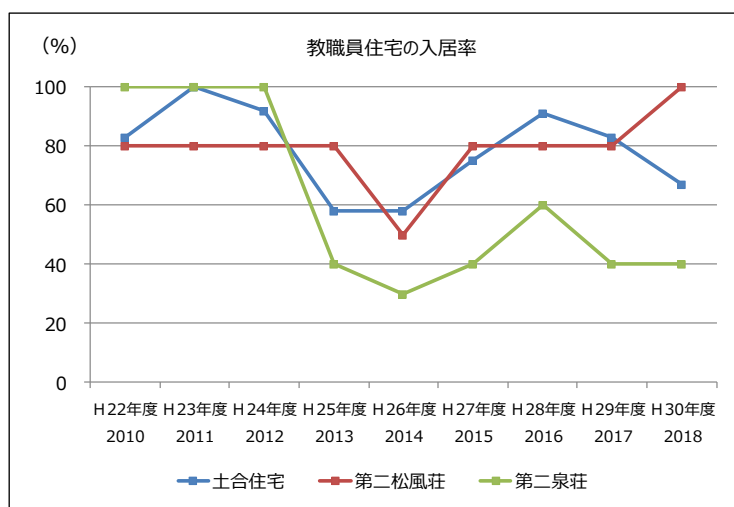


図3-22 教職員住宅の入居率の推移

### 3.3 学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

(1) 劣化状況調査（机上調査及び現地劣化状況調査）

劣化状況調査は、本計画対象の32施設（151棟）の建物について延べ13日間で実施しました。

現地劣化状況調査前に机上調査を実施しました。机上調査は、施設に関する資料収集後に修繕・改修履歴、図面（配置図・平面図・立面図）等により施設状況を確認しました。

現地劣化状況調査は、調査に先立ち現地で施設管理者へ建物の不具合や設備等の動作についてヒアリングした後、建物ごとに目視調査、必要に応じて打診・触診・聴診・臭診等により劣化傾向の調査を行いました。

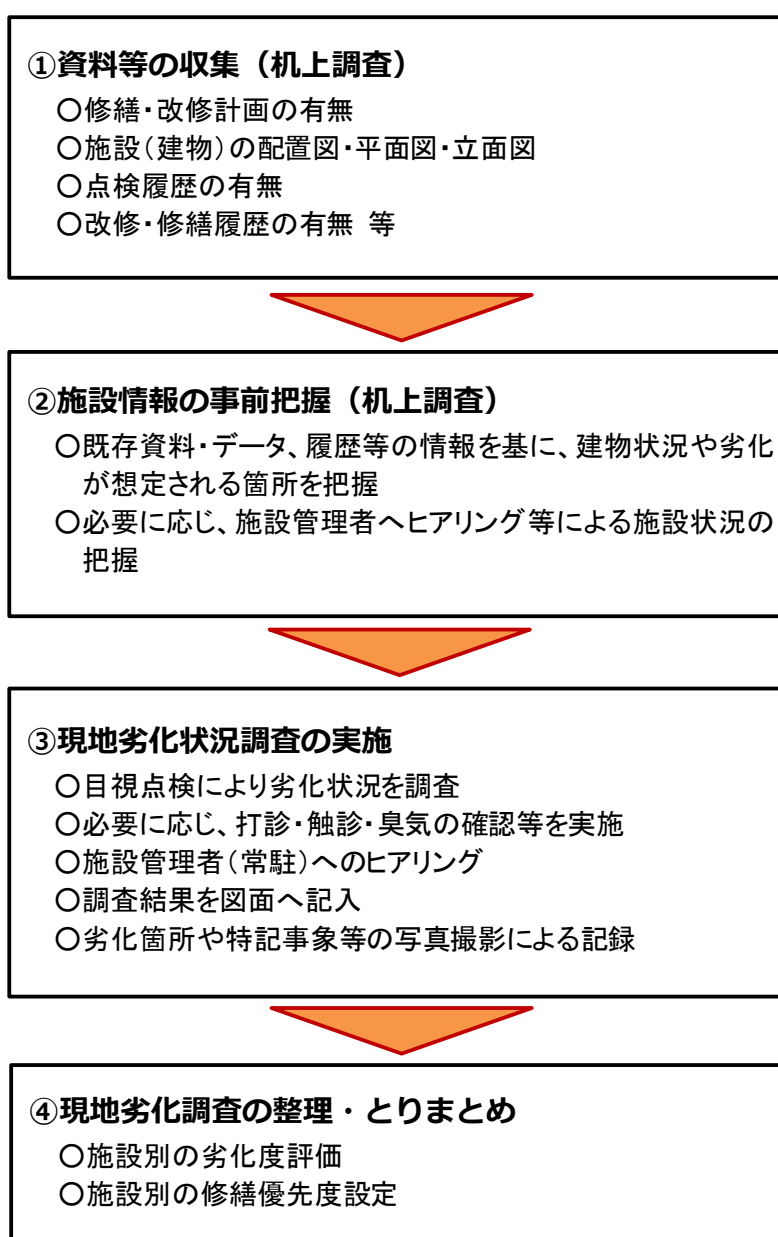


図 3-23 劣化状況調査のフロー

表3-14 学校施設の改修・修繕履歴一覧表（小学校1/2）（平成31年3月末時点）

施設名	建物名	棟番号	建築年度		築年数	耐震診断	耐震補強	非構造部材 耐震化	大規模改修	屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	
			1	2								内部	下/レ		給水設備	空調設備
息柵小学校	普通教室棟	2	1973	S48	46	H21	H23		H23	H23	H23		H23	H23	H23	
	管理・普通教室棟	5	1974	S49	45	H21	H23		H23	H23	H23		H23	H23	H23	
	屋内運動場	6	1973	S48	46	H26	H28	H28	H28	H28	H28		H28	H28	H28	
	特別教室棟	9	2001	H13	18	新	不要									
	普通・特別教室棟	11	2013	H25	6	新	不要									
深芝小学校	校舎	1	2005	H17	14	新	不要	H29								H30(一部)
	体育館	2	2005	H17	14	新	不要	H29	H26							
軽野小学校	教室棟	10-1	1972	S47	47	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	教室棟	10-2	1976	S51	43	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	屋内運動場	11	1972	S47	47	H25	H27	H27	H27	H27	H27		H27	H27	H27	
	管理・教室棟	15	1982	S57	37	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	普通教室・特別教室棟	1-1	1971	S46	48	H20	H22		H22	H22	H22		H22	H22	H22	
軽野東小学校	管理棟	1-2	1975	S50	44	H20	H22		H22	H22	H22		H22	H22	H22	
	普通教室棟	1-3	1980	S55	39	H20	H22		H22	H22	H22		H22	H22	H22	
	普通教室棟(配膳室)	1-4	1975	S50	44	H20	H22		H22	H22	H22		H22	H22	H22	
	管理・普通教室棟	1-5	1975	S50	44	H20	H22		H22	H22	H22		H22	H22	H22	
	屋内運動場	2	1972	S47	47	H25	H27	H27	H27	H27	H27		H27	H27	H27	
大野原小学校	管理普通教室棟	1-1	1978	S53	41	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	管理普通教室棟	1-2	1980	S55	39	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	管理普通教室棟(ハントリ)	1-3	1982	S57	37	新	不要		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	管理普通教室棟	1-4	1978	S53	41	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	管理普通教室棟	1-5	1978	S53	41	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
榎瀬小学校	体育館	6	1978	S53	41	H25	H28	H28	H28	H28	H28		H28	H28	H28	
	管理普通教室棟	11	1985	S60	34	新	不要		H24	H24	H24		H24	H24	H24	
	管理・普通教室棟	1	1987	S62	32	新	不要						H29		H29	
	特別教室棟	2	1987	S62	32	新	不要						H29		H29	
	屋内運動場	3	1988	S63	31	新	不要	H29								
大野原西小学校	普通教室棟	7	1990	H2	29	新	不要						H29		H29	
	校舎棟	1	1991	H3	28	新	不要						H30		H30	
	渡り廊下	2	1991	H3	28	新	不要									
	体育館	6	1992	H4	27	新	不要	H29					H30		H30	

表3-15 学校施設の改修・修繕履歴一覧表（小学校2/2）（平成31年3月末時点）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	築年数	耐震診断	耐震補強	非構造部材耐震化	大規模改修	屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	
											内部	ト・レ		給水設備	空調設備
柳川小学校	教室棟	10-1	1973 S48	46	H22	H24		H24	H24	H24	内部	H24	H24	H24	
	管理教室棟	10-2	1976 S51	43	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	H22(一部)
	コンナ受入室	10-3	2012 H24	7	新	不要									
	屋内運動場	12-1	1978 S53	41	H21	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	
太田小学校	特別教室棟	8-1	1974 S49	45	H22	H25		H25	H25	H25		H25	H25	H25	
	管理教室棟	8-2	1974 S49	45	H22	H25		H25	H25	H25		H25	H25	H25	H22(一部)
	屋内運動場	10	1978 S53	41	H25	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	
	特別普通教室棟	13	1980 S55	39	H22	H25		H25	H25	H25		H25	H25	H25	
須田小学校	渡廊下	14	1981 S56	38	旧										
	屋内運動場	5	1977 S52	42	H25	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	
	特別教室棟	6	1980 S55	39	H23			H30	H30	H30	H30	H26	H26	H26	
	管理教室棟	12	1993 H5	26	新	不要									H22(一部)
波崎小学校	管理・普通・特別教室棟	14	2009 H21	10	新	不要									
	階段室棟	15	2009 H21	10	新	不要									
	管理・特別教室棟	20	1973 S48	46	H20	H21		H21	H21	H21		H28	H28	H28	
	屋内運動場	23	1976 S51	43	H26	H28	H28	H28	H28	H28		H28	H28	H28	
波崎西小学校	コンナ室	26	2008 H20	11	新	不要									
	配膳室	27	2012 H24	7	新	不要		H24							
	特別教室棟	16	1973 S48	46	H23	H25			H25	H25		H25	H25	H25	
	屋内運動場	17	1977 S52	42	H24	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	
植松小学校	特別教室棟	18	1982 S57	37	新	H25			H25	H25		H25	H25	H25	
	管理・普通教室棟	22	2010 H22	9	新	不要									
	管理・教室棟	1-1	1970 S45	49	H20	H24		H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H22(一部)
	特別教室棟	1-2	1970 S45	49	H20	H24		H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	
やたべ土合小学	特別教室棟	1-3	1970 S45	49	H20	H24		H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	
	特別教室棟	1-4	1977 S52	42	H20	H24		H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	
	給食受入室	1-6	1979 S54	40	H20	H24		H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	
	屋内運動場	2	1972 S47	47	H21	H25	H25		H25	H25		H25	H25	H25	
やたべ土合小学	特別教室棟	8-1	1980 S55	39	H20	H24		H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	
	重廊渡廊下棟	8-2	1980 S55	39	H20				H24	H24	H24	H24	H24	H24	
	便所棟	10	1981 S56	38	新			H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	
	管理教室棟	1	1982 S57	37	新	不要				H30	H30	H24	H24	H24	H22(一部)
やたべ土合小学	屋内運動場	5	1983 S58	36	新	不要	H27								
	フレハブ校舎	8	2009 H21	10	新	不要									

表3-16 学校施設の改修・修繕履歴一覧表（中学校1/2）（平成31年3月末時点）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	築年数	耐震診断	耐震補強	非構造部材耐震化	大規模改修	屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備		機械設備	
											内部	トイレ	電気設備	給水設備	空調設備	
神栖第一中学校	管理・教室棟	1-1	1970 S45	49	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	H24	H3
	管理・教室棟(職員室)	1-2	1986 S61	33	新			H24	H24	H24		H24	H24	H24	H24	
	管理・教室棟(北玄関)	1-3	1991 H3	28	新			H24	H24	H24		H24	H24	H24	H24	
	教室棟	3	1972 S47	47	H22	H24		H24	H24	H24		H24	H24	H24	H24	H3
	武道場	11	1980 S55	39	H25	H28		H28	H28	H28		H28	H28	H28	H28	
	技術棟	12	1982 S57	37	H22			H24	H24	H24		H24	H24	H24	H24	
	屋内運動場	19-1	1994 H6	25	新	不要	H28		H23	H30						
	屋内クラブハウス	19-2	1994 H6	25	新	不要	H28		H23	H30						
	屋内運動場	19-3	1994 H6	25	新	不要	H28		H23	H30						
神栖第二中学校	普通・職員室棟	1-1	1972 S47	47	H20	H22		H22	H22	H22		H28	H22	H28	H28	
	普通・職員室棟	1-2	1989 H元	30	新	H22		H22	H22	H22		H28	H22	H28	H28	
	配膳室	1-3	1979 S54	40	H20	H22		H22	H22	H22		H28	H22	H28	H28	
	普通・特別教室棟	2	1966 S41	53	H20	H22		H22	H22	H22		H28	H22	H28	H28	
	理科・図書室棟	3	1972 S47	47	H20	H22		H22	H22	H22		H28	H22	H28	H28	H4
	屋内運動場	4-1	1972 S47	47	H24	H26	H26	H1	H26	H26		H26	H26	H26	H26	
	武道場	9	1979 S54	40	H25	H26	H26	H26	H26	H26		H26	H26	H26	H26	
	プレハブ校舎棟	18	2007 H19	12	新	不要										
	特別教室	6-1	1981 S56	38	H23							H26				H26
神栖第三中学校	格技場	6-2	1981 S56	38	H23						H26					H26
	屋内運動場	10-1	1997 H9	22	新	不要	H29									
	屋内クラブハウス	10-2	1997 H9	22	新	不要	H29									
	屋内運動場	10-3	1997 H9	22	新	不要	H29									
	多目的室棟	12	2002 H14	17	新	不要										
	管理・特別・普通教室棟	13	2012 H24	7	新	不要										
	校舎棟	1	1984 S59	35	新	不要						H19	H19	H19	H19	
	室体	2-1	1984 S59	35	新	不要	H29					H29				
	武道場	2-2	1984 S59	35	新	不要	H29					H29				
神栖第四中学校	部室棟	2-5	1984 S59	35	新	不要										
	渡り廊下棟	2-6	1984 S59	35	新	不要										
	特別教室棟	7	1993 H5	26	新	不要										



表3-17 学校施設の改修・修繕履歴一覧表（中学校2/2）（平成31年3月末時点）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	築年数	耐震診断	耐震補強	非構造部材耐震化	大規模改修	屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	
											内部	トイレ		給水設備	空調設備
波崎第一中学校	特別教室棟	1-4	1979 S54	40	H20			H1			H1				
	武道場	13	1972 S47	47	H25	H28	H28	H28	H28	H28	H28		H28		
	屋内運動場	17	1982 S57	37	新	不要	H28				H28		H28		
	校舎棟	23	2015 H27	4	新	不要						H26			
波崎第二中学校	技術室棟	4	1968 S43	51	旧										
	屋内運動場	5	1970 S45	49	H21	H27	H27	H27	H27	H27	H27		H27		
	教室棟	9-1	1972 S47	47	H22	H25		H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25
	管理・特別教室棟	9-2	1973 S48	46	H22	H25		H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25 (一部)
	特別教室棟	11-1	1981 S56	38	H22	H25		H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	
	格技場	11-2	1981 S56	38	H22	H25		H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	
	渡廊下	11-3	1981 S56	38	H22	H25									
	部室	13	1983 S58	36	新	不要									
	渡廊下	14	1983 S58	36	新	不要									
	屋内運動場	15	1978 S53	41	H25	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26
	特別教室棟	1	1968 S43	51	H20	H22		H22	H22	H22	H22		H22		
	教室棟	2-1	1968 S43	51	H20	H22		H22	H22	H22	H22		H22		
	波崎第三中学校	廊下	2-2	1985 S60	34	新	H22								
給食配膳室		3	2016 H28	3	新	不要									
格技場		9	1974 S49	45	H25	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	
管理教室棟		13	1985 S60	34	新	不要		H22	H22	H22	H22				
教室棟		14-1	1992 H4	27	新	不要		H22	H22	H22	H22				
廊下		14-2	1992 H4	27	新	不要									
屋内運動場		16-1	2000 H12	19	新	不要	H28								
渡廊下		16-2	2000 H12	19	新	不要									
管理・普通教室棟		1	1984 S59	35	新	不要			H30			H30		H30	H22 (一部)
渡り廊下棟		2	1984 S59	35	新	不要									
波崎第四中学校	特別教室棟	3	1984 S59	35	新	不要					H30			H30	
	屋内運動場	4	1986 S61	33	新	不要	H29				H29			H29	
	プレハブ校舎棟	10	2009 H21	10	新	不要									

表3-18 学校施設の改修・修繕履歴一覧表（幼稚園・教職員住宅・その他）

（平成31年3月末時点）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	築年数	耐震診断	耐震補強	非構造部材耐震化	大規模改造	屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	
											内部	トイレ		給水設備	空調設備
うずも幼稚園	園舎	5	1998 H10	21	新	不要									
	園舎	1	1972 S47	47	H26	H28		H9		H28			H28		
	園舎	4	1976 S51	43	H25	H28				H28			H28		
	園舎	6	2000 H12	19	新	不要									
	園舎	1-1	1979 S54	40	H25	H27		H9				H22			
	園舎	1-2	1982 S57	37	新	不要						H22			
大野原幼稚園	園舎	1-3	1987 S62	32	新	H27		H9			H22				
	園舎	1-4	2000 H12	19	新	不要					H22				
	園舎	1-5	2005 H17	14	新	不要					H22				
	管理室棟	2	1981 S56	38	H26										
	保育室棟	3	1981 S56	38	H26	H28									
須田幼稚園	便所棟	5	1993 H5	26	新	不要									
	保育室棟	7	2000 H12	19	新	不要									
	教職員住宅		1987 S62	32	新	不要				H21					
	教職員住宅兼登校支援教室		1977 S52	42	H25				H24						
第二泉荘	教職員住宅		1974 S49	45	H25								H25		
	管理・特別・普通教室棟	12-1	1975 S50	44	H22	H25		H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H22(一部)
旧矢田部小学校	コンテナ受入室	12-2	1984 S59	35	新	不要									
	管理・保育室棟	1-1	1971 S46	48	H26										
	便所棟	1-2	1975 S50	44	H26										
	保育室棟	1-3	1977 S52	42	H26										
	保育室棟	3-1	1975 S50	44	H26										
	廊下	3-2	1977 S52	42	H26										
	渡り廊下	6	1985 S60	34	新	不要									
	保育室棟	7	1991 H3	28	新	不要									
	保育室棟	8	2000 H12	19	新	不要									
	登校支援教室		1975 S50	44	旧					H11		H11			

2) 構造躯体の健全性及び躯体以外の劣化状況の把握

(1) 構造躯体の健全性の判定

①構造躯体の健全性

長寿命化として長期にわたり建物を使用するためには、構造躯体が健全でなければ必要な安全性が確保できません。そのため、既に実施されている耐震診断報告書等に基づき、長寿命化改修に適する建物の可否を簡易に選別します。

下図フローの通り、新耐震基準の建物または耐震補強済みの建物のうち、RC造（鉄筋コンクリート造）については、コンクリート圧縮強度が13.5N/mm<sup>2</sup>より大きい場合、また、S造・W造（鉄骨造・木造）については、建築年からの経過が40年未満の建物は、長寿命化改修が「可」として判定します。

また、上記に適合しない建物は、長寿命化改修は「否」として判定します。

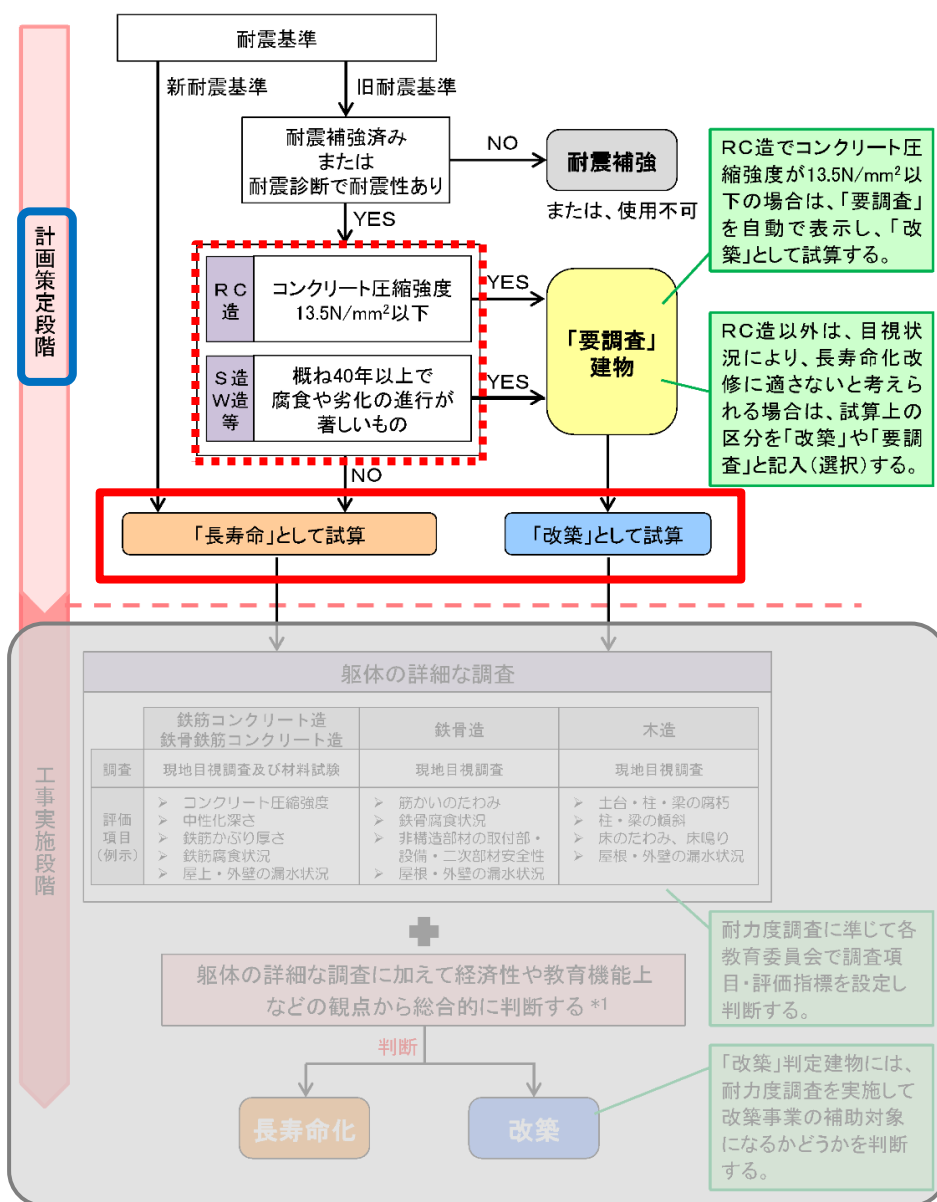


図3-24 長寿命化（試算上の区分）の判定フロー

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月、文部科学省）

②コンクリート圧縮強度の採用値

コンクリートの圧縮強度の数値は、学校別を実施している耐震診断報告書等のコンクリート圧縮強度試験の結果（平均値）を採用しています。結果が建物の階層別に記載されている場合は、最低値を各学校の棟別の代表値として採用しています。

耐震診断概要書（1） （鉄筋コンクリート造）											
建物概要	(1)	建物名称	神栖市立波崎第二中学校			棟名	教室棟・管理特別教室棟				
	(2)	所在地	茨城県神栖市矢田部3120番地								
	(3)	構造・規模	鉄筋コンクリート造	地上	2階	塔屋	2階				
	(4)	設計年	西暦	1971, 1972年		昭和	46, 47年		経過年数		
		建築年	西暦	1972, 1973年		昭和	47, 48年		39, 40年		
	(5)	面積	建築面積	1188.30 m <sup>2</sup>		延床面積	2415.00 m <sup>2</sup>				
	(6)	階高	階高(m)	1F: 4.10	2F: 3.90	PH1F: 2.50	PH2F: 2.00				
		建築高	軒高(m)	8.10			建築高(m)	12.6			
	(7)	全長	桁行(X)	102.0	(12スパン)	梁間(Y)	13.9	(3スパン)			
(8)	地盤の種類	表層	不明			支持地盤	不明				
(9)	基礎構造	杭基礎（コンクリートパイプ 300φ）			設計支持力	不明					
依頼者											
担当事務所					協力事務所						
現地調査概要 及び材料強度	(1)	コンクリート	設計基準強度(推定)		Fc = 20.5 N/mm <sup>2</sup> ( 210 kgf/cm <sup>2</sup> )						
			圧縮強度試験結果		9-1 2階 平均	22.1 N/mm <sup>2</sup>	標準偏差	3.9 N/mm <sup>2</sup>			
					9-1 1階 平均	28.4 N/mm <sup>2</sup>	標準偏差	0.1 N/mm <sup>2</sup>			
					9-2 2階 平均	25.3 N/mm <sup>2</sup>	標準偏差	1.2 N/mm <sup>2</sup>			
					9-2 1階 平均	35.8 N/mm <sup>2</sup>	標準偏差	4.8 N/mm <sup>2</sup>			
	診断時強度		9-1 2階	20.2 N/mm <sup>2</sup>	9-2 2階	24.7 N/mm <sup>2</sup>					
			9-1 1階	25.6 N/mm <sup>2</sup>	9-2 1階	25.6 N/mm <sup>2</sup>					
	(2)	中性化深さ	平均	50.0 mm			最大	51.5 mm			
	(3)	鉄筋 (診断時降伏強度)	主筋	SR235(SR24)	σy = 240 N/mm <sup>2</sup>						
			帯筋	SR235(SR24)	σy = 240 N/mm <sup>2</sup>						
帯筋フックの角度 90°			診断用帯筋間隔		9-1 1階275mm、2階285mm 9-2 1階210mm、2階255mm						
(4)	建物履歴	被災歴	なし			改修歴	なし				
(5)	現地調査の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不同沈下に起因するようなひび割れは見られない。</li> <li>・コンクリートの中性化は推定値以上の箇所が認められた。</li> <li>・目立ったひび割れは見られない。</li> </ul>									
診断計算法	(1)	診断基準	2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説								
	(2)	診断次数	X方向	2次診断		塔屋	1次診断				
			Y方向	2次診断		塔屋	1次診断				
	(3)	診断計算ソフト	SuperBuild/RC診断2001	Ver. 2.17		社名 株式会社エコシステム					
(4)	構造耐震判定基準	Is ≥ Iso = 0.70 条件として C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> ≥ 0.30			塔屋	Iso = 0.93					
共通事項	<p>本建物は、地上2階、PH2階の建物で、2期に分かれて施工されている。工期は2期に分かれているが、構造的には建物は一体である。平面形状は階段・便所部分が張り出しているが比較的整形である。Y方向（梁間方向）2階で壁に偏りがあり偏心している。</p> <p>コンクリートの平均圧縮強度は、1～2期とも2階で推定設計基準強度（Fc=20.5N/mm<sup>2</sup>）を下回っているが、1階では上回った。診断には1階で推定設計基準強度×1.25（1～2期：25.6N/mm<sup>2</sup>）、2階で圧縮試験結果（1期：20.2N/mm<sup>2</sup>、2期：24.7N/mm<sup>2</sup>）を採用した。鉄筋は丸鋼を使用しているが、既存設計図書に鉄筋の仕様が記載されていないため、降伏点強度を240 N/mm<sup>2</sup>とした。柱の帯筋は、現地調査の結果、末端フック角度は1～2期工事とも90°が確認できたため、帯筋間隔を4/3倍増しを行った。</p> <p>構造体損傷調査において、建物の耐震性に大きな影響を及ぼすものはない。隣接する建物とのEXP. J部は、既存設計図ではクリアランス=50mmであるが、調査結果ではクリアランス=100mmであった。</p>										

図 3-25 耐震診断報告書（波崎第二中学校 教室棟、管理・特別教室棟）の記載例

③構造躯体の健全性（長寿命化の可否）の判定結果

上記の方法に基づき整理した各学校施設の健全性の判定結果を下表に示します。

表3-19 各学校施設の健全性（長寿命化の可否）の結果（小学校1/2）

  : 築50年以上   
   : 築30年以上

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分				建築年度			構造躯体の健全性					
					建物 用途	構造	階数	延床 面積 (㎡)	西暦	和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
												基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/mm)	長寿命化 の可否
1	0971	息栖小学校	普通教室棟	2	校舎	RC	3	1,243	1973	S48	46	旧	済	済	2009	18.8	可
2	0971	息栖小学校	管理・普通教室棟	5	校舎	RC	3	2,673	1974	S49	45	旧	済	済	2009	29.0	可
3	0971	息栖小学校	屋内運動場	6	体育館	S	2	1,070	1973	S48	46	旧	済	済	2014	21.9	可
4	0971	息栖小学校	特別教室棟	9	校舎	S	2	522	2001	H13	18	新	-	-	-	-	可
5	0971	息栖小学校	普通・特別教室棟	11	校舎	RC	3	4,400	2013	H25	6	新	-	-	-	-	可
6	0972	深芝小学校	校舎	1	校舎	S	2	6,433	2005	H17	14	新	-	-	-	-	可
7	0972	深芝小学校	体育館	2	体育館	S	2	1,459	2005	H17	14	新	-	-	-	-	可
8	0973	軽野小学校	教室棟	10-1	校舎	RC	3	1,046	1972	S47	47	旧	済	済	2010	31.9	可
9	0973	軽野小学校	教室棟	10-2	校舎	RC	3	1,130	1976	S51	43	旧	済	済	2010	44.0	可
10	0973	軽野小学校	屋内運動場	11	体育館	S	2	1,000	1972	S47	47	旧	済	済	2013	27.2	可
11	0973	軽野小学校	管理・教室棟	15	校舎	RC	4	2,770	1982	S57	37	新	-	済	2010	36.5	可
12	0974	軽野東小学校	普通教室・特別教室棟	1-1	校舎	RC	3	1,227	1971	S46	48	旧	済	済	2008	20.0	可
13	0974	軽野東小学校	管理棟	1-2	校舎	RC	3	2,254	1975	S50	44	旧	済	済	2008	33.0	可
14	0974	軽野東小学校	普通教室棟	1-3	校舎	RC	4	1,454	1980	S55	39	旧	済	済	2008	29.7	可
15	0974	軽野東小学校	普通教室棟(配膳室)	1-4	校舎	RC	1	16	1975	S50	44	旧	済	済	2008	31.4	可
16	0974	軽野東小学校	管理・普通教室棟	1-5	校舎	RC	3	255	1975	S50	44	旧	済	済	2008	34.4	可
17	0974	軽野東小学校	屋内運動場	2	体育館	S	2	1,000	1972	S47	47	旧	済	済	2013	22.8	可
18	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-1	校舎	RC	3	950	1978	S53	41	旧	済	済	2010	36.1	可
19	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-2	校舎	RC	3	444	1980	S55	39	旧	済	済	2010	36.8	可
20	0975	大野原小学校	管理普通教室棟 (バントリー)	1-3	校舎	RC	1	21	1982	S57	37	新	-	-	-	-	可
21	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-4	校舎	RC	4	2,103	1978	S53	41	旧	済	済	2010	36.8	可
22	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-5	校舎	RC	3	1,717	1978	S53	41	旧	済	済	2010	33.4	可
23	0975	大野原小学校	体育館	6	体育館	S	2	1,049	1978	S53	41	旧	済	済	2013	24.8	可
24	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	11	校舎	RC	3	798	1985	S60	34	新	-	-	-	-	可
25	0976	横瀬小学校	管理・普通教室棟	1	校舎	RC	3	3,539	1987	S62	32	新	-	-	-	-	可
26	0976	横瀬小学校	特別教室棟	2	校舎	RC	3	1,420	1987	S62	32	新	-	-	-	-	可
27	0976	横瀬小学校	屋内運動場	3	体育館	S	1	1,079	1988	S63	31	新	-	-	-	-	可
28	0976	横瀬小学校	普通教室棟	7	校舎	RC	3	886	1990	H2	29	新	-	-	-	-	可
29	0977	大野原西小学校	校舎棟	1	校舎	RC	3	4,781	1991	H3	28	新	-	-	-	-	可
30	0977	大野原西小学校	渡り廊下	2	校舎	RC	1	28	1991	H3	28	新	-	-	-	-	可
31	0977	大野原西小学校	体育館	6	体育館	S	2	1,378	1992	H4	27	新	-	-	-	-	可

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「耐震安全性／基準」の「新」とは、新耐震基準を表し、「旧」とは、旧耐震基準を表しています。

※「圧縮強度」とは、耐震診断に基づいたコンクリート圧縮強度を表しています。

表3-20 各学校施設の健全性（長寿命化の可否）の結果（小学校2/2）

■：築50年以上 □：築30年以上

建物基本情報												構造躯体の健全性					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途区分			延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					建物 用途	構造	階数		西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	長寿命化 の可否
32	0981	柳川小学校	教室棟	10-1	校舎	RC	3	1,522	1973	S48	46	旧	済	済	2010	26.6	可
33	0981	柳川小学校	管理教室棟	10-2	校舎	RC	2	910	1976	S51	43	旧	済	済	2010	27.5	可
34	0981	柳川小学校	コンテナ受入室	10-3	校舎	S	1	14	2012	H24	7	新	-	-	-	-	可
35	0981	柳川小学校	屋内運動場	12-1	体育館	S	2	931	1978	S53	41	旧	済	済	2009	17.0	可
36	0982	太田小学校	特別教室棟	8-1	校舎	RC	3	484	1974	S49	45	旧	済	済	2010	28.2	可
37	0982	太田小学校	管理教室棟	8-2	校舎	RC	3	1,090	1974	S49	45	旧	済	済	2010	25.5	可
38	0982	太田小学校	屋内運動場	10	体育館	S	2	869	1978	S53	41	旧	済	済	2013	20.7	可
39	0982	太田小学校	特別普通教室棟	13	校舎	RC	3	1,288	1980	S55	39	旧	済	済	2010	28.7	可
40	0982	太田小学校	渡廊下	14	校舎	W	1	31	1981	S56	38	旧	-	-	-	-	可
41	0983	須田小学校	屋内運動場	5	体育館	S	2	869	1977	S52	42	旧	済	済	2013	19.4	可
42	0983	須田小学校	特別教室棟	6	校舎	RC	2	672	1980	S55	39	旧	済	-	2011	32.9	可
43	0983	須田小学校	管理教室棟	12	校舎	RC	2	999	1993	H5	26	新	-	-	-	-	可
44	0983	須田小学校	管理・普通・特別教室棟	14	校舎	RC	2	1,694	2009	H21	10	新	-	-	-	-	可
45	0983	須田小学校	階段室棟	15	校舎	RC	2	33	2009	H21	10	新	-	-	-	-	可
46	0984	波崎小学校	管理・特別教室棟	20	校舎	RC	3	2,979	1973	S48	46	旧	済	済	2008	38.3	可
47	0984	波崎小学校	屋内運動場	23	体育館	S	2	873	1976	S51	43	旧	済	済	2014	35.7	可
48	0984	波崎小学校	コンテナ室	26	校舎	S	1	10	2008	H20	11	新	-	-	-	-	可
49	0984	波崎小学校	配膳室	27	校舎	S	1	10	2012	H24	7	新	-	-	-	-	可
50	0985	波崎西小学校	特別教室棟	16	校舎	RC	3	1,251	1973	S48	46	旧	済	済	2011	24.6	可
51	0985	波崎西小学校	屋内運動場	17	体育館	S	2	873	1977	S52	42	旧	済	済	2012	21.6	可
52	0985	波崎西小学校	特別教室棟	18	校舎	RC	2	433	1982	S57	37	新	-	済	-	-	可
53	0985	波崎西小学校	管理・普通教室棟	22	校舎	RC	3	2,051	2010	H22	9	新	-	-	-	-	可
54	0987	植松小学校	管理・教室棟	1-1	校舎	RC	2	1,027	1970	S45	49	旧	済	済	2008	25.2	可
55	0987	植松小学校	特別教室棟	1-2	校舎	RC	2	800	1970	S45	49	旧	済	済	2008	25.2	可
56	0987	植松小学校	特別教室棟	1-3	校舎	RC	2	310	1970	S45	49	旧	済	済	2008	25.2	可
57	0987	植松小学校	特別教室棟	1-4	校舎	RC	2	860	1977	S52	42	旧	済	済	2008	27.9	可
58	0987	植松小学校	給食受入室	1-6	校舎	RC	2	38	1979	S54	40	旧	済	済	2008	27.9	可
59	0987	植松小学校	屋内運動場	2	体育館	S	1	700	1972	S47	47	旧	済	済	2009	28.3	可
60	0987	植松小学校	特別教室棟	8-1	校舎	RC	2	1,330	1980	S55	39	旧	済	済	2008	35.5	可
61	0987	植松小学校	重層渡廊下棟	8-2	校舎	RC	2	70	1980	S55	39	旧	済	-	2008	25.9	可
62	0987	植松小学校	便所棟	10	校舎	S	1	27	1981	S56	38	新	-	-	-	-	可
63	0989	やたべ土合小学	管理教室棟	1	校舎	RC	3	2,679	1982	S57	37	新	-	-	-	-	可
64	0989	やたべ土合小学	屋内運動場	5	体育館	S	2	910	1983	S58	36	新	-	-	-	-	可
65	0989	やたべ土合小学	プレハブ校舎	8	校舎	S	1	113	2009	H21	10	新	-	-	-	-	可

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「耐震安全性／基準」の「新」とは、新耐震基準を表し、「旧」とは、旧耐震基準を表しています。

※「圧縮強度」とは、耐震診断に基づいたコンクリート圧縮強度を表しています。

表3-21 各学校施設の健全性（長寿命化の可否）の結果（中学校1/2）

: 築50年以上   
  : 築30年以上

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	建物基本情報						構造躯体の健全性						
					用途区分	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定			
									西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	長寿命化 の可否
66	4451	神栖第一中学校	管理・教室棟	1-1	校舎	RC	2	1,466	1970	S45	49	旧	済	済	2010	18.0	可
67	4451	神栖第一中学校	管理・教室棟(職員室)	1-2	校舎	RC	1	47	1986	S61	33	新	-	-	-	-	可
68	4451	神栖第一中学校	管理・教室棟(北玄関)	1-3	校舎	RC	1	7	1991	H3	28	新	-	-	-	-	可
69	4451	神栖第一中学校	教室棟	3	校舎	RC	4	1,331	1972	S47	47	旧	済	済	2010	25.0	可
70	4451	神栖第一中学校	武道場	11	武道場	S	1	487	1980	S55	39	旧	済	済	2015	20.5	可
71	4451	神栖第一中学校	技術棟	12	校舎	RC	3	1,479	1982	S57	37	新	済	-	2010	25.0	可
72	4451	神栖第一中学校	屋内運動場	19-1	体育館	S	2	1,303	1994	H6	25	新	-	-	-	-	可
73	4451	神栖第一中学校	屋内クラブハウス	19-2	体育館	S	1	224	1994	H6	25	新	-	-	-	-	可
74	4451	神栖第一中学校	屋内運動場	19-3	体育館	S	2	398	1994	H6	25	新	-	-	-	-	可
75	4452	神栖第二中学校	普通・職員室棟	1-1	校舎	RC	3	2,075	1972	S47	47	旧	済	済	2008	33.0	可
76	4452	神栖第二中学校	普通・職員室棟	1-2	校舎	RC	1	68	1989	H元	30	新	-	-	-	-	可
77	4452	神栖第二中学校	配膳室	1-3	校舎	RC	1	18	1979	S54	40	旧	済	済	2008	33.0	可
78	4452	神栖第二中学校	普通・特別教室棟	2	校舎	RC	2	777	1966	S41	53	旧	済	済	2008	27.9	可
79	4452	神栖第二中学校	理科・図書室棟	3	校舎	RC	3	988	1972	S47	47	旧	済	済	2008	28.9	可
80	4452	神栖第二中学校	屋内運動場	4-1	体育館	S	2	1,500	1972	S47	47	旧	済	済	2012	25.6	可
81	4452	神栖第二中学校	武道場	9	武道場	S	1	445	1979	S54	40	旧	済	済	2013	17.6	可
82	4452	神栖第二中学校	ブレハバ校舎棟	18	校舎	S	1	413	2007	H19	12	新	-	-	-	-	可
83	4453	神栖第三中学校	特別教室	6-1	校舎	RC	2	707	1981	S56	38	旧	済	-	2011	39.7	可
84	4453	神栖第三中学校	格技場	6-2	武道場	RC	2	621	1981	S56	38	旧	済	-	2011	39.7	可
85	4453	神栖第三中学校	屋内運動場	10-1	体育館	S	2	1,308	1997	H9	22	新	-	-	-	-	可
86	4453	神栖第三中学校	屋内クラブハウス	10-2	体育館	S	1	258	1997	H9	22	新	-	-	-	-	可
87	4453	神栖第三中学校	屋内運動場	10-3	体育館	S	2	330	1997	H9	22	新	-	-	-	-	可
88	4453	神栖第三中学校	多目的室棟	12	校舎	S	1	197	2002	H14	17	新	-	-	-	-	可
89	4453	神栖第三中学校	管理・特別・普通教室棟	13	校舎	RC	3	4,798	2012	H24	7	新	-	-	-	-	可
90	4454	神栖第四中学校	校舎棟	1	校舎	RC	4	5,222	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
91	4454	神栖第四中学校	室体	2-1	校舎	RC	3	1,268	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
92	4454	神栖第四中学校	武道場	2-2	武道場	RC	3	981	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
93	4454	神栖第四中学校	部室	2-5	体育館	RC	3	96	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
94	4454	神栖第四中学校	渡り廊下棟	2-6	校舎	RC	3	201	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
95	4454	神栖第四中学校	特別教室棟	7	校舎	RC	2	862	1993	H5	26	新	-	-	-	-	可

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「耐震安全性／基準」の「新」とは、新耐震基準を表し、「旧」とは、旧耐震基準を表しています。

※「圧縮強度」とは、耐震診断に基づいたコンクリート圧縮強度を表しています。

表 3-22 各学校施設の健全性（長寿命化の可否）の結果（中学校2/2）

■：築50年以上 □：築30年以上

建物基本情報											構造躯体の健全性						
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途区分			延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					建物 用途	構造	階数		西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	長寿命化 の可否
96	4461	波崎第一中学校	特別教室棟	1-4	校舎	RC	2	574	1979	S54	40	旧	済	-	2008	32.7	可
97	4461	波崎第一中学校	武道場	13	武道場	S	1	311	1972	S47	47	旧	済	済	2013	21.4	可
98	4461	波崎第一中学校	屋内運動場	17	体育館	RC	2	1,180	1982	S57	37	新	-	-	-	-	可
99	4461	波崎第一中学校	校舎棟	23	校舎	RC	3	5,208	2015	H27	4	新	-	-	-	-	可
100	4462	波崎第二中学校	技術室棟	4	校舎	S	1	120	1968	S43	51	旧	-	-	-	-	否
101	4462	波崎第二中学校	屋内運動場	5	体育館	S	2	766	1970	S45	49	旧	済	済	2009	30.6	可
102	4462	波崎第二中学校	教室棟	9-1	校舎	RC	2	1,150	1972	S47	47	旧	済	済	2010	22.1	可
103	4462	波崎第二中学校	管理・特別教室棟	9-2	校舎	RC	2	1,265	1973	S48	46	旧	済	済	2010	25.3	可
104	4462	波崎第二中学校	特別教室棟	11-1	校舎	RC	3	1,020	1981	S56	38	旧	済	済	2010	33.8	可
105	4462	波崎第二中学校	格技場	11-2	武道場	RC	3	348	1981	S56	38	旧	済	済	2010	33.8	可
106	4462	波崎第二中学校	渡廊下	11-3	校舎	S	2	37	1981	S56	38	旧	済	済	2010	33.8	可
107	4462	波崎第二中学校	部室	13	体育館	S	1	31	1983	S58	36	新	-	-	-	-	可
108	4462	波崎第二中学校	渡廊下	14	校舎	W	1	31	1983	S58	36	新	-	-	-	-	可
109	4462	波崎第二中学校	屋内運動場	15	体育館	S	2	869	1978	S53	41	旧	済	済	2013	21.0	可
110	4463	波崎第三中学校	特別教室棟	1	校舎	RC	2	1,437	1968	S43	51	旧	済	済	2008	21.7	可
111	4463	波崎第三中学校	教室棟	2-1	校舎	RC	2	925	1968	S43	51	旧	済	済	2008	16.2	可
112	4463	波崎第三中学校	廊下	2-2	校舎	RC	2	5	1985	S60	34	新	-	済	-	-	可
113	4463	波崎第三中学校	給食配膳室	3	校舎	S	1	84	2016	H28	3	新	-	-	-	-	可
114	4463	波崎第三中学校	格技場	9	武道場	S	2	348	1974	S49	45	旧	済	済	2013	23.0	可
115	4463	波崎第三中学校	管理教室棟	13	校舎	RC	2	882	1985	S60	34	新	-	-	-	-	可
116	4463	波崎第三中学校	教室棟	14-1	校舎	RC	2	391	1992	H4	27	新	-	-	-	-	可
117	4463	波崎第三中学校	廊下	14-2	校舎	RC	2	7	1992	H4	27	新	-	-	-	-	可
118	4463	波崎第三中学校	屋内運動場	16-1	体育館	S	2	1,642	2000	H12	19	新	-	-	-	-	可
119	4463	波崎第三中学校	渡廊下	16-2	校舎	S	2	72	2000	H12	19	新	-	-	-	-	可
120	4464	波崎第四中学校	管理・普通教室棟	1	校舎	RC	3	2,309	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
121	4464	波崎第四中学校	渡り廊下棟	2	校舎	RC	2	94	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
122	4464	波崎第四中学校	特別教室棟	3	校舎	RC	3	1,071	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
123	4464	波崎第四中学校	屋内運動場	4	体育館	S	2	1,339	1986	S61	33	新	-	-	-	-	可
124	4464	波崎第四中学校	プレハブ校舎棟	10	校舎	S	1	303	2009	H21	10	新	-	-	-	-	可

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「耐震安全性／基準」の「新」とは、新耐震基準を表し、「旧」とは、旧耐震基準を表しています。

※「圧縮強度」とは、耐震診断に基づいたコンクリート圧縮強度を表しています。



表3-23 各学校施設の健全性（長寿命化の可否）の結果（幼稚園・教職員住宅・その他）

■：築50年以上 □：築30年以上

建物基本情報												構造躯体の健全性					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分			延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					建物 用途	構造	階数		西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	長寿命化 の可否
125	6871	うずも幼稚園	園舎	5	園舎	W	1	977	1998	H10	21	新	-	-	-	-	可
126	6872	石神幼稚園	園舎	1	園舎	S	1	536	1972	S47	47	旧	済	済	2014	22.3	可
127	6872	石神幼稚園	園舎	4	園舎	S	1	166	1976	S51	43	旧	済	済	2013	23.6	可
128	6872	石神幼稚園	園舎	6	園舎	S	1	56	2000	H12	19	新	-	-	-	-	可
129	6873	大野原幼稚園	園舎	1-1	園舎	S	1	529	1979	S54	40	旧	済	済	2013	24.0	可
130	6873	大野原幼稚園	園舎	1-2	園舎	S	1	10	1982	S57	37	新	-	-	-	-	可
131	6873	大野原幼稚園	園舎	1-3	園舎	S	1	213	1987	S62	32	新	-	済	2014	23.8	可
132	6873	大野原幼稚園	園舎	1-4	園舎	S	1	85	2000	H12	19	新	-	-	-	-	可
133	6873	大野原幼稚園	園舎	1-5	園舎	S	1	5	2005	H17	14	新	-	-	-	-	可
134	6880	須田幼稚園	管理室棟	2	園舎	S	1	80	1981	S56	38	旧	済	-	2014	22.5	可
135	6880	須田幼稚園	保育室棟	3	園舎	S	1	354	1981	S56	38	旧	済	済	2014	20.4	可
136	6880	須田幼稚園	便所棟	5	園舎	W	1	22	1993	H5	26	新	-	-	-	-	可
137	6880	須田幼稚園	保育室棟	7	園舎	W	1	142	2000	H12	19	新	-	-	-	-	可
138	-	土合住宅	教職員住宅		その他	RC	2	570	1987	S62	32	新	-	-	-	-	可
139	-	第二松風荘	教職員住宅兼 登校支援教室		その他	RC	3	905	1977	S52	42	旧	済	-	2013	29.6	可
140	-	第二泉荘	教職員住宅		その他	RC	3	687	1974	S49	45	旧	済	-	2013	25.5	可
141	-	旧矢田部小学校	管理・特別・普通教室棟	12-1	その他	RC	3	2,355	1975	S50	44	旧	済	済	2010	27.5	可
142	-	旧矢田部小学校	コンテナ受入室	12-2	その他	S	1	22	1984	S59	35	新	-	-	-	-	可
143	-	旧植松幼稚園	管理・保育室棟	1-1	その他	S	1	496	1971	S46	48	旧	済	-	2014	55.7	否
144	-	旧植松幼稚園	便所棟	1-2	その他	S	1	26	1975	S50	44	旧	済	-	2014	55.7	否
145	-	旧植松幼稚園	保育室棟	1-3	その他	S	1	26	1977	S52	42	旧	済	-	2014	55.7	否
146	-	旧植松幼稚園	保育室棟	3-1	その他	S	1	178	1975	S50	44	旧	済	-	2014	47.1	否
147	-	旧植松幼稚園	廊下	3-2	その他	S	1	43	1977	S52	42	旧	済	-	2014	47.1	否
148	-	旧植松幼稚園	渡り廊下	6	その他	W	1	40	1985	S60	34	新	-	-	-	-	可
149	-	旧植松幼稚園	保育室棟	7	その他	S	1	152	1991	H3	28	新	-	-	-	-	可
150	-	旧植松幼稚園	保育室棟	8	その他	W	1	54	2000	H12	19	新	-	-	-	-	可
151	-	旧清水住宅	登校支援教室		その他	S	2	365	1975	S50	44	旧	-	-	-	-	否

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「耐震安全性／基準」の「新」とは、新耐震基準を表し、「旧」とは、旧耐震基準を表しています。

※「圧縮強度」とは、耐震診断に基づいたコンクリート圧縮強度を表しています。

## (2) 構造躯体以外の劣化状況評価

## ① 現地劣化状況調査の項目

現地劣化状況調査は、下表の項目、部位・設備別に建物の劣化傾向について目視による調査を行いました。


表3-24 現地劣化状況調査の主な項目

項目	部位・設備	主な調査項目
1 施設管理者へのヒアリング	施設全体	・施設全般の不具合箇所、設備の動作状況ヒアリングを行う
2 屋根・屋上	(1) 屋根 ※パイプ・樋の内部は調査対象外	・屋上床面、防水シート、目地 ・排水パイプ、排水溝 ・パラペット、手すり、タラップ、雨樋 ・屋根葺材、支持金物
3 外壁	※樋の内部は調査対象外	・外壁仕上げ材、塗装 ・目地、シーリング材 ・ひさし部、雨樋 ・外階段、避難用階段
4 内部仕上	(1) 内部仕上げ	・天井 ・壁、仕上げ面 ・床
	(2) 内部その他	・階段 ・防火戸・シャッター、防煙壁 ・トイレブース
	(3) 建具	・窓サッシ・窓枠、窓ガラス、ブラインド ・扉、施錠
5 電気設備	※電気設備の基盤・配線等は調査対象外	・受変電設備、分電盤 ・照明器具 ・コンセント、スイッチ ・その他(消火栓、非常照明・誘導灯、避雷針等)
6 機械設備	(1) 給排水設備 ※水槽・管の内部は調査対象外	・受水槽、高置水槽 ・給排水管 ・ポンプ ・ガスコンロ、湯沸かし器、ガス管、換気扇
	(2) 空調・換気設備 ※設備の基盤・配線・管内等は調査対象外	・室内機、室外機
	(3) 衛生設備 ※管の内部は調査対象外	・トイレ、水洗場・洗面台 ・給排水管 ・換気扇
7 建物劣化	(1) 構造 ※外観から判断できる箇所のみ対象	・鉄筋露出、白華、ひび割れ、欠損 ・腐食、錆 ・き裂 ・継手 ・ブレース(筋交い)
	(2) 建物の傾き	・傾き
8 基礎及び基礎周り	基礎 ※外観から判断できる箇所のみ対象	・建物の基礎コンクリート ・地盤沈下

②劣化度の評価基準

現地劣化状況調査結果から構造躯体以外の劣化状況について、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ（床・内壁・梁）、電気設備、機械設備を評価します。評価方法は、現地調査時に施設管理者へヒアリングを行った確認状況も踏まえ、「解説書」に基づき、評価を行います。

- 屋根・屋上、外壁は、目視調査による評価を行います。
- 内部仕上げ（建具、間仕切り等、照明器具、エアコン等）、電気設備、機械設備は、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階評価を行うものとしませんが、目視による状況も踏まえ評価を行います。

目視による評価（屋根・屋上、外壁）	
評価	基準
良好  劣化	A 概ね良好
	B 部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C 広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D 早急に対応する必要がある （安全上、機能上に問題があり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）等


経過年数による評価（内部仕上げ、電気設備、機械設備）	
評価	基準
良好  劣化	A 20年未満
	B 20～40年
	C 40年以上
	D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

図 3-26 劣化度の評価基準

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月、文部科学省）

評価基準：屋根・屋上				
目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好				
劣化				
評価仕様	A	B	C	D
アスファルト保護防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。	広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
アスファルト露出防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、ふくれ、変質(摩耗)、排水不良がある。	広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
シート防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
塗膜防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的にふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。	広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
金属板(長尺、折板、平葺き)	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金物のさびがある。	広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。	広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。

図3-27 写真事例による劣化度の評価基準(屋根・屋上)

評価基準：外壁				
目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好				
劣化				
評価仕様	A	B	C	D
塗り仕上げ	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁がある。	広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・割がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。	広範囲に、剥落・崩壊・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
タイル張り石張り	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	広範囲に、剥落・崩壊・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
金属系パネル	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
セメント系パネル	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、ひび割れ・変質・欠損・シーリング材のひびがある。	広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
窓(サッシ)	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。	全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。

図3-28 写真事例による劣化度の評価基準(外壁)

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29年3月、文部科学省)

評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備		
部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。		
	該当する部位	CまたはDの事象(例)
内部仕上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 床、壁、天井</li> <li>● 内部開口部(扉、窓、防火戸)</li> <li>● 室内表示、手すり、固定家具など</li> <li>● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の教室のみの改修</li> <li>・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事</li> </ul> </li> <li>● 広範囲(25%以上の面積)または随所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることが目安とする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>床仕上げの剥がれ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>床のひび割れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井材の落下・剥がれ</p> </div> </div>
電気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備)</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・受変電設備の更新</li> <li>・防災設備、放送設備など、単独設備の更新</li> </ul> </li> <li>(評価例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚室やコンピューター室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価</li> </ul> </li> </ul>
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・部分的な修繕等</li> </ul> </li> <li>(評価例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価</li> <li>・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価</li> </ul> </li> </ul>

図3-29 写真事例による劣化度の評価基準(内部仕上、電気設備、機械設備)  
引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29年3月、文部科学省)

③健全度及び総合評価点の算定方法

健全度の算定方法は、「解説書」に基づき、下記の方法で評価を行います。

【健全度】

- 健全度は、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標になります。優先的に改修する建物の順位付けを行う際に参考値となります。
- 健全度 40 点未満であれば、優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましいとされます。
- 健全度の点数に関わらず、C、D 評価の部位は、修繕・改修が必要とされます。
- 部位の評価点」と「②部位のコスト配分」を下図のように定め、「③健全度」を算定します。なお、「②部位のコスト配分」は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分しています。（「解説書」から抜粋）

①部位の評価点		②部位のコスト配分		③健全度																																																	
	評価点	部位	コスト配分	<b>総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60</b>																																																	
A	100	1 屋根・屋上	5.1	※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。																																																	
B	75	2 外壁	17.2	※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。																																																	
C	40	3 内部仕上げ	22.4	算出例 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>配分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 屋根・屋上</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>5.1</td> <td>= 204</td> </tr> <tr> <td>2 外壁</td> <td>D</td> <td>10</td> <td>17.2</td> <td>= 172</td> </tr> <tr> <td>3 内部仕上げ</td> <td>A</td> <td>100</td> <td>22.4</td> <td>= 2,240</td> </tr> <tr> <td>4 電気設備</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>8.0</td> <td>= 320</td> </tr> <tr> <td>5 機械設備</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>7.3</td> <td>= 292</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>計</td> <td>3,228</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>÷60</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td><b>健全度</b></td> <td><b>54</b></td> </tr> </tbody> </table>		部位	評価	評価点	配分		1 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204	2 外壁	D	10	17.2	= 172	3 内部仕上げ	A	100	22.4	= 2,240	4 電気設備	C	40	8.0	= 320	5 機械設備	C	40	7.3	= 292					計	3,228						÷60					<b>健全度</b>	<b>54</b>
部位	評価	評価点	配分																																																		
1 屋根・屋上	C	40	5.1			= 204																																															
2 外壁	D	10	17.2			= 172																																															
3 内部仕上げ	A	100	22.4			= 2,240																																															
4 電気設備	C	40	8.0	= 320																																																	
5 機械設備	C	40	7.3	= 292																																																	
				計	3,228																																																
					÷60																																																
				<b>健全度</b>	<b>54</b>																																																
D	10	4 電気設備	8.0																																																		
		5 機械設備	7.3																																																		
		計	60.0																																																		

図 3-30 健全度の算定方法例

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月、文部科学省）

【総合評価点】

本市の学校施設の現地劣化状況調査結果では、建物の劣化状況の総合評価点として、健全度の5つの部位・設備の劣化度に加え、建築年からの経過年、構造部材及び建物の傾きに係る建物劣化度、構造及び基礎周りの劣化度を2,700点満点で数値化した評価点の合計として算出しています。健全度による優先度が同様の施設は、総合評価点により整備優先順位の判断とすることも考慮します。

表 3-25 総合評価点の算定方法例

項目	1. 経過劣化度	2. 部位・設備の劣化度						
		(1) 内部仕上げ	(2) 内部その他	(3) 建具	(4) 屋根	(5) 機械設備	(6) 電気設備	(7) 外壁
a. 基礎評点	20.00	10.00	10.00	10.00	20.00	10.00	10.00	20.00
b. 劣化度	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
c. 評点 (a×b)	20.00	10.00	10.00	10.00	20.00	10.00	10.00	20.00
合計評価点	① 20.00	② 90.00						

項目	3-1. 建物劣化度 (鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造)			3-2. 建物劣化度 (鉄骨造)			3-3. 建物劣化度 (木造)			4. 構造・基礎の劣化度	
	(1) ひび割れ	(2) 剥離	(3) 建物の傾き	(1) 鉄骨の腐食	(2) 鉄骨の亀裂や継ぎ手の接合状況	(3) 建物の傾き	(1) 木部の腐食	(2) 柱や土台の劣化および接合部の状況	(3) 建物の傾き	(1) 構造部の劣化度	(2) 地盤や基礎の沈下損傷等による劣化度
a. 基礎評点	20.00	20.00	10.00	20.00	20.00	10.00	20.00	20.00	10.00	20.00	10.00
b. 劣化度	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
c. 評点 (a×b)	20.00	20.00	10.00	20.00	20.00	10.00	20.00	20.00	10.00	20.00	10.00
合計評価点	③-1 50.00			③-2 50.00			③-3 50.00			④ 30.00	

項目	合計	総合評価 (①*②*③*④)/1000
基礎評点	190.00	2,700.00
評点	施設の劣化状況に応じて算出	—
合計評価点	—	施設の劣化状況に応じて算出

※建物劣化度は、当該建物の構造部材により③-1、③-2、③-3のいずれかの評点が合計評価点に加算されます。

※上表の「2. 部位・設備の劣化度評価」は、健全度の5つの部位・設備の劣化度評価項目に対応します。また、その項目の1つである「内部仕上」は、上表の2.(1)「内部仕上げ」、2.(1)「内部その他」、2.(3)「建具」の評点の平均近似値を劣化状況評価としています。

次表の各学校施設の劣化状況評価結果に示される健全度の5つの部位・設備の劣化度評価項目(①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上、④電気設備、⑤機械設備)の数値について、文部科学省の「解説書」における劣化度評価(A~D)と総合評価点の関係は、以下に対応します。

- 部位・設備の劣化度 (数値上限) : 1.00 → 劣化状況評価 : A
- 部位・設備の劣化度 (数値) : 0.80 → 劣化状況評価 : B
- 部位・設備の劣化度 (数値) : 0.50 → 劣化状況評価 : C
- 部位・設備の劣化度 (数値下限) : 0.25 → 劣化状況評価 : D

④劣化状況評価結果

上記の方法に基づき整理した各学校施設の健全度及び劣化状況評価を次表に示します。  
 前述の劣化度判定：D評価（早急な修繕・更新が必要）と判定された学校と併せて、健全度の低い施設から今後の保全対応の優先順位を設定することが望めます。

表 3-26 各学校施設の劣化状況評価結果（小学校1/2）

■ : 築50年以上    ■ : 築30年以上    A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	建物基本情報				劣化状況評価							総合 評価点 (2700点 満点)			
				棟 番号	用途 区分	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度			屋 根 上	外 壁	内 部 仕 上		電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
									西暦	和暦	築年数							
1	0971	息栖小学校	普通教室棟	2	校舎	RC	3	1,243	1973	S48	46	C	C	C	B	B	49	357.0
2	0971	息栖小学校	管理・普通教室棟	5	校舎	RC	3	2,673	1974	S49	45	A	C	C	B	B	54	457.5
3	0971	息栖小学校	屋内運動場	6	体育館	S	2	1,070	1973	S48	46	A	A	A	B	B	94	129.0
4	0971	息栖小学校	特別教室棟	9	校舎	S	2	522	2001	H13	18	C	B	C	B	B	59	1,026.0
5	0971	息栖小学校	普通・特別教室棟	11	校舎	RC	3	4,400	2013	H25	6	A	A	A	B	B	94	2,322.0
6	0972	深芝小学校	校舎	1	校舎	S	2	6,433	2005	H17	14	B	B	B	B	B	75	1,488.0
7	0972	深芝小学校	体育館	2	体育館	S	2	1,459	2005	H17	14	B	B	B	B	B	75	1,488.0
8	0973	軽野小学校	教室棟	10-1	校舎	RC	3	1,046	1972	S47	47	A	A	B	B	B	84	520.0
9	0973	軽野小学校	教室棟	10-2	校舎	RC	3	1,130	1976	S51	43	A	A	B	B	B	84	680.0
10	0973	軽野小学校	屋内運動場	11	体育館	S	2	1,000	1972	S47	47	A	A	B	B	B	84	120.0
11	0973	軽野小学校	管理・教室棟	15	校舎	RC	4	2,770	1982	S57	37	A	A	B	B	B	84	920.0
12	0974	軽野東小学校	普通教室・特別教室棟	1-1	校舎	RC	3	1,227	1971	S46	48	A	A	D	C	C	51	345.0
13	0974	軽野東小学校	管理棟	1-2	校舎	RC	3	2,254	1975	S50	44	A	A	D	B	C	56	484.0
14	0974	軽野東小学校	普通教室棟	1-3	校舎	RC	4	1,454	1980	S55	39	A	A	D	B	C	56	635.3
15	0974	軽野東小学校	普通教室棟(配膳室)	1-4	校舎	RC	1	16	1975	S50	44	A	A	D	B	C	56	484.0
16	0974	軽野東小学校	管理・普通教室棟	1-5	校舎	RC	3	255	1975	S50	44	A	A	D	B	C	56	484.0
17	0974	軽野東小学校	屋内運動場	2	体育館	S	2	1,000	1972	S47	47	D	A	A	B	B	86	106.5
18	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-1	校舎	RC	3	950	1978	S53	41	A	A	B	D	A	79	726.8
19	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-2	校舎	RC	3	444	1980	S55	39	A	A	B	A	B	88	861.0
20	0975	大野原小学校	管理普通教室棟 (バントリー)	1-3	校舎	RC	1	21	1982	S57	37	A	A	C	A	B	75	839.5
21	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-4	校舎	RC	4	2,103	1978	S53	41	A	A	B	A	B	88	779.0
22	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	1-5	校舎	RC	3	1,717	1978	S53	41	A	A	C	A	B	75	693.5
23	0975	大野原小学校	体育館	6	体育館	S	2	1,049	1978	S53	41	A	A	A	A	A	100	240.0
24	0975	大野原小学校	管理普通教室棟	11	校舎	RC	3	798	1985	S60	34	B	B	C	A	A	68	871.0
25	0976	横瀬小学校	管理・普通教室棟	1	校舎	RC	3	3,539	1987	S62	32	C	D	C	B	C	36	553.8
26	0976	横瀬小学校	特別教室棟	2	校舎	RC	3	1,420	1987	S62	32	C	C	C	B	C	45	618.2
27	0976	横瀬小学校	屋内運動場	3	体育館	S	1	1,079	1988	S63	31	D	C	C	B	B	46	429.3
28	0976	横瀬小学校	普通教室棟	7	校舎	RC	3	886	1990	H2	29	C	C	C	B	B	49	790.6
29	0977	大野原西小学校	校舎棟	1	校舎	RC	3	4,781	1991	H3	28	B	D	B	A	A	63	873.6
30	0977	大野原西小学校	渡り廊下	2	校舎	RC	1	28	1991	H3	28	B	B	B	B	C	71	1,015.7
31	0977	大野原西小学校	体育館	6	体育館	S	2	1,378	1992	H4	27	A	C	A	A	A	83	960.0

- ※「構造」の記号について、
- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
  - ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
  - ・「W」とは、木造（W造）を表します。
- ※「健全度」とは、上記に示すとおり、各建物の5つの部位・設備について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標を表します。
- ※「総合評価点」とは、現地劣化状況調査において、健全度の5つの部位・設備の劣化度に加え、建築年からの経過年、構造及び建物の傾きに係る建物劣化、基礎及び基礎周りの劣化度を2,700点満点で数値化した評価点の合計を表します。



表 3-27 各学校施設の劣化状況評価結果（小学校2/2）

  : 築50年以上   
   : 築30年以上   
 A : 概ね良好   
 C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化   
D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報											劣化状況評価						総合評価	
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	屋 上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	総合 評価点 (2700点 満点)
					建物 用途	構造			西暦	和暦								
32	0981	柳川小学校	教室棟	10-1	校舎	RC	3	1,522	1973	S48	46	A	A	C	D	C	58	437.5
33	0981	柳川小学校	管理教室棟	10-2	校舎	RC	2	910	1976	S51	43	A	A	C	B	B	71	603.5
34	0981	柳川小学校	コンテナ受入室	10-3	校舎	S	1	14	2012	H24	7	A	A	A	B	B	94	2,004.4
35	0981	柳川小学校	屋内運動場	12-1	体育館	S	2	931	1978	S53	41	A	A	B	B	B	84	213.3
36	0982	太田小学校	特別教室棟	8-1	校舎	RC	3	484	1974	S49	45	A	A	C	C	B	67	510.0
37	0982	太田小学校	管理教室棟	8-2	校舎	RC	3	1,090	1974	S49	45	A	A	C	B	B	71	532.5
38	0982	太田小学校	屋内運動場	10	体育館	S	2	869	1978	S53	41	A	A	A	B	B	94	229.3
39	0982	太田小学校	特別普通教室棟	13	校舎	RC	3	1,288	1980	S55	39	A	A	C	B	B	71	745.5
40	0982	太田小学校	渡廊下	14	校舎	W	1	31	1981	S56	38	A	B	C	B	B	64	100.5
41	0983	須田小学校	屋内運動場	5	体育館	S	2	869	1977	S52	42	A	A	B	B	B	84	160.0
42	0983	須田小学校	特別教室棟	6	校舎	RC	2	672	1980	S55	39	A	A	B	C	C	75	777.0
43	0983	須田小学校	管理教室棟	12	校舎	RC	2	999	1993	H5	26	A	A	C	B	B	71	1,207.0
44	0983	須田小学校	管理・普通・特別教室棟	14	校舎	RC	2	1,694	2009	H21	10	A	A	B	C	B	80	1,925.0
45	0983	須田小学校	階段室棟	15	校舎	RC	2	33	2009	H21	10	A	A	C	B	B	71	1,775.0
46	0984	波崎小学校	管理・特別教室棟	20	校舎	RC	3	2,979	1973	S48	46	A	B	C	B	B	64	469.0
47	0984	波崎小学校	屋内運動場	23	体育館	S	2	873	1976	S51	43	A	A	B	B	B	84	120.0
48	0984	波崎小学校	コンテナ室	26	校舎	S	1	10	2008	H20	11	A	B	C	B	B	64	1,518.7
49	0984	波崎小学校	配膳室	27	校舎	S	1	10	2012	H24	7	A	A	A	A	A	100	2,280.0
50	0985	波崎西小学校	特別教室棟	16	校舎	RC	3	1,251	1973	S48	46	B	B	B	B	B	75	504.0
51	0985	波崎西小学校	屋内運動場	17	体育館	S	2	873	1977	S52	42	A	A	B	B	B	84	160.0
52	0985	波崎西小学校	特別教室棟	18	校舎	RC	2	433	1982	S57	37	B	B	B	B	B	75	828.0
53	0985	波崎西小学校	管理・普通教室棟	22	校舎	RC	3	2,051	2010	H22	9	B	B	B	B	B	75	1,836.0
54	0987	植松小学校	管理・教室棟	1-1	校舎	RC	2	1,027	1970	S45	49	A	A	C	C	A	70	385.0
55	0987	植松小学校	特別教室棟	1-2	校舎	RC	2	800	1970	S45	49	A	A	C	A	B	75	401.5
56	0987	植松小学校	特別教室棟	1-3	校舎	RC	2	310	1970	S45	49	A	A	D	A	B	63	360.3
57	0987	植松小学校	特別教室棟	1-4	校舎	RC	2	860	1977	S52	42	A	A	C	A	B	75	657.0
58	0987	植松小学校	給食受入室	1-6	校舎	RC	2	38	1979	S54	40	A	A	D	A	B	63	655.0
59	0987	植松小学校	屋内運動場	2	体育館	S	1	700	1972	S47	47	A	A	A	A	A	100	135.0
60	0987	植松小学校	特別教室棟	8-1	校舎	RC	2	1,330	1980	S55	39	A	A	C	A	B	75	766.5
61	0987	植松小学校	重層渡廊下棟	8-2	校舎	RC	2	70	1980	S55	39	A	A	C	A	B	75	766.5
62	0987	植松小学校	便所棟	10	校舎	S	1	27	1981	S56	38	A	A	A	A	A	100	420.0
63	0989	やたべ土合小学	管理教室棟	1	校舎	RC	3	2,679	1982	S57	37	D	D	C	B	B	38	433.8
64	0989	やたべ土合小学	屋内運動場	5	体育館	S	2	910	1983	S58	36	C	D	B	B	B	53	330.0
65	0989	やたべ土合小学	プレハブ校舎	8	校舎	S	1	113	2009	H21	10	A	A	A	A	A	100	2,100.0

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「健全度」とは、上記に示すとおり、各建物の5つの部位・設備について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標を表します。

※「総合評価点」とは、現地劣化状況調査において、健全度の5つの部位・設備の劣化度に加え、築年からの経過年、構造及び建物の傾きに係る建物劣化、基礎及び基礎周りの劣化度を2,700点満点で数値化した評価点の合計を表します。

表3-28 各学校施設の劣化状況評価結果（中学校1/2）

  : 築50年以上   
   : 築30年以上  
A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報											劣化状況評価						総合評価	
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	屋根・外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	総合評価点(2700点満点)	
					建物用途	構造			西暦	和暦								
66	4451	神栖第一中学校	管理・教室棟	1-1	校舎	RC	2	1,466	1970	S45	49	A	A	B	B	C	80	423.5
67	4451	神栖第一中学校	管理・教室棟(職員室)	1-2	校舎	RC	1	47	1986	S61	33	B	B	C	B	B	62	850.5
68	4451	神栖第一中学校	管理・教室棟(北玄関)	1-3	校舎	RC	1	7	1991	H3	28	B	B	C	B	B	62	1,008.0
69	4451	神栖第一中学校	教室棟	3	校舎	RC	4	1,331	1972	S47	47	A	A	D	B	B	60	412.8
70	4451	神栖第一中学校	武道場	11	武道場	S	1	487	1980	S55	39	A	A	C	B	B	71	284.0
71	4451	神栖第一中学校	技術棟	12	校舎	RC	3	1,479	1982	S57	37	B	B	C	B	B	62	724.5
72	4451	神栖第一中学校	屋内運動場	19-1	体育館	S	2	1,303	1994	H6	25	B	B	B	B	B	75	960.0
73	4451	神栖第一中学校	屋内クラブハウス	19-2	体育館	S	1	224	1994	H6	25	A	A	C	B	B	71	946.7
74	4451	神栖第一中学校	屋内運動場	19-3	体育館	S	2	398	1994	H6	25	A	A	C	B	B	71	946.7
75	4452	神栖第二中学校	普通・職員室棟	1-1	校舎	RC	3	2,075	1972	S47	47	B	B	C	B	C	58	390.0
76	4452	神栖第二中学校	普通・職員室棟	1-2	校舎	RC	1	68	1989	H元	30	B	B	C	B	B	62	945.0
77	4452	神栖第二中学校	配膳室	1-3	校舎	RC	1	18	1979	S54	40	D	B	C	B	B	56	520.0
78	4452	神栖第二中学校	普通・特別教室棟	2	校舎	RC	2	777	1966	S41	53	B	B	C	B	B	62	220.5
79	4452	神栖第二中学校	理科・図書室棟	3	校舎	RC	3	988	1972	S47	47	A	A	C	B	B	71	461.5
80	4452	神栖第二中学校	屋内運動場	4-1	体育館	S	2	1,500	1972	S47	47	A	A	A	B	B	94	129.0
81	4452	神栖第二中学校	武道場	9	武道場	S	1	445	1979	S54	40	A	A	A	B	B	94	286.7
82	4452	神栖第二中学校	プレハブ校舎棟	18	校舎	S	1	413	2007	H19	12	B	B	B	B	B	75	1,584.0
83	4453	神栖第三中学校	特別教室	6-1	校舎	RC	2	707	1981	S56	38	D	D	D	C	D	14	275.0
84	4453	神栖第三中学校	格技場	6-2	武道場	RC	2	621	1981	S56	38	D	D	D	C	D	14	275.0
85	4453	神栖第三中学校	屋内運動場	10-1	体育館	S	2	1,308	1997	H9	22	C	D	C	B	B	40	705.3
86	4453	神栖第三中学校	屋内クラブハウス	10-2	体育館	S	1	258	1997	H9	22	C	D	C	C	C	31	613.3
87	4453	神栖第三中学校	屋内運動場	10-3	体育館	S	2	330	1997	H9	22	C	D	C	B	B	40	705.3
88	4453	神栖第三中学校	多目的室棟	12	校舎	S	1	197	2002	H14	17	C	B	C	B	B	59	1,064.0
89	4453	神栖第三中学校	管理・特別・普通教室棟	13	校舎	RC	3	4,798	2012	H24	7	B	B	B	B	B	75	1,908.0
90	4454	神栖第四中学校	校舎棟	1	校舎	RC	4	5,222	1984	S59	35	C	C	C	B	B	49	586.5
91	4454	神栖第四中学校	室体	2-1	校舎	RC	3	1,268	1984	S59	35	D	D	D	C	C	18	343.8
92	4454	神栖第四中学校	武道場	2-2	武道場	RC	3	981	1984	S59	35	D	D	D	C	C	18	343.8
93	4454	神栖第四中学校	部室	2-5	体育館	RC	3	96	1984	S59	35	D	D	D	D	D	10	258.8
94	4454	神栖第四中学校	渡り廊下棟	2-6	校舎	RC	3	201	1984	S59	35	D	D	D	C	C	18	343.8
95	4454	神栖第四中学校	特別教室棟	7	校舎	RC	2	862	1993	H5	26	C	C	C	B	B	49	867.0

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「健全度」とは、上記に示すとおり、各建物の5つの部位・設備について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標を表します。

※「総合評価点」とは、現地劣化状況調査において、健全度の5つの部位・設備の劣化度に加え、築年からの経過年、構造及び建物の傾きに係る建物劣化、基礎及び基礎周りの劣化度を2,700点満点で数値化した評価点の合計を表します。

表3-29 各学校施設の劣化状況評価結果（中学校2/2）

  : 築50年以上      : 築30年以上  
A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報											劣化状況評価					総合評価		
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途区分		階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	屋根・ 外壁	内部 仕上	電気 設備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	総合 評価点 (2700点 満点)	
					建物 用途	構造			西暦	和暦								
96	4461	波崎第一中学校	特別教室棟	1-4	校舎	RC	2	574	1979	S54	40	B	C	B	B	C	61	529.2
97	4461	波崎第一中学校	武道場	13	武道場	S	1	311	1972	S47	47	B	B	A	B	B	84	117.0
98	4461	波崎第一中学校	屋内運動場	17	体育館	RC	2	1,180	1982	S57	37	C	D	D	B	B	29	354.2
99	4461	波崎第一中学校	校舎棟	23	校舎	RC	3	5,208	2015	H27	4	A	B	B	A	A	84	2,240.0
100	4462	波崎第二中学校	技術室棟	4	校舎	S	1	120	1968	S43	51	D	D	D	B	B	27	40.1
101	4462	波崎第二中学校	屋内運動場	5	体育館	S	2	766	1970	S45	49	A	A	A	B	B	94	129.0
102	4462	波崎第二中学校	教室棟	9-1	校舎	RC	2	1,150	1972	S47	47	A	A	C	C	C	62	422.5
103	4462	波崎第二中学校	管理・特別教室棟	9-2	校舎	RC	2	1,265	1973	S48	46	A	A	B	B	B	84	560.0
104	4462	波崎第二中学校	特別教室棟	11-1	校舎	RC	3	1,020	1981	S56	38	A	A	C	B	B	71	781.0
105	4462	波崎第二中学校	格技場	11-2	武道場	RC	3	348	1981	S56	38	A	A	C	B	B	71	781.0
106	4462	波崎第二中学校	渡廊下	11-3	校舎	S	2	37	1981	S56	38	A	A	C	B	B	71	426.0
107	4462	波崎第二中学校	部室	13	体育館	S	1	31	1983	S58	36	D	C	C	B	B	46	276.0
108	4462	波崎第二中学校	渡廊下	14	校舎	W	1	31	1983	S58	36	C	C	C	B	B	49	76.5
109	4462	波崎第二中学校	屋内運動場	15	体育館	S	2	869	1978	S53	41	B	A	B	B	B	82	202.7
110	4463	波崎第三中学校	特別教室棟	1	校舎	RC	2	1,437	1968	S43	51	A	A	D	B	C	56	272.3
111	4463	波崎第三中学校	教室棟	2-1	校舎	RC	2	925	1968	S43	51	A	B	C	B	C	60	288.0
112	4463	波崎第三中学校	廊下	2-2	校舎	RC	2	5	1985	S60	34	A	B	C	B	B	64	871.0
113	4463	波崎第三中学校	給食配膳室	3	校舎	S	1	84	2016	H28	3	A	A	A	B	B	94	2,408.0
114	4463	波崎第三中学校	格技場	9	武道場	S	2	348	1974	S49	45	A	A	A	B	B	94	129.0
115	4463	波崎第三中学校	管理教室棟	13	校舎	RC	2	882	1985	S60	34	A	B	C	B	B	64	871.0
116	4463	波崎第三中学校	教室棟	14-1	校舎	RC	2	391	1992	H4	27	A	A	B	B	B	84	1,320.0
117	4463	波崎第三中学校	廊下	14-2	校舎	RC	2	7	1992	H4	27	A	B	C	B	B	64	1,105.5
118	4463	波崎第三中学校	屋内運動場	16-1	体育館	S	2	1,642	2000	H12	19	B	C	A	B	B	74	1,248.0
119	4463	波崎第三中学校	渡廊下	16-2	校舎	S	2	72	2000	H12	19	C	B	B	B	B	72	1,144.0
120	4464	波崎第四中学校	管理・普通教室棟	1	校舎	RC	3	2,309	1984	S59	35	B	C	C	B	B	52	598.5
121	4464	波崎第四中学校	渡り廊下棟	2	校舎	RC	2	94	1984	S59	35	C	C	C	B	B	49	637.5
122	4464	波崎第四中学校	特別教室棟	3	校舎	RC	3	1,071	1984	S59	35	C	C	B	B	B	62	690.0
123	4464	波崎第四中学校	屋内運動場	4	体育館	S	2	1,339	1986	S61	33	C	C	B	B	B	62	440.0
124	4464	波崎第四中学校	プレハブ校舎棟	10	校舎	S	1	303	2009	H21	10	B	B	B	B	B	75	1,680.0

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「健全度」とは、上記に示すとおり、各建物の5つの部位・設備について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標を表します。

※「総合評価点」とは、現地劣化状況調査において、健全度の5つの部位・設備の劣化度に加え、建築年からの経過年、構造及び建物の傾きに係る建物劣化、基礎及び基礎周りの劣化度を2,700点満点で数値化した評価点の合計を表します。

表3-30 各学校施設の劣化状況評価結果（幼稚園・教職員住宅・その他）

: 築50年以上   
  : 築30年以上

A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報											劣化状況評価						総合評価	
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途区分	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	屋 根	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	総合 評価点 (2700点 満点)
					建物 用途				西暦	和暦								
125	6871	うずも幼稚園	園舎	5	園舎	W	1	977	1998	H10	21	B	C	B	B	B	65	594.0
126	6872	石神幼稚園	園舎	1	園舎	S	1	536	1972	S47	47	B	C	B	B	B	65	91.1
127	6872	石神幼稚園	園舎	4	園舎	S	1	166	1976	S51	43	B	C	B	B	B	65	91.1
128	6872	石神幼稚園	園舎	6	園舎	S	1	56	2000	H12	19	B	C	B	B	B	65	1,144.0
129	6873	大野原幼稚園	園舎	1-1	園舎	S	1	529	1979	S54	40	B	B	B	B	B	75	240.0
130	6873	大野原幼稚園	園舎	1-2	園舎	S	1	10	1982	S57	37	B	B	B	B	B	75	384.0
131	6873	大野原幼稚園	園舎	1-3	園舎	S	1	213	1987	S62	32	B	B	B	B	B	75	624.0
132	6873	大野原幼稚園	園舎	1-4	園舎	S	1	85	2000	H12	19	B	B	B	B	B	75	1,248.0
133	6873	大野原幼稚園	園舎	1-5	園舎	S	1	5	2005	H17	14	B	B	B	B	B	75	1,488.0
134	6880	須田幼稚園	管理室棟	2	園舎	S	1	80	1981	S56	38	C	C	C	B	B	49	238.0
135	6880	須田幼稚園	保育室棟	3	園舎	S	1	354	1981	S56	38	C	C	B	B	B	62	280.0
136	6880	須田幼稚園	便所棟	5	園舎	W	1	22	1993	H5	26	B	C	B	B	B	65	264.0
137	6880	須田幼稚園	保育室棟	7	園舎	W	1	142	2000	H12	19	B	B	B	B	B	75	792.0
138	-	土合住宅	教職員住宅		その他	RC	2	570	1987	S62	32	C	B	B	C	C	63	672.0
139	-	第二松風荘	教職員住宅兼登校 支援教室		その他	RC	3	905	1977	S52	42	A	C	C	D	D	37	324.0
140	-	第二泉荘	教職員住宅		その他	RC	3	687	1974	S49	45	D	D	A	B	B	60	336.0
141	-	旧矢田部小学校	管理・特別・普通教室棟	12-1	その他	RC	3	2,355	1975	S50	44	A	A	C	C	B	67	544.0
142	-	旧矢田部小学校	コンテナ受入室	12-2	その他	S	1	22	1984	S59	35	A	A	A	C	C	85	533.3
143	-	旧植松幼稚園	管理・保育室棟	1-1	その他	S	1	496	1971	S46	48	D	D	C	D	D	21	41.4
144	-	旧植松幼稚園	便所棟	1-2	その他	S	1	26	1975	S50	44	D	C	C	C	C	37	55.2
145	-	旧植松幼稚園	保育室棟	1-3	その他	S	1	26	1977	S52	42	C	C	C	C	C	40	82.8
146	-	旧植松幼稚園	保育室棟	3-1	その他	S	1	178	1975	S50	44	C	C	C	C	C	40	62.1
147	-	旧植松幼稚園	廊下	3-2	その他	S	1	43	1977	S52	42	C	C	D	C	C	29	52.0
148	-	旧植松幼稚園	渡り廊下	6	その他	W	1	40	1985	S60	34	D	C	C	C	C	37	60.0
149	-	旧植松幼稚園	保育室棟	7	その他	S	1	152	1991	H3	28	B	C	B	B	B	65	748.0
150	-	旧植松幼稚園	保育室棟	8	その他	W	1	54	2000	H12	19	B	B	B	B	B	75	726.0
151	-	旧清水住宅	登校支援教室		その他	S	2	365	1975	S50	44	D	C	C	C	C	37	52.0

※「構造」の記号について、

- ・「RC」とは、鉄筋コンクリート造（RC造）を表します。
- ・「S」とは、鉄骨造（S造）を表します。
- ・「W」とは、木造（W造）を表します。

※「健全度」とは、上記に示すとおり、各建物の5つの部位・設備について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標を表します。

※「総合評価点」とは、現地劣化状況調査において、健全度の5つの部位・設備の劣化度に加え、建築年からの経過年、構造及び建物の傾きに係る建物劣化、基礎及び基礎周りの劣化度を2,700点満点で数値化した評価点の合計を表します。

⑤劣化状況評価結果

総合評価点に基づいた各学校施設の現地劣化状況調査結果の採点表を下表に示します。

表3-31 現地劣化状況調査結果による採点表(小学校1/2)

施設名	建物名	棟番号	建築年度	主体構造	1.経過劣化度	2.部位劣化度							3-1.建物劣化度 (躯体コンクリート壁・鉄骨鉄筋コンクリート壁)			3-2.建物劣化度 (鉄骨造)			3-3.建物劣化度 (木造)			4.構造・基礎の劣化度 (損2) 等に地による基礎の劣化状況 (損1) 構造部の劣化状況	合計点 (満点)	総合評価点 (満点)	健全度
						(1) 内部仕上	(2) 内部その他	(3) 建具	(4) 屋根	(5) 機械設備	(6) 電気設備	(7) 外壁	(1) ひび割れ	(2) 剥離	(3) 建物の傾き	(1) 鉄骨の腐食	(2) 継手鉄骨の接合状況	(3) 建物の傾き	(1) 木部の腐食	(2) よび柱や土台の状況	(3) 建物の傾き				
基礎評点(各建物の評点に掛け合わせる)																									
豊橋小学校	普通教室棟	2	1973	RC	0.2	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.357	357.0	49		
	管理・普通教室棟	5	1974	RC	0.3	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.460	457.5	54		
	屋内運動場	6	1973	S	0.1	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.670	129.0	94		
	特別教室棟	9	2001	S	0.6	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.490	1,026.0	59		
	普通・特別教室棟	11	2013	RC	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.840	2,322.0	94		
深芝小学校	校舎	1	2005	S	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	1.658	1,488.0	75		
	体育館	2	2005	S	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	1.658	1,488.0	75		
軽野小学校	教室棟	10-1	1972	RC	0.2	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	1.643	520.0	84		
	教室棟	10-2	1976	RC	0.3	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.637	680.0	84		
	屋内運動場	11	1972	S	0.1	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.610	120.0	84		
	管理・教室棟	15	1982	RC	0.4	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.677	820.0	84		
	普通教室・特別教室棟	1-1	1971	RC	0.2	0.3	0.3	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.415	345.0	51		
軽野東小学校	管理棟	1-2	1975	RC	0.3	0.3	0.3	1.0	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.458	484.0	56		
	普通教室棟	1-3	1980	RC	0.4	0.3	0.3	1.0	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.475	635.3	56		
	普通教室棟(旧膳室)	1-4	1975	RC	0.3	0.3	0.3	1.0	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.458	484.0	56		
	管理・普通教室棟	1-5	1975	RC	0.3	0.3	0.3	1.0	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.458	484.0	56		
	屋内運動場	2	1972	S	0.1	1.0	1.0	1.0	0.3	0.8	0.8	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.520	106.5	86		
大野原小学校	管理普通教室棟	1-1	1978	RC	0.3	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.628	726.8	79		
	管理普通教室棟	1-2	1980	RC	0.4	0.8	0.8	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.690	861.0	88		
	管理普通教室棟(ハントリ)	1-3	1982	RC	0.4	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.607	839.5	75		
	管理普通教室棟	1-4	1978	RC	0.3	0.8	0.8	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.683	779.0	88		
	管理普通教室棟	1-5	1978	RC	0.3	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.593	693.5	75		
構糠小学校	体育館	6	1978	S	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.718	240.0	100		
	管理普通教室棟	11	1985	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.557	871.0	68		
	管理・普通教室棟	1	1987	RC	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.3	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.283	553.8	36		
	特別教室棟	2	1987	RC	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.333	618.2	45		
	屋内運動場	3	1988	S	0.3	0.5	0.5	0.3	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.322	429.3	46		
大野原西小学校	普通教室棟	7	1980	RC	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.413	790.6	49		
	校舎棟	1	1991	RC	0.5	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	0.3	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	1.477	873.6	63		
	渡り廊下	2	1991	RC	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.557	1,015.7	71		
体育館	8	1982	S	0.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.680	980.0	83			

表 3-32 現地劣化状況調査結果による採点表（小学校2 / 2）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	主体構造	1. 経過劣化度	2. 部位劣化度							3-1. 建物劣化度 (建物の開口部又は非開口部)			3-2. 建物劣化度 (鉄骨部)			3-3. 建物劣化度 (木部)			4. 構造・基礎の劣化度 (損(2) 借(2) 等地上層や基礎の劣化程度)	合計点 (満点)	総合評価点 (満点)	健全度
						(1) 内部仕上げ	(2) 内部その他	(3) 建具	(4) 屋根	(5) 機械設備	(6) 電気設備	(7) 外壁	(1) ひび割れ	(2) 剥離	(3) 建物の傾き	(1) 鉄骨の腐食	(2) 継手の骨の接合状況や	(3) 建物の傾き	(1) 木部の腐食	(2) よび柱の接合部の状況	(3) 建物の傾き				
柳川小学校	教室棟	10-1	1973	RC	0.2	0.5	0.5	1.0	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	147.2	437.5	58
	管理教室棟	10-2	1976	RC	0.3	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	156.7	603.5	71
太田小学校	コンテナ受入室	10-3	2012	S	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	178.9	2,004.4	94	
	屋内運動場	12-1	1978	S	0.1	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	161.8	213.3	84	
	特別教室棟	8-1	1974	RC	0.3	0.5	0.5	1.0	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	153.0	510.0	67	
	管理教室棟	8-2	1974	RC	0.3	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	156.0	532.3	71	
	屋内運動場	10	1978	S	0.1	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167.8	228.3	94	
	特別普通教室棟	13	1980	RC	0.4	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	158.0	745.5	71	
須田小学校	港廊下	14	1981	W	0.1	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	148.0	100.5	64	
	屋内運動場	5	1977	S	0.1	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	161.3	160.0	84	
	特別教室棟	6	1980	RC	0.4	0.8	0.8	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	161.0	777.0	75	
	管理教室棟	12	1983	RC	0.6	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	162.3	1,207.0	71	
	管理・普通・特別教室棟	14	2009	RC	0.8	0.8	0.8	1.0	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	173.7	1,925.0	80	
	階段室棟	15	2009	RC	0.8	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	167.7	1,775.0	71	
	管理・特別教室棟	20	1973	RC	0.2	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	162.1	1,518.7	64	
	屋内運動場	23	1976	S	0.1	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	161.0	120.0	84	
	コンテナ室	26	2008	S	0.8	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	186.9	2,280.0	100	
	配膳室	27	2012	S	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	161.3	160.0	84	
波崎小学校	特別教室棟	16	1973	RC	0.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	159.7	828.0	75	
	屋内運動場	17	1977	S	0.1	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	168.0	1,836.0	75	
権松小学校	特別教室棟	18	1982	RC	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	153.7	385.0	70	
	管理・教室棟	22	2010	RC	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	156.7	504.0	75	
	特別教室棟	1-1	1970	RC	0.2	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	168.0	1,836.0	75	
	特別教室棟	1-2	1970	RC	0.2	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	153.7	385.0	70	
やたへ土合小学校	特別教室棟	1-3	1970	RC	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	156.7	401.5	75	
	特別教室棟	1-4	1977	RC	0.3	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	149.2	360.3	63	
	給食受入室	1-6	1979	RC	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	158.0	657.0	75	
	屋内運動場	2	1972	S	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	171.0	135.0	100	
	特別教室棟	8-1	1980	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	160.0	768.5	75	
	重層遊廊下棟	8-2	1980	RC	0.4	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	160.0	768.5	75	
	便所棟	10	1981	S	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	173.1	420.0	100	
	管理教室棟	1	1982	RC	0.4	0.5	0.5	0.3	0.8	0.8	0.3	0.8	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	124.7	433.8	38	
	屋内運動場	5	1983	S	0.2	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	139.0	330.0	53	
	フレハブ校舎	8	2009	S	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	185.6	2,100.0	100	

表3-33 現地劣化状況調査結果による採点表(中学校1/2)

施設名	建物名	棟番号	建築年度	主体構造	1. 経過劣化度	2. 部位劣化度							3-1. 建物劣化度 (鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造)			3-2. 建物劣化度 (鉄骨造)			3-3. 建物劣化度 (木造)			合計点 (満点)	総合評価点 (満点)	健全度			
						(1) 内部仕上	(2) 内部その他	(3) 建具	(4) 屋根	(5) 機械設備	(6) 電気設備	(7) 外壁	(1) ひび割れ	(2) 剥離	(3) 建物の傾き	(1) 鉄骨の腐食	(2) 継手の鉄骨の接合状況やひび割れ	(3) 建物の傾き	(1) 木部の腐食	(2) 柱や土台の劣化	(3) 建物の傾き				(1) 構造部の劣化度	(2) 損傷等による劣化状況	
基礎評点(各建物の採点に掛け合わせる)																							190	2700			
神橋第一中学校	管理・教室棟	1-1	1970	RC	02	0.8	0.8	0.8	1.0	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	190	423.5	80
	管理・教室棟(職員室)	1-2	1986	RC	05	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	152.0	850.5	82
	管理・教室棟(北玄関)	1-3	1991	RC	05	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	153.7	1008.0	82
	教室棟	3	1972	RC	02	0.3	0.3	0.3	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	147.8	412.8	80
	武道場	11	1980	S	01	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	153.7	284.0	71
	技術棟	12	1982	RC	04	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	150.7	724.5	82
	屋内運動場	19-1	1994	S	04	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	160.9	960.0	75
	屋内クラブハウス	19-2	1994	S	04	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	159.8	946.7	71
	屋内運動場	19-3	1994	S	04	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	159.8	946.7	71
	普通・職員室棟	1-1	1972	RC	02	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	144.3	390.0	58
	普通・職員室棟	1-2	1989	RC	05	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	153.0	945.0	82
	配膳室	1-3	1979	RC	03	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	138.7	520.0	56
普通・特別教室棟	2	1966	RC	01	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	145.3	220.5	62	
理科・図書室棟	3	1972	RC	02	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	20	10	10	20	10	10	155.3	461.5	71	
屋内運動場	4-1	1972	S	01	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	167.0	129.0	94	
屋内運動場	9	1979	S	01	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	168.2	286.7	94	
武道場	18	2007	S	07	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	166.7	1584.0	75	
プレハブ校舎棟	6-1	1981	RC	04	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	112.3	275.0	14
特別教室	6-2	1981	RC	04	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	112.3	275.0	14
格技場	10-1	1997	S	05	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.3	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	136.2	705.3	40	
屋内運動場	10-2	1997	S	05	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	130.2	613.3	31	
屋内クラブハウス	10-3	1997	S	05	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.3	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	136.2	705.3	40	
屋内運動場	12	2002	S	06	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	20	10	10	20	10	10	148.4	1064.0	59	
多目的室棟	13	2012	RC	09	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	169.7	1908.0	75
管理・特別・普通教室棟	1	1984	RC	04	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	135.3	586.5	49
校舎棟	2-1	1994	RC	04	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	115.8	343.8	18	
室体	2-2	1984	RC	04	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.3	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	115.8	343.8	18	
武道場	2-5	1984	RC	04	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.8	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	106.8	258.8	10	
教室	2-6	1984	RC	04	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.3	0.8	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	115.8	343.8	18	
庭下棟	7	1993	RC	06	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	20	10	10	20	10	10	142.3	867.0	49	
特別教室棟																											

表3-34 現地劣化状況調査結果による採点表（中学校2 / 2）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	主体構造	1. 経過劣化度	2. 部位劣化度							3-1. 建物劣化度 (躯体コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造)			3-2. 建物劣化度 (鉄骨造)			3-3. 建物劣化度 (木造)			合計点 190 (満点)	総合評価点 2700 (満点)	健全度	
						(1) 内部仕上	(2) 内部その他	(3) 建具	(4) 屋根	(5) 機械設備	(6) 電気設備	(7) 外壁	(1) ひび割れ	(2) 剥離	(3) 建物の傾き	(1) 鉄骨の腐食	(2) 継手の接合状況や鉄骨の歪み	(3) 建物の傾き	(1) 木部の腐食	(2) 柱や土台の劣化状況	(3) 建物の傾き				
基礎採点口各建物の採点に掛り合わせる																									
波崎第一中学校	特別教室棟	1-4	1979	RC	20	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.5	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	141.7	529.2	61	
	武道場	13	1972	S	0.1	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	159.0	117.0	84	
	屋内運動場	17	1982	RC	0.4	0.3	0.3	0.3	0.5	0.8	0.8	0.3	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	116.2	354.2	29	
	校舎棟	23	2015	RC	0.9	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	178.7	2,240.0	84	
波崎第二中学校	技術室棟	4	1968	S	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.8	0.8	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	106.5	40.1	27
	屋内運動場	5	1970	S	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	167.0	129.0	94
	教室棟	9-1	1972	RC	0.2	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	148.3	422.5	62	
	管理・特別教室棟	9-2	1973	RC	0.2	0.8	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	164.7	580.0	84	
	特別教室棟	11-1	1981	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	158.3	781.0	71	
	格技場	11-2	1981	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	158.3	781.0	71	
	運動場	11-3	1981	S	0.2	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	130.0	276.0	46	
波崎第三中学校	廊下	13	1983	S	0.2	0.5	0.5	0.5	0.3	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	10.0	1.0	49
	運動場	14	1983	W	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	82
	屋内運動場	15	1978	S	0.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	157.8	202.7	82	
	特別教室棟	1	1968	RC	0.2	0.3	0.3	0.3	1.0	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	143.5	272.3	56	
	教室棟	2-1	1968	RC	0.2	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	147.0	288.0	60	
	廊下	2-2	1985	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	155.7	871.0	64	
	給食配膳室	3	2016	S	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	184.7	2,488.0	94	
波崎第四中学校	格技場	9	1974	S	0.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	167.0	129.0	94
	管理教室棟	13	1985	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	155.7	871.0	64	
	教室棟	14-1	1992	RC	0.6	0.8	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	171.0	1,320.0	84	
	廊下	14-2	1992	RC	0.6	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	158.0	1,105.5	64	
	屋内運動場	16-1	2000	S	0.6	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	163.6	1,248.0	74	
	運動場	16-2	2000	S	0.6	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	157.6	1,144.0	72	
	管理・普通教室棟	1	1984	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.8	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	137.3	598.5	52	
波崎第五中学校	体育館下棟	2	1984	RC	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	139.3	637.5	49	
	特別教室棟	3	1984	RC	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	144.3	690.0	62	
	屋内運動場	4	1986	S	0.3	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.8	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140.3	440.0	53	
	プレハブ校舎棟	10	2009	S	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167.6	1,680.0	75	



表3-35 現地劣化状況調査結果による採点表（幼稚園・教職員住宅・その他）

施設名	建物名	棟番号	建築年度	主体構造	1. 経過劣化度	2. 部位劣化度							3-1. 建物劣化度 (躯体コンクリート壁・躯体鉄筋コンクリート壁)			3-2. 建物劣化度 (鉄骨造)			3-3. 建物劣化度 (木造)			4. 構造・躯体の劣化度 (損2) 築地による基礎の劣化状況 築地による基礎の劣化状況 築地による基礎の劣化状況	合計点 (満点)	総合評価点 (満点)	健全度
						(1) 内部仕上	(2) 内部その他	(3) 建具	(4) 屋根	(5) 機械設備	(6) 電気設備	(7) 外壁	(1) ひび割れ	(2) 剥離	(3) 建物の傾き	(1) 鉄骨の腐食	(2) 継手の骨接合状況 鉄骨の骨接合状況 鉄骨の骨接合状況	(3) 建物の傾き	(1) 木部の腐食	(2) 柱や土台の劣化 柱や土台の劣化 柱や土台の劣化	(3) 建物の傾き				
ウチも幼稚園	園舎	5	1998	W	0.3	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	152.0	594.0	65	
石神幼稚園	園舎	1	1972	S	0.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	143.0	911	65	
	園舎	4	1976	S	0.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	143.0	911	65	
大野原幼稚園	園舎	6	2000	S	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	157.6	1,144.0	65	
	園舎	1-1	1979	S	0.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	154.2	2,400.0	75	
	園舎	1-2	1982	S	0.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	155.6	3,840.0	75	
	園舎	1-3	1987	S	0.3	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	157.8	6,240.0	75	
	園舎	1-4	2000	S	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	163.6	1,248.0	75	
須田幼稚園	園舎	1-5	2005	S	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	165.8	1,488.0	75	
	管理室棟	2	1981	S	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	134.1	2,380.0	49	
	保育室棟	3	1981	S	0.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	143.1	2,800.0	62	
	便所棟	5	1993	W	0.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	148.7	2,640.0	65	
	保育室棟	7	2000	W	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	159.3	7,920.0	75	
	土舎住宅	教職員住宅	1987	RC	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	138.3	6,720.0	63	
	第二附属庄 第二食堂	教職員住宅	1974	RC	0.3	0.5	0.5	0.5	1.0	0.3	0.3	0.3	0.5	0.8	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	122.0	3,240.0	37	
旧矢田部小学校	管理・特別・普通教室棟	12-1	1975	RC	0.3	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	0.8	0.3	0.5	1.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	131.0	3,360.0	60	
	コンテナ入室	12-2	1984	S	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	153.3	5,440.0	85	
旧徳松幼稚園	管理・保育室棟	1-1	1971	S	0.1	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	107.0	414	21	
	便所棟	1-2	1975	S	0.1	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	117.0	552	37	
	保育室棟	1-3	1977	S	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	122.3	823	40	
	保育室棟	3-1	1975	S	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	122.0	621	40	
	廊下 遊り廊下	3-2	1977	S	0.1	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	0.8	1.0	1.0	104.8	520	29	
旧清水住宅	保育室棟	6	1985	W	0.1	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	121.0	600	37	
	保育室棟	7	1991	S	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	153.6	7,480	65	
	保育室棟	8	2000	W	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	153.3	7,260	65	
	学校支援教室		1975	S	0.1	0.5	0.5	0.3	0.3	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	117.0	520	37		

⑥現地劣化状況調査結果による劣化状況

各学校施設の現地劣化状況調査結果による主な劣化状況を下表に示します。

表3-36 劣化状況調査結果の主な劣化状況（小学校1/2）

施設名	建物用途	建築年度 (最も古い校舎・体育館)	建物総延床面積 (㎡)	現地劣化状況調査結果による主な劣化状況
息栖小学校	校舎	1973	8,838	・普通教室棟、管理・普通教室棟のベランダ防護柵に錆が発生しており塩害対策が必要である。 ・特別教室棟の内部仕上に経年劣化が見られる。
	体育館	1973	1,070	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
深芝小学校	校舎	2005	6,433	・校舎外壁にき裂と白華現象が見られる。
	体育館	2005	1,459	・特に異常は見られない。
軽野小学校	校舎	1972	4,946	・教室棟、管理・教室棟、普通教室・特別教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	体育館	1972	1,000	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
軽野東小学校	校舎	1971	5,206	・普通教室棟、配膳室、管理・普通教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	体育館	1972	1,000	・屋根に錆が見られる。
大野原小学校	校舎	1978	6,033	・管理・普通教室棟の内部仕上の一部で経年劣化が見られる。 ・パントリーの全体で経年劣化が見られる。
	体育館	1978	1,049	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
横瀬小学校	校舎	1987	5,845	・管理・普通教室棟、特別教室棟は全体に経年劣化が見られる。特に雨漏り調査が必要である。
	体育館	1988	1,079	・全体に経年劣化が見られる。特に雨漏り調査が必要である。
大野原西小学校	校舎	1991	4,809	・校舎棟の外壁にヒビや爆裂があり詳細調査が必要である。
	体育館	1992	1,378	・外壁にヒビや爆裂があり詳細調査が必要である。

表3-37 劣化状況調査結果の主な劣化状況（小学校2/2）

施設名	建物用途	建築年度 (最も古い校舎・体育館)	建物総延床面積 (㎡)	現地劣化状況調査結果による主な劣化状況
柳川小学校	校舎	1973	2,446	・教室棟、管理教室棟の内部仕上に経年劣化が進行している。 ・コンテナ受入室の鉄部に腐食や錆が見られる。
	体育館	1978	931	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
太田小学校	校舎	1974	2,893	・特別教室棟、管理教室棟、特別普通教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	体育館	1978	869	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
須田小学校	校舎	1980	3,398	・特別教室棟、管理教室棟、管理・普通・特別教室棟の内部仕上に経年劣化が見られる。
	体育館	1977	869	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
波崎小学校	校舎	1973	2,999	・管理・特別教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	体育館	1976	873	・外壁と内部床は改修されており、特に異常は見られない。
波崎西小学校	校舎	1973	3,735	・特別教室棟、管理・普通教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	体育館	1977	873	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
植松小学校	校舎	1970	4,462	・管理・教室棟、特別教室棟、給食受入室、特別教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	体育館	1972	700	・屋根等が改修されており、特に異常は見られない。
やたべ土合小学校	校舎	1982	2,792	・管理教室棟は改修中である。
	体育館	1983	910	・外壁に爆裂等見られ詳細調査が必要である。

表3-38 劣化状況調査結果の主な劣化状況（中学校1 / 2）

施設名	建物用途	建築年度 (最も古い校舎・体育館)	建物延床面積 (㎡)	現地劣化状況調査結果による主な劣化状況
神栖第一中学校	校舎	1970	4,330	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理・教室棟(職員室)のエキスパンション部の点検が必要である。</li> <li>・管理・教室棟(北玄関)の雨漏跡の進行調査が必要である。</li> <li>・教室棟、技術棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。</li> </ul>
	体育館	1994	1,925	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、屋内クラブハウスは改修中である。</li> </ul>
	武道場	1980	487	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修されており、特に異常は見られない。</li> </ul>
神栖第二中学校	校舎	1972	4,339	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通・職員室棟、配膳室、普通・特別教室棟、理科・図書室棟の天井部に雨漏跡が見られ、劣化が進行している。</li> <li>・プレハブ校舎棟は全体に経年劣化が進行している。</li> </ul>
	体育館	1972	1,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修されており、特に異常は見られない。</li> </ul>
	武道場	1979	445	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修されており、特に異常は見られない。</li> </ul>
神栖第三中学校	校舎	1981	5,702	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別教室の全体に経過年相応の劣化が進行している。</li> <li>・管理・特別・普通教室棟の屋上に堆積物が見られ、除去が必要である。</li> </ul>
	体育館	1997	1,896	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上に堆積物が見られ、除去が必要である。</li> </ul>
	校舎・武道場	1981	621	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に経過年相応の劣化が進行している。</li> </ul>
神栖第四中学校	校舎	1984	6,084	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎棟の外壁にき裂が見られる。</li> <li>・渡り廊下棟、特別教室棟の全体に経年劣化が見られる。</li> </ul>
	体育館・武道場	1984	2,546	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、部室の全体に経年劣化が見られる。</li> <li>・武道場は雨樋に堆積物が見られ、除去が必要である。</li> </ul>

表3-39 劣化状況調査結果の主な劣化状況（中学校2/2）

施設名	建物用途	建築年度 (最も古い校舎・体育館)	建物延床面積 (㎡)	現地劣化状況調査結果による主な劣化状況
波崎第一中学校	校舎	1968	5,782	・特別教室棟の外壁にき裂や爆裂が見られ詳細調査が必要である。
	体育館	1982	1,180	・全体に経年劣化が見られる。
	武道場	1972	311	・大規模改修されており、特に異常は見られない。
波崎第二中学校	校舎	1968	3,623	・技術室棟の出入口外壁に剥離・剥落の兆候が見られる。 ・教室棟、特別教室棟、渡廊下の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。 ・渡廊下は全体に経年劣化が進行しており、詳細調査を要する状況である。
	体育館	1970	1,666	・体育館は大規模改修されており、特に異常は見られない。 ・部室は全体に経年劣化が進行しており、詳細調査を要する状況である。
	校舎・武道場	1981	348	・内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
	校舎	1968	3,803	・特別教室棟、教室棟、管理教室棟、廊下の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
波崎第三中学校	体育館	2000	1,642	・外壁にき裂が見られる。
	武道場	1974	348	・内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
波崎第四中学校	校舎	1984	3,777	・管理・普通教室棟の外壁に多数の爆裂が見られ詳細調査を要する。 ・渡り廊下棟、特別教室棟は各所に経年劣化が進行しており、詳細調査を要する。
	体育館・武道場	1986	1,339	・外壁に多数の爆裂が見られ詳細調査を要する。

表3-40 劣化状況調査結果の主な劣化状況（幼稚園・教職員住宅・その他）

施設名	建物用途	建築年度 (最も古い園舎・住宅)	建物延床面積 (㎡)	現地劣化状況調査結果による主な劣化状況
うずも幼稚園	園舎	1998	977	・雨樋に草が生えて堆積しており、除去が必要である。
石神幼稚園	園舎	1972	758	・全体に経年劣化が見られる。
大野原幼稚園	園舎	1979	842	・雨樋に堆積物が見られ、除去が必要である。
須田幼稚園	園舎	1981	598	・管理室棟、保育室棟の屋根に錆が発生している。雨樋に堆積物が見られ、除去が必要である。 ・保育室棟の目地材に劣化が見られ、交換が必要である。
土合住宅	その他	1987	570	・外壁の一部に爆裂が見られる。
第二松風荘	その他	1977	905	・外壁、内部仕上の全体に経年劣化が進行しており、詳細調査を要する状況である。
第二泉荘	その他	1974	687	・屋上は草が生えて堆積しており、除去が必要である。 ・外壁に白華現象や漏水箇所が見られる。
旧矢田部小学校	その他	1975	2,377	・管理・特別・普通教室棟の内部仕上に経過年相応の劣化が進行している。
旧樋松幼稚園	その他	1971	1,015	・管理・保育室棟、便所棟は全体に経年劣化が進行し、改修時期にきている。 ・廊下の鉄部に腐食・錆が多数発生しており早急に対応する必要がある。 ・渡り廊下の屋根材を留めているタイトフレームに断面欠損があり屋根が飛散する可能性がある。
旧清水住宅	その他	1975	365	・外壁、内部仕上の全体に経年劣化が進行しており、詳細調査を要する状況である。

⑦現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真

現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況の事例を以下に示します。

● 屋根・屋上

写真		
	屋根・屋上	屋根・屋上
状況	屋根ひさし部の剥離と内部の鉄筋の腐食	屋根ひさし部の剥離と内部の鉄筋の腐食



写真		
	屋根・屋上	屋根・屋上
状況	渡り廊下の腐食・さび	防水シートのゆがみ、経年劣化



写真		
	屋根・屋上	屋根・屋上
状況	草・堆積物によるによるルーフトレンの詰まり	草・堆積物による雨樋の詰まり

図 3-31 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（屋根・屋上）

● 外壁（1／2）

写真		
	部位・設備	外壁
状況	外壁の剥落と内部の鉄筋の腐食	外壁の剥落と内部の鉄筋の腐食

写真		
	部位・設備	外壁
状況	外壁の剥落と内部の鉄筋の腐食	外壁のき裂・剥落

写真		
	部位・設備	外壁（柱）
状況	支柱のかぶり不足と内部の鉄筋の腐食	支柱の剥離・損傷

図 3-32 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（外壁）



● 外壁（2/2）



写真			
	部位・設備	外壁	外壁
	状況	外壁のき裂と白華現象	外壁のき裂と鉄筋の錆び汁痕



写真			
	部位・設備	外壁(ガラスブロック)	外壁(防護柵)
	状況	ガラスブロックのき裂・損傷	ベランダ防護柵の腐食・損傷

写真			
	部位・設備	外壁(排水パイプ)	外壁(排水パイプ)
	状況	雨樋の固定金具の腐食・さび	雨樋の経年劣化・かび

図 3-33 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（外壁）

● 内部仕上（1/2）

写真		
	内部仕上（天井）	内部仕上（天井）
	天井部の雨漏り痕	天井部の雨漏り痕・雨じみ

写真		
	内部仕上（天井）	内部仕上（天井）
	天井部の雨漏り痕・かび汚れ	天井部仕上げ面のたわみ・剥がれ

写真		
	内部仕上（壁面）	内部仕上（壁面）
	内壁のき裂と錆び汁跡・白華現象	内壁の表面剥離・損傷

図 3-34 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（内部仕上）

● 内部仕上 (2/2)

写 真		
	内部仕上(壁面)	内部仕上(床)
状 況	内部仕上面の剥離	ビニル床タイルの剥がれ・経年劣化

写 真		
	内部仕上(床)	内部仕上(床)
状 況	ビニル床タイルの浮き・剥がれ	水場床面の経年劣化と表面塗装の剥がれ

写 真		
	内部仕上(建具)	内部仕上(建具)
状 況	窓枠シーリング材の固化・経年劣化	建具扉の損傷・経年劣化

図 3-35 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真 (内部仕上)

● 電気設備

写真		
	部位・設備	電気設備
状況	受変電設備外扉の腐食・さび	外灯カバーの破損

図 3-36 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（電気設備）

● 機械設備

写真		
	部位・設備	機械設備（排気装置）
状況	排気装置及び架台の腐食・さび	室外機及び架台の腐食・さび

写真		
	部位・設備	機械設備（給排水装置）
状況	給排水装置及び架台の腐食・さび	昇降機の腐食・さび

図 3-37 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（機械設備）

● 機械設備

写真		
	機械設備(タラップ)	機械設備(計器・配管)
状 況	タラップ開口部の腐食・さび	計器・配管の腐食・さび
写真		
	機械設備(配管)	機械設備(配管)
状 況	排気口・排気管の腐食・さび	排気管の腐食・さび

図 3-38 現地劣化状況調査結果による部位別の劣化状況写真（機械設備）

3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトにより全施設を長寿命化対象とし、長寿命化周期を40年で試算した今後の維持・更新コスト（長寿命化型）は、40年間の総額で約626.5億円、年平均は約15.7億円となり、今後40年間では過去5年間平均の施設関連経費より年平均で約1.55億円の縮減が見込まれます。

今後40年間の総額は、今後の維持・更新コスト（従来型）約815.9億円と比較して約189.5億円の減額となる試算になります。

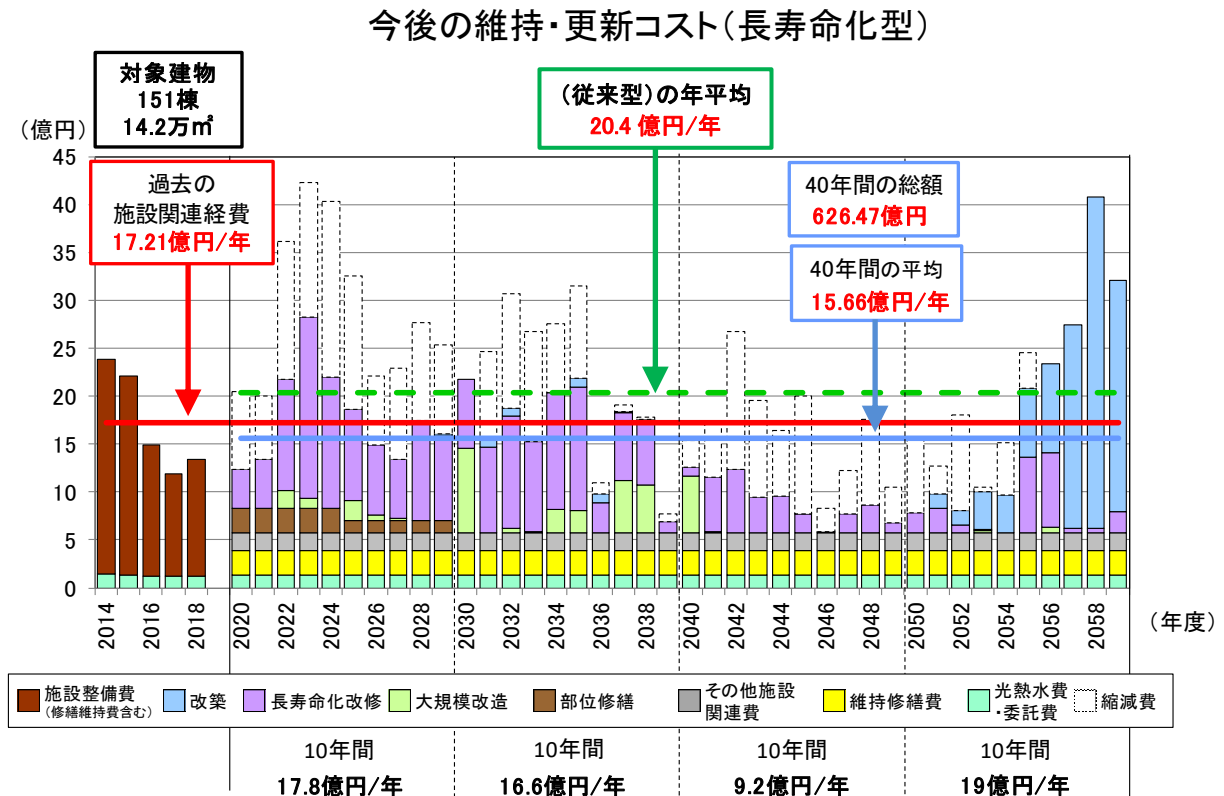


図 3-39 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

表 3-41 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の試算条件

項目	周期と単価
改築	更新周期60年（工事期間2年、実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施） 長寿命化後、建築年からの更新周期85年（通常更新から25年延命する） （工事期間2年、実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施） ・改築単価：33万円/㎡
長寿命化改修	更新周期50年（工事期間2年、実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施） ・長寿命化改修単価：19.8万円/㎡・・・改築単価の60%
大規模改造	更新周期25年（但し、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない） ・大規模改修単価（校舎・園舎・その他）：11.22万円/㎡・・・改築単価の34% ・大規模改修単価（体育館・武道場）：10.23万円/㎡・・・改築単価の31%
部位修繕	D評価の建物は、今後5年以内に部位修繕を実施 C評価の建物は、今後10年以内に部位修繕を実施 B評価の建物は、定期的な点検により評価が下がるまで修繕は実施しない A評価の建物は、今後10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

## 【コスト試算条件】

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の試算の単価条件として、改築単価は、今後の維持・更新コスト（従来型）の試算条件と同様に「公共施設等更新費用試算ソフト仕様書（平成27年5月 総務省）」の教育系施設の更新（建替え）単価を引用し、33万円/m<sup>2</sup>とします。

また、長寿命化改修単価は、同仕様書の教育系施設の大規模改修費用を引用し、19.8万円/m<sup>2</sup>とします。これは、設定した改築単価の約60%に相当します。「改修比率算定表（公立学校施設整備事務ハンドブック（令和元年 公立学校施設法令研究会）」では、長寿命化改良事業に係る全面改修の改修比率は、60%と示されています。そのため、長寿命化改修単価（校舎・園舎・その他・体育館・武道場）は、改築単価33万円×60%=19.8万円/m<sup>2</sup>としています。

表3-42 長寿命化改良事業に係る改修比率算定表（校舎・寄宿舍）

工種	①改修範囲の割合（%）					②単価構成比率（%）	③改修比率①×②（%）
	（なし）	（一部分）	（半分）	（大部分）	（全面）		
建築	防水	0	25	50	75	100	3.5
	外装	0	25	50	75	100	2.9
	内装	0	25	50	75	100	20.0
	建具 （外部）	0	25	50	75	100	8.9
	建具 （内部）	0	25	50	75	100	2.4
電気設備	0	25	50	75	100	8.0	
機械設備	0	25	50	75	100	7.3	
長寿命化	100						7.0
全面改修							60.0

表3-43 長寿命化改良事業に係る改修比率算定表（屋内運動場）

工種	①改修範囲の割合（%）					②単価構成比率（%）	③改修比率①×②（%）
	（なし）	（一部分）	（半分）	（大部分）	（全面）		
建築	防水	0	25	50	75	100	3.0
	外装	0	25	50	75	100	1.5
	内装	0	25	50	75	100	20.5
	建具 （外部）	0	25	50	75	100	8.1
	建具 （内部）	0	25	50	75	100	2.0
電気設備	0	25	50	75	100	9.6	
機械設備	0	25	50	75	100	3.3	
長寿命化	100						12.0
全面改修							60.0

引用：「公立学校施設整備事務ハンドブック」（令和元年 公立学校施設法令研究会）

また、「公立学校施設整備事務ハンドブック（令和元年 公立学校施設法令研究会）」によると大規模改造（老朽）の「実施にあたっては、外部及び内部の両方を同時に全面的に改造するものを原則とする。全面的に改修するとは、内部又は外部のいずれかの施工割合がおおむね70%以上であり、かつ、もう一方の施行割合がおおむね50%以上であるもの」と定められています。そのため、大規模改造単価の設定にあたっては、施工割合の上限100%までの中間値を採り、内部外部のどちらかを85%、もう一方を75%の施工割合と仮定し、下表の改修比率算定表の単価構成比率（全面改修）である53%（校舎・寄宿舍）、48%（体育館）にそれぞれ積算させて設定しています。

大規模改造単価（校舎・園舎・その他）は、 $\text{改築単価 } 33 \text{ 万円}/\text{m}^2 \times 75\% \times 85\% \times 53\% \div 33 \text{ 万円}/\text{m}^2 \times 34\% = 11.22 \text{ 万円}/\text{m}^2$ としています。

また、大規模改造単価（体育館・武道場）は、 $\text{改築単価 } 33 \text{ 万円}/\text{m}^2 \times 75\% \times 85\% \times 48\% \div 33 \text{ 万円}/\text{m}^2 \times 31\% = 10.23 \text{ 万円}/\text{m}^2$ としています。

表3-44 改修比率算定表（校舎・寄宿舍）

工種	①改修範囲の割合（%）					②単価構成比率（%）	③改修比率 ①×②（%）
	（なし）	（一部分）	（半分）	（大部分）	（全面）		
建築	防水	0	25	50	75	100	3.5
	外装	0	25	50	75	100	2.9
	内装	0	25	50	75	100	20.0
	建具 （外部）	0	25	50	75	100	8.9
	建具 （内部）	0	25	50	75	100	2.4
電気設備	0	25	50	75	100	8.0	
機械設備	0	25	50	75	100	7.3	
全面改修						53.0	

表3-45 改修比率算定表（屋内運動場）

工種	①改修範囲の割合（%）					②単価構成比率（%）	③改修比率 ①×②（%）
	（なし）	（一部分）	（半分）	（大部分）	（全面）		
建築	防水	0	25	50	75	100	3.0
	外装	0	25	50	75	100	1.5
	内装	0	25	50	75	100	20.5
	建具 （外部）	0	25	50	75	100	8.1
	建具 （内部）	0	25	50	75	100	2.0
電気設備	0	25	50	75	100	9.6	
機械設備	0	25	50	75	100	3.3	
全面改修						48.0	

引用：「公立学校施設整備事務ハンドブック」（令和元年 公立学校施設法令研究会）



## 4) 学校施設の老朽化状況の現状と課題の整理

学校施設の老朽化状況の現状と課題を以下に整理します。

## (1) 躯体の健全性についての課題

- 対象建物 151 棟のうち、旧耐震基準（1981（昭和 56）年 5 月 31 日までの建築確認において適用されていた基準）に建てられた建物は、78 棟あり、全体の約 52%を占めます。
- 文部科学省の「解説書」の基準で「要調査」に該当する、旧耐震基準の建物または未耐震補強の建物のうち、RC 造（鉄筋コンクリート造）の建物でコンクリート圧縮強度が 13.5N/mm<sup>2</sup>以下の建物はありません。
- 文部科学省の「解説書」の基準で「要調査」に該当する、旧耐震基準の建物または未耐震補強の建物のうち、S 造（鉄骨造）の建物で建築後 40 年を経過している建物は 7 棟あります。
- 試算上の区分として長寿命化改修の判定後、工事実施段階においては、耐力度調査に準じた躯体の詳細な調査を行い、加えて経済性や教育機能性等を考慮し、建物別に総合的に長寿命化改修または改築を判断する必要があります。

## (2) 躯体以外の安全面についての課題

- 劣化状況調査結果等から、D（早急に対応する必要がある）評価を受けた建物は、「屋根・屋上」で 17 棟、「外壁」で 17 棟、「内部仕上げ」で 18 棟、「電気設備」で 5 棟、「機械設備」で 5 棟ありました。
- 全ての部位・設備で D 評価となった神栖第三中学校の特別教室をはじめ、健全度が 10 点台と低い建物が 3 棟ありました。
- これら D 評価となった建物の部位・設備について、早急に適切な修繕を実施することが求められます。
- また、健全度が 50 点未満の建物も 31 棟あり、これらの建物の劣化の進んでいる部位・設備については、適切な時期での適切な修繕の実施が望まれます。

## 第4章 学校施設整備の基本的な方針等

### 4.1 学校施設長寿命化計画の基本方針

#### 1) 上位計画（神栖市公共施設等総合管理計画）の基本方針

##### (1) 建築物系公共施設に関する基本目標

###### ① 施設の適正管理及び長寿命化

施設の安全性と機能性を継続的に確保するため、法定点検及び日常点検を徹底し、耐震化や計画的な修繕等の実施により、施設の適正管理及び長寿命化に努めます。

###### ② 施設の適正配置及び有効活用

質の高い公共サービスを提供し続けるため、人口構造等の変化に伴う市民ニーズに適応した施設配置及び有効活用に努めます。

###### ③ 施設の最適化による将来負担の抑制

今後増大が見込まれる将来の更新等費用の軽減を図るため、民間との協同や統廃合・複合化等による施設の最適化を目指します。

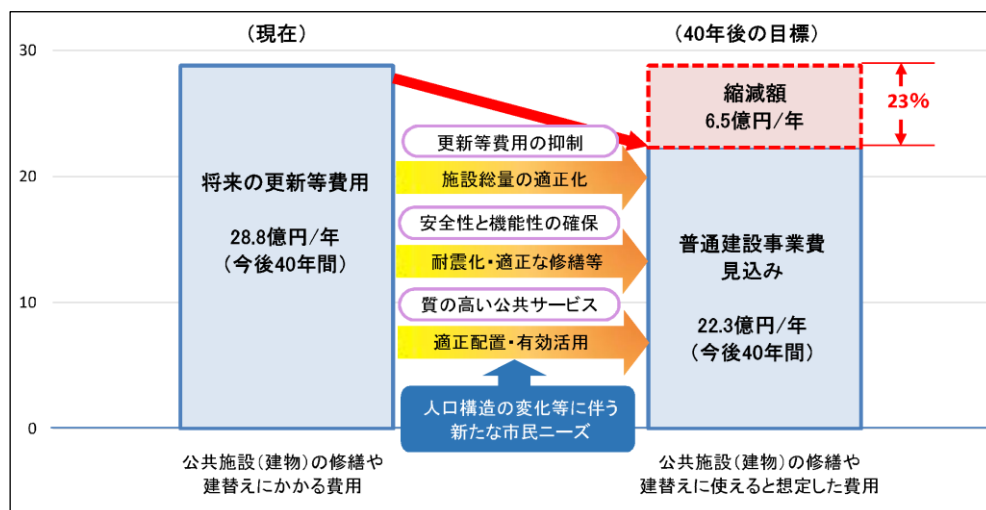


図 4-1 建築物系公共施設の基本目標イメージ

引用：神栖市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）

##### (2) 公共施設等の管理の実施方針（建築物系公共施設）

###### ① 施設の適正管理及び長寿命化

- 継続的に点検、評価、メンテナンスを行える体制の整備、点検や評価結果を踏まえた安全確保、計画的な長寿命化

###### ② 施設の適正配置及び有効活用

- 新規整備・建替えを慎重に検討、今後の施設のあり方や適正配置の検討、用途変更や利活用方法の検討

###### ③ 施設の最適化による将来負担の抑制

- PPP や PFI 等の導入等の官民連携による事業の効率化、学校統廃合や複合化の検討、管理費用の縮減及び財源の確保

2) 学校施設の現状と課題の整理

- ① 学校教育系施設（主に小・中学校）が本市の公共施設の約 55%を占めています。
- ② 少子化の進行に伴い、児童・生徒・園児数は、今後も減少傾向が続くと予想されますが、例外的に大野原小学校のように増加傾向にある学校（地域）もあります。
- ③ 対象建物 151 棟のうち、築 30 年以上を超える建物が約 7 割を占めています。
- ④ 構造躯体や部材・設備の経年劣化による施設の老朽化が際立って進行しています。
- ⑤ 長寿命化の試算において、過去 5 年間の施設関連経費と同規模程度の費用が掛かる見込みです。



3) 学校施設長寿命化計画の基本方針

神栖市公共施設等総合管理計画の基本方針及び学校施設の現状と課題を踏まえ、神栖市学校施設等長寿命化計画の基本方針は、以下のとおり設定します。

**神栖市学校施設等長寿命化計画の基本方針**

**方針Ⅰ：施設の長寿命化の推進**

- ◆ 予防保全の観点から、法定点検を確実に実施するとともに、職員や学校施設管理者による劣化状況調査を定期的な実施を推進します。
- ◆ 法定点検や劣化状況調査の実施結果を踏まえ、学校施設の計画的な維持修繕を実施し、施設や設備の長寿命化を図ります。
- ◆ 点検結果や修繕履歴等の記録・更新により、施設情報の一元的な管理を図ります。

**方針Ⅱ：学校施設の適正規模・適正配置及び有効活用の検討**

- ◆ 少子化の進行に伴う将来的な児童・生徒・園児数の減少傾向を踏まえ、学校施設の施設規模の適正化を検討します。
- ◆ 余裕教室等が生じた場合は、地域住民等の意見を積極的に取り入れながら、施設の複合化や運営方法も含めて活用方法について検討し、施設の有効活用を図ります。

**方針Ⅲ：長寿命化によるライフサイクルコスト（LCC）の縮減**

- ◆ 適切な時期に適切な修繕や改修等を行うことで、学校施設の長寿命化を図りつつ維持管理することで、トータルとして学校施設の LCC の縮減を図ります。
- ◆ 文科省補助金の活用、地方債の活用等により、財政負担の軽減を図ります。

## 4.2 学校施設の規模・配置計画等の方針

### 1) 学校規模・配置計画等の基本方針

本市の学校施設の規模・配置計画等の基本方針は、以下のとおり設定します。

**《方針》市内の学校施設は、当面は現在の規模・配置を維持します。**

### 2) 学校施設の適正規模・適正配置の検討

現状では、本市は学校施設として32施設151棟を管理している状況の中、劣化が進んでいる施設については、修繕費用が増加傾向にあります。

人口が増加傾向にある地域は例外として、基本的には、新たな建物は増やさない方向で検討を進める必要があります。

ただし、前述の児童・生徒・園児数及び学級数の将来推計結果を踏まえると、児童・生徒・園児数に対する学校施設の適正規模・適正配置の検討は、今後必要になると考えられます。

具体的には、今後の児童・生徒・園児数の増減や分布の推移を注視し、適宜、適正な管理床面積による減築を検討していきます。また、大規模改造、長寿命化改修等を実施する際は、多額の費用がかかり、長期間にわたる工事が想定されるため、他の公共施設との複合化・多機能化についても検討していきます。

将来的な学校施設の適正規模・適正配置の検討の際には、学校統廃合についても検討する必要があります。

#### ◆検討項目

**検討①：学校施設の減築**

**検討②：他の公共施設との複合化・多機能化**

**検討③：学校統廃合**

**検討①：学校施設の減築**（参考1・2を参照）

将来の児童・生徒・園児数の動向を見極めながら、余裕教室の利活用方法の検討（必要学級数や余裕教室（転用可能教室）数、余裕面積の算出を含む）等を行った上で、余裕教室等の有効活用を図ります。今後さらに児童・生徒・園児数が減少した場合は、学校施設の長寿命化または改築を実施する際に、併せて適正な管理床面積になるよう減築することを検討します。

（参考1）減築について

引用：「学校施設の長寿命化改修の手引」（平成26年1月、文部科学省）

（1）目的（期待される効果）

**①建物規模の適正化**

余裕教室等の空きスペースについて、他用途への転用が見込めない場合に減築を行うことで、建物規模の適正化が図られ、施設を保有しているだけでも発生する維持修繕のための費用を抑えることができます。

**②建物の軽量化による耐震性能の向上**

同じ形状の建物であれば、地震発生時、重量が大きい方が被害も大きくなり、逆に、建物を軽量化することにより地震による被害を低減することが可能です。例えば、鉄骨造と比較して重量が大きい鉄筋コンクリート造の建物は、耐震補強する際、軽量化することにより補強箇所を減らすことが可能となり、補強自体が不要となる可能性があります。

**③空間のコントロール**

減築と合わせて長寿命化改修を行う場合、近年の教育活動の実態を踏まえた、使いやすい教室配置への変更も実現できます。

（2）留意すべき点

余裕教室や廃校施設の多くは、全国各地で様々な施設へ転用され活用されています。今後、他の施設も含めた利用計画や人口の変動見込み等を踏まえ、校区や校区を越えた地域単位で、長期的な視点で施設の他用途への活用方法について十分検討することが重要です。

また、減築の際に耐力壁の除去や建物のバランスを崩すことにより、従前より耐震性が低くなる場合があります。効果的に耐震性能を向上するため、バランスよく減築部分を設定することが重要です。

(3) 実施事例 (左：滋賀県大津市 (2階部分の撤去による減築)、右：和歌山県有田市 (使用頻度が低い棟の減築))



(参考2) 余裕教室の現状

(1) 余裕教室の現状 (平成 29 年度余裕教室活用状況の実態調査 (平成 29 年 5 月 1 日時点))  
本市の小・中学校の余裕教室の現状を下表に示します。

(単位：学級、室)

分類	学校名	実学級数	普通教室数	余裕教室数	一時的余裕教室数	余裕教室・一時的余裕教室の合計
小学校	息栖小学校	33	37	2	2	4
	軽野小学校	18	20	2	0	2
	軽野東小学校	16	21	5	0	5
	大野原小学校	23	25	0	2	2
	横瀬小学校	23		0		0
	大野原西小学校	20		0		0
	深芝小学校	26	28	2	0	2
	波崎小学校	15	16	1	0	1
	波崎西小学校	10	12	2	0	2
	種松小学校	24	26	2	0	2
	太田小学校	12		0		0
	須田小学校	14	15	1	0	1
	柳川小学校	9	10	1	0	1
	やたべ土合小学校 (*1)	14	15	0	1	1
小学校合計	265	225	18	5	23	

分類	学校名	実学級数	普通教室数	余裕教室数 (*2)	一時的余裕教室数 (*3)	余裕教室・一時的余裕教室の合計
中学校	神栖第一中学校	10	14	4	0	4
	神栖第二中学校	23		0		0
	神栖第三中学校	13	16	3	0	3
	神栖第四中学校	19		0		0
	波崎第一中学校	11		0		0
	波崎第二中学校	8	11	3	0	3
	波崎第三中学校	12	15	3	0	3
	波崎第四中学校	11		0		0
中学校合計	107	56	13	0	13	

- \*1 やたべ土合小学校は、統合前の旧土合小学校の学級数としています。
- \*2 余裕教室とは、現在は普通教室として使用されていない教室のうち、当該学校の学区域に現に居住する児童等の人口を鑑みて、今後 5 年間以内に普通教室として使用されることがないと考えられる教室が該当します。
- \*3 一時的余裕教室とは、現在は普通教室として使用されていないが、当該学校の学区域に現に居住する児童等の人口を鑑みて、今後 5 年間以内に、普通教室として使用されると考えられる教室が該当します。

**検討②：他の公共施設との複合化・多機能化**（参考3を参照）

将来の児童・生徒・園児数の動向を見極めながら、本市の上位・関連計画、方針や財政状況に基づき、他の公共施設との複合化・多機能化が必要と判断された場合には、地域住民等の意見を積極的に取り入れながら、学校施設の敷地や建物を活かし、学校施設と親和性の高いと考えられる他の公共施設（例として、市民文化系施設や子育て支援施設、保健・福祉施設等）との複合化・多機能化について検討します。

## （参考3）複合化について

引用：「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」（平成27年11月、文部科学省）

余裕教室の有効活用を目的とした他公共施設と複合化する事例が全国的に増えており、その動きは今後より一層の拡がりを見せると想定されます。複合化の事例は、放課後児童クラブや防災備蓄倉庫が最も多く、他に公民館や児童館、保育所、老人デイサービスなどもみられ、多様な用途が学校施設に複合化されています。

また、余裕教室の有効活用を目的とした他公共施設と複合化する事例が全国的に増えており、その動きは今後より一層の拡がりを見せると想定されます。複合化には学校施設としての保有面積の縮減のほか、多様な学習機会の創出、地域コミュニティの強化、地域の振興・再生などの効果も期待できると考えられます。



図4-2 複合化のイメージ

引用：「学校施設の老朽化対策について」（平成25年3月、文部科学省）

## （1）複合化の効果

**①施設機能の共有化による学習環境の高機能化・多機能化**

複合化により、単独の学校として整備するよりも施設機能の高機能化・多機能化を図ることができ、児童生徒及び園児や地域住民に多様な学習環境を創出するとともに、公共施設を有効的に活用することができる。

**②児童生徒及び園児と施設利用者との交流**

学校施設と他の公共施設等が併設されているという特徴を生かし、交流の機会を設けたり、日常的に互いの施設での活動等を目にしたりすることで、児童生徒及び園児と地域住民等の施設利用者との交流を深めることができる。

**③地域における生涯学習やコミュニティの拠点の形成**

学校施設と社会教育施設等との複合施設では、児童生徒及び園児の学びの場としてだけでなく、地域にとっても生涯学習の場となるとともに、伝統文化や行事の継承などを通して、地域のコミュニティの形成にも寄与することができる。

**④専門性のある人材や地域住民との連携による学校運営への支援**

様々な人材が集まるという特徴を生かし、学校の教育活動や課外活動等に専門性のある人材を活用したり、地域住民の協力を促したりすることで、児童生徒及び園児が、より高度な専門知識に触れる機会を創出したり、学校運営への支援が行われたりすることが期待できる。

**⑤効果的・効率的な施設整備**

学校施設や公共施設等をそれぞれ単体で整備するよりも、複数の公共施設等を複合施設として一体的に整備したり、既存学校施設を活用したりすることにより、域内全体の整備費用の削減や支出の平準化を図ることができる。

**(2) 複合化の課題****①市役所内の部局間の連携、教職員や地域住民との合意形成**

学校施設と他の公共施設等との複合化にあたっては、市役所内において複数の関係部局が連携し、市内公共施設の整備計画や、複合化する各施設の計画、管理・運営方法等について検討することが必要となる。また、教職員や各施設の関係者はもとより、利用者となる地域住民が問題意識を持って自ら主体的に考えてアイデアを出すことで合意形成に至るように進めることが重要である。

**②施設計画上の工夫****●安全性の確保**

児童生徒及び園児や学校関係者だけでなく不特定多数の地域住民が利用することから、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにするとともに、地域住民も安心して利用できるように、ハード・ソフトの両面から安全性を確保するための対応策を検討することが必要である。

**●互いの施設の活動への支障の緩和**

学校施設と他の公共施設等が併設していることで、児童生徒及び園児と他の施設利用者との導線の交錯や、互いの音などにより、学校の教育活動や他の公共施設等の活動に支障を及ぼす可能性があることから、各施設の配置や導線、防音性の確保といった施設計画上の対策を図るとともに、互いの施設における利用方法や利用時間等のルールや活動内容について情報を共有して、その対応について検討することが必要である。

**●施設の管理区分や会計区分の検討**

各施設間の相互利用・共同利用が活発となることから、学校施設と他の公共施設等の専用部分と共同利用部分の管理区分や、施設利用料や光熱水費等の会計区分等の明確化や一元化の可否等について検討することが必要である。



(3) 複合化の事例

■施設機能の共有化による学校施設の高機能化・多機能化の事例



右：音楽ホールを含む区立文化センター等との複合化（品川区立第一日野小学校）  
中央：児童書コーナーを広く設けた市立図書館等との複合化（志木市立志木小学校）  
左：競技用のバスケットボールコートを2面有する体育施設との複合化（かほく市立宇ノ気中学校）

■地域における生涯学習やコミュニティ拠点の形成の事例



右：幅広い年代に利用されている文化センターのプラネタリウム（品川区立第一日野小学校）  
中央：地域の生涯教育・交流活動の拠点となるホール（南砺市立利賀小中学校）  
左：小・特別支援学校、発達支援センターが併設する地域特別支援教育施設（十日町市立十日町小学校）

**検討③：学校統廃合**（参考4・5を参照）

学校統廃合については、今後の児童・生徒・園児数の動向を見極めながら、適正な学校規模や学級数、学区の見直し、通学距離の課題等の地理的要因や地域事情等、多岐にわたる検討が必要です。地域住民や保護者等の合意形成を図りながら、今後の学校施設の適正規模・適正配置のあり方について検討を進めていきます。

また、既に廃校になり、まだ利用しても安全性等の問題がない学校施設については、廃校活用事例等を参考に有効な活用方法を検討します。

（参考4）学校統廃合について

学校統廃合については、先述の基本方針として、「当面は現在の規模・配置を維持する」としてあります。ただし、今後の児童・生徒・園児数の動向（児童・生徒数の推計では、今後も下落傾向が予想される）を見極めながら、教育上の課題、学校施設が持つ地域での役割、地理的要因等といった様々な課題に対してひとつひとつ丁寧な検討を重ね、本市の学校施設の適正規模・適正配置として最も望ましい方針を導き出す必要があります。

その際、児童生徒及び園児の保護者や就学前の子供の保護者の方の声を重視し、地域住民の方々と教育上の課題やまちづくりも含めた将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながら検討を進めることが大切になります。

（1）望ましい学級数の考え方

○小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編制したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上（12学級以上）あることが望ましいと考えられます。

○中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編制を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいと考えられます。

引用：「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（平成27年1月、文部科学省）

併せて、「神栖市学校適正規模適正配置基本計画（改訂版）」では、小学校はクラス替が可能な各学年2学級以上となる概ね12学級以上、中学校はクラス替及び全ての教科の担任が配置可能な概ね9学級以上と定められています。

本市の実状（令和元年5月1日現在）をみると、小学校は、柳川小学校で6学級のほか、計5校で本市の標準の12学級を下回っています。中学校は、波崎第二中学校の6学級のほか、半数の計4校で本市の標準の9学級を下回っています。

ただし、望ましい学級数の考え方については、学校教育法施行規則第41条において「地域の実態その他により特別な事情のあるときは、この限りでない」とされています。

## (2) 学校規模の標準を下回る場合の対応の目安

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」において、学校規模の標準を下回る場合の対応の目安については、以下のように示されています。

## ○小学校の場合【1～5学級：複式学級が存在する規模】

おおむね、複式学級が存在する学校規模。学校全体の児童数や指導方法等にもよるが、一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や代替策を積極的に検討・実施する必要がある。

## ○中学校の場合【3学級：クラス替えができない規模】

おおむね、複式学級はないがクラス替えができない学校規模。一般に教育上の課題があるが、学校全体及び各学年の生徒数に地域による差があり、生徒数が少ない場合は特に課題が大きい。このため、生徒数の状況や、更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や代替策を積極的に検討・実施する必要がある。

## (3) 小規模校のメリット

また、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」においては、学校統廃合を選択しない場合の小規模校としての良さについて、以下のように記載しています。

- ①一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
- ②意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ③様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
- ④複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる。
- ⑤運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える。
- ⑥教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば、ICT 機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である。
- ⑦異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。
- ⑧地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ⑨児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な児童生徒の指導ができる。





(参考5) 廃校活用事例について

公立学校は、少子化等を背景として過去10年間で2,000校以上が廃校になっています。各自治体では、その廃校になった学校施設を有効に活用しようという取り組みが行われており、運営主体は、地方公共団体、民間企業、NPO・公益法人と様々ですが、地域の活性化や都市と農村漁村との交流促進、創業の支援などを担う施設として生まれ変わっています。

■老人介護支援センター・コミュニティ施設への活用事例

<p><b>17. ケアコミュニティ 原宿の丘</b> <span style="float: right;">東京都 渋谷区</span></p> <p>●都市部における公共サービスへのニーズに対応し、老人介護支援施設として活用</p> <p><b>概要</b> 用途：老人介護支援センター・コミュニティ施設 廃校理由：都市化による人口減少 廃校年：平成9年 旧学校名：原宿中学校</p> <p><b>建物</b> 構造：鉄筋コンクリート 地上3階建て 建築面積：1,102平方メートル 延床面積：3,592平方メートル</p> <p><b>財源</b> 整備：区の一般財源および老人福祉施設等施設整備費補助金 運営維持管理：区の一般財源</p> <p><b>運営主体</b> 名称：渋谷区サービス公社 形態：委託</p> <p><b>運営状況</b> 主な利用者：行政区内の住民 利用者数：23,561人/年</p> <p><b>調査担当者のコメント</b> ●周辺は古くからある下町風の住宅街であるが、住民からの強い要望で、もとの学校の外観を極力残すよう配慮している。 ●屋上のプールをビオトープとして活用しているのがユニークである。</p> <p><b>管理者から一言</b> ●福祉施設、コミュニティ施設として地域に浸透している。</p>	<p>○ディールームの様子</p>  <p>○内部の様子</p>  <p>○屋上のプールは、ビオトープとして使用</p>  <p>○給食室を厨房に転用</p>  <p>○内部は、老人介護支援施設として、大幅に改修(パンフレットより抜粋)</p> 
--	---

■社会教育施設への活用事例

<p><b>13. もりや学びの星</b> <span style="float: right;">茨城県 守谷市</span></p> <p>●市民を対象とした社会教育施設とともに、アート・イン・レジデンスの拠点として活用</p> <p><b>概要</b> 用途：社会教育施設 廃校理由：別敷地移転 廃校年：平成7年 旧学校名：大井沢小学校</p> <p><b>建物</b> 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 建築面積：1,207.84平方メートル 延床面積：3,367.82平方メートル</p> <p><b>財源</b> 整備：守谷市一般財源 運営維持管理：守谷市一般財源</p> <p><b>運営主体</b> 名称：守谷市 形態：地方公共団体</p> <p><b>運営状況</b> 主な利用者：市内の在住及び在勤在学者 利用者数：32,500人/年</p> <p><b>調査担当者のコメント</b> ●本施設は廃校活用之際し、検討委員会によって住民ニーズを十分把握した上で施設内容を計画したため、住民のニーズに合致した施設となっている。 ●アーカスプロジェクトと称する、世界各国からアーティストを招き、本施設で創作活動を行う、アートを中心とした事業を推進している。</p> <p><b>管理者から一言</b> ●パーベキュー施設、運動広場(キャンプサイト)、体育館等の施設を備えていることで青少年関係や地域グループの観望会、レクリエーション等の多様な利用ができます。</p>	<p>○施設の外観</p>  <p>○教室空間を展示室や研究室として活用</p>   <p>○建物全体を多目的に活用し、多くの利用者を得ている(パンフレットより抜粋)</p> 
--	---

引用：「廃校リニューアル50選」(平成15年4月 文部科学省「廃校施設の実態及び有効活用状況等調査研究委員会」)

3) 施設種別毎の学校規模・適正配置の方針の方向性

学校施設の種別毎に上位計画の確認や現状と課題の整理を踏まえた、学校規模・適正配置方針の方向性について、下表に示します。

表 4-1 施設種別毎の学校規模・適正配置の方針の方向性

施設種別	① 上位計画の確認	② 現状と課題の整理	③ 方針の方向性
小学校 中学校 幼稚園	○「神栖市公共施設等総合管理計画」及び「神栖市学校適正規模・適正配置基本計画」の方針に基づき、今後の統廃合の方針を検討する。	○ 児童・生徒数は減少傾向である。 ○ 学級数は小・中共に減少傾向である。 ○ 増減傾向に地域的な格差が見られる。	● 当面は現状を維持する。 ● 適正規模を踏まえた上で、児童・生徒数が減っている学校、余裕教室がある学校については減築、複合化を検討する。 ● 児童・生徒数が減っている地域については、今後地域と協議しながら学校の在り方について検討する。
		○ 園児数・学級数は減少傾向である。 ○ 増減傾向に地域的な格差が見られる。 ○ 社会的に認定こども園化が進んでいる。	● 当面は現状を維持する。 ● 適正規模を踏まえた上で、園児数が減っている幼稚園、余裕教室がある幼稚園については減築、複合化を検討する。 ● 社会情勢を踏まえ認定こども園化を念頭に入れ、今後地域と協議しながら幼稚園の在り方について検討する。
教職員住宅	○「神栖市公共施設等総合管理計画」に基づき、今後の統廃合を検討する。	○ 老朽化が激しい。 ○ 入居率は低下傾向にある。 ○ 入居人がいるため内装、外装含め大規模改修が出来ていない状況にある。	● 今後新たに教職員住宅を整備する必要性は低いと考えられる。 ● 現施設をできる限り使用し、改築（建替え）の必要な時期（おおよそ60年）が到来した時点で、更新せず取壊し、借地はすべて返還する。 ● 第二泉荘は、建物劣化がひどく、新たな入居者がほほいない状況のため、入居者がいなくなった段階で閉鎖する。
その他	○「神栖市公共施設等総合管理計画」に基づき、今後の統廃合を検討する。	○ 旧矢田部小学校は平成30年3月に閉鎖している。 ○ 旧植松幼稚園は、耐震性を満たしていない。 ○ 旧清水住宅は、老朽化が進んでいるほか、耐震性能が不明である。	● 旧矢田部小学校は、閉鎖したばかりであるため、今後地域と協議しながら使用用途を検討し利活用を図る。 ● 旧植松幼稚園は、倒壊の危険性があるため早急に撤去する。 ● 旧清水住宅は、現在、登校支援教室が使用しているが、代替施設に移った段階で閉鎖する。

## 4.2 改修等の基本的な方針

### 1) 予防保全による長寿命化の方針

児童生徒及び園児の安全で安心かつ快適な教育環境を確保するためには、学校施設を常に健全な状態に保つ必要があります。そのため、定期的な点検の実施や、施設の老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕・改修を行うことが重要です。

これまでの建替えや機能回復中心の事後保全型の維持管理から、機能回復や機能向上を図る予防保全型の修繕・改修に切替えることにより、建物の長寿命化（延命化）を図ります。これにより、長期にわたり修繕・改修コストを縮減し、安全で安心な学校施設の運営を推進していきます。

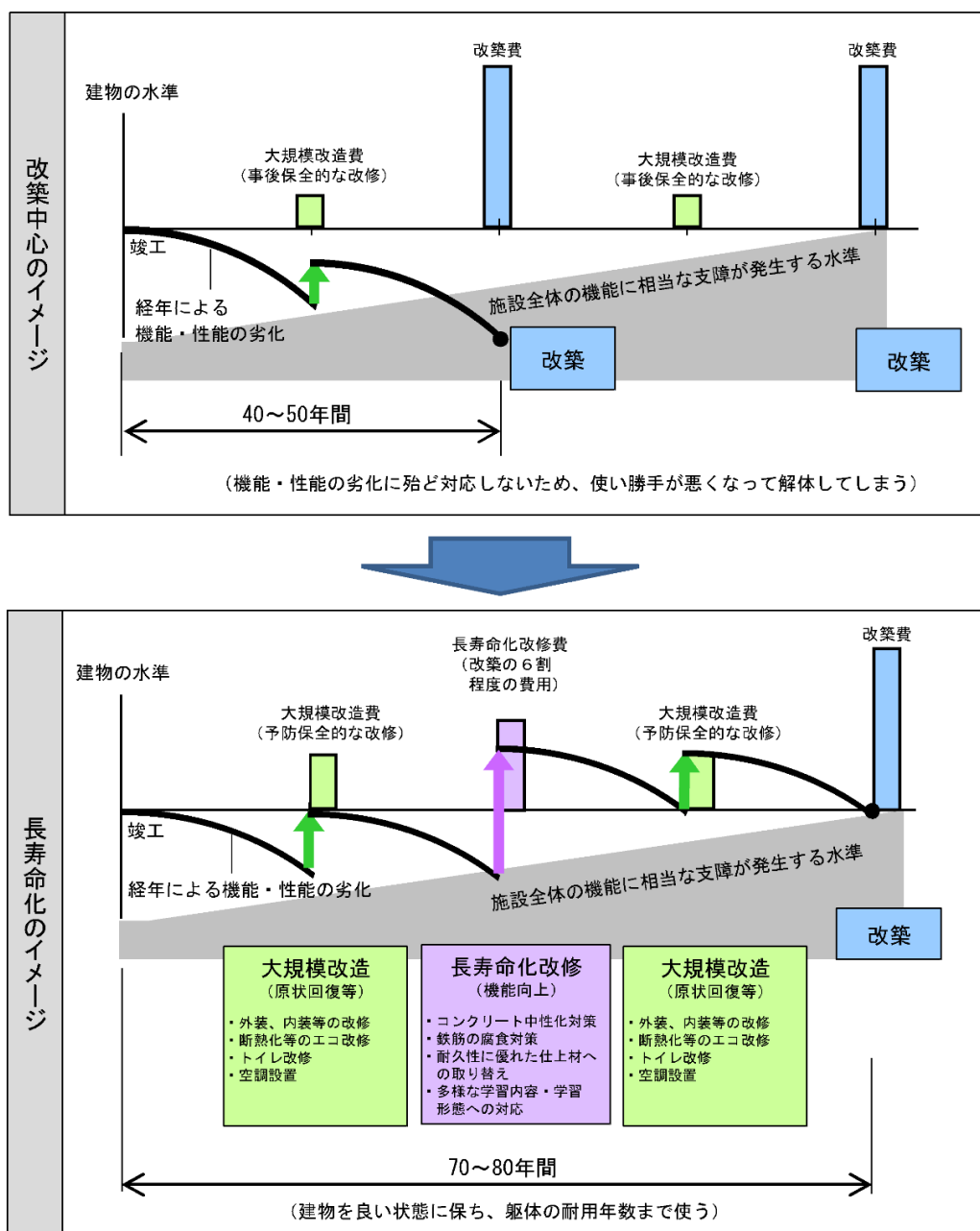


図 4-3 改築中心から長寿命化への転換及び修繕・改築周期のイメージ


引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月、文部科学省）

2) 目標使用年数、改修周期の設定

(1) 目標使用年数

建物の耐用年数には、次の4つの考え方があり、修繕等を繰り返すことにより、安全性が確保できなくなるまで使い続けることのできる「物理的耐用年数」が最も長いものとされています。

表 4-2 耐用年数の考え方

耐用年数の呼称	概要	長 短
物理的耐用年数	建物躯体や構成材が物理的あるいは化学的原因により劣化し、要求される限界性能までの年数	長い  短い
経済的耐用年数	継続使用するための補修・修繕費その他の費用が、改築または更新する費用を上回る年数	
法定耐用年数	・固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた年数 ・公営住宅法に基づく耐用年数 ・都市再開発法に基づく耐用年数	
機能的耐用年数	使用目的が当初の計画から変わったり、建築技術の革新や社会的要求の向上に対して陳腐化する年数	

本計画では、躯体構造別の耐用年数を下表の考え方に基づき、60年と設定します。なお、文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトでは、構造部材により区分して耐用年数を設定することに対応していないため、本計画では構造部材によらず一律の更新（建替え）周期として試算します。そのため、鉄骨造、木造についても鉄筋コンクリート造と同様に扱うものとし、耐用年数を60年に設定します。

表 4-3 躯体構造別の標準使用年数

構造	耐用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造、 鉄筋コンクリート造	60年

構造	構造名称	1. 建築物の耐久計画	2. 建築工事標準仕様書	3. 減価償却	4. 学校施設財産処分	5. 公営住宅法	6. 都市再開発法	左記設定期間の幅
SRC RC	鉄骨鉄筋コンクリート造、 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造、一部木造を含む）	60年	65年	47年	60年	耐火70年	50年	47～70年
PC	プレキャストコンクリート造							
S	鉄骨造（一部木造を含む）			34年	40年	準耐火45年	38年	34～45年

- 引用：1.建築物の耐久計画：「建築物の耐久計画に関する考え方」（1988年10月、日本建築学会）  
 2.建築工事標準仕様書：「建築工事標準仕様書」（JASS5鉄筋コンクリート工事2009年、日本建築学会）  
 3.減価償却：「減価償却資産の耐用年数に関する省令（の学校用）」（改正：平成30年3月31日、財務省）  
 4.学校施設財産処分：「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」（平成25年3月、文部科学省）  
 5.公営住宅法：「公営住宅法施行令」（改正：平成29年12月22日、政令第319号）  
 6.都市再開発法：「都市再開発法施行令」（改正：平成30年6月6日、政令第183号）

鉄筋コンクリート造の耐用年数は、適切な維持管理がされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には、70年～100年程度の長寿命化が可能であるとされています。

これらを踏まえ、本市の学校施設で長寿命化を図る施設については、70年～100年の中間値を採用し、建築後85年まで使用することとします。

表 4-4 学校施設の目標使用年数

標準	長寿命化
60年	85年

(参考) 目標使用年数の設定

**○目標使用年数の設定**

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっている<sup>8</sup>が、これは税務上、減価償却費を算定するためのものである。物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能である<sup>9</sup>。

これを踏まえ、「(3) ②学校施設の老朽化状況の実態」における構造躯体の健全性の評価結果等に基づき、学校施設の目標使用年数を設定する。

<sup>8</sup> 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)において建物の構造・用途別に定められている。

<sup>9</sup> 建築物全体の望ましい目標使用年数として、鉄筋コンクリート造学校の場合、普通品質で50～80年、高品質の場合は80～120年とされている(「建築物の耐久計画に関する考え方」社団法人日本建築学会, 昭和63年)。

引用:「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引(P.26)」(平成27年4月、文部科学省)



(2) 長寿命化改修の周期の設定

長寿命化改修の周期は、建築後 50 年とし、部位・設備の修繕・更新周期に基づいた計画的な修繕・更新等を実施し、目標使用年数 85 年まで使用します。その際、通常建築後 75 年目に実施されることになる 2 回目の大規模改造は、改築前 10 年間に重なるため実施せず、コスト面を考慮し、改築まで持ち越すこととします。

建築後 40 年を経過していない建物については、改修周期を下図に示します。

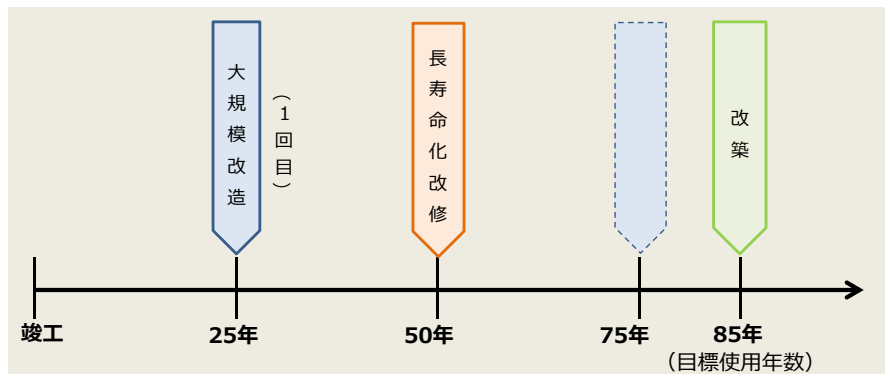


図 4-4 建築後 50 年を経過していない建物を想定した改修周期

建築後 50 年を経過している建物については、次図のように、改築までの期間を見据えて 2 回目の大規模改造は行わず、長寿命化改修の周期をずらして行うことが考えられます。

ただし、改修が集中してしまう年度が生じる場合や耐用年数を既に経過している建物も存在することから、学校施設の整備優先度や事業費の平準化等を考慮して、下図のように改修時期を、ある程度の実施猶予を与え、対処することが考えられます。

文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトでは、建築年数で区分して長寿命化改修や大規模改造の周期の設定を変更することに対応していないため、本計画では建築年数によらず一律で「建築後 50 年を経過していない建物を想定した改修周期」で試算しています。(ただし、建築後 50 年を経過している建物は、積み残し処理として、基準年の翌年から 10 年間で積算する試算となります。)

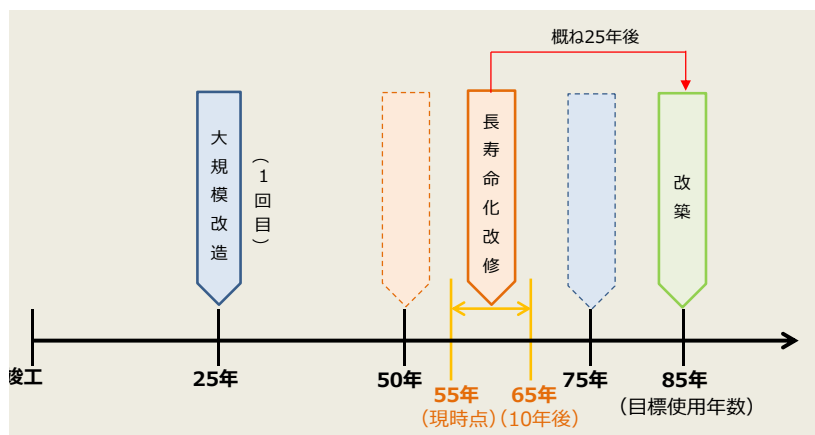


図 4-5 建築後 50 年を経過している建物を想定した改修周期  
(上図は築 55 年の建物を改修期間や費用の平準化を考慮した場合の例)

## 第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### 5.1 改修等の整備水準

#### 1) 改修等の実施に際しての留意点等

改修の実施にあたっては、躯体の経年劣化箇所の修復や設備の更新等といった建築物の建築当初の水準に戻すだけでなく、省エネ化や学習環境の向上など、現在の社会的ニーズに対応するために基本的性能の向上を図ります。

表 5-1 学校施設に求められる基本的性能

種類	概要
安全性	防災性・防犯対策、事故防止対策
機能性	設備(エアコンの設置等)、ICT設備、ユニバーサルデザイン
環境保全性	環境負荷低減性(LEDの設置等)、周辺環境保全性
社会性	地域コミュニティの拠点機能

表 5-2 部位別の標準水準

種類	概要
屋根・屋上、外壁	防水性能が劣化し、漏水することで構造躯体が劣化するため、耐久性に優れた素材を採用します。
内装、設備	劣化による改修、修繕や用途変更が生じて、容易に対処できるように標準品・汎用品を使用します。
バリアフリー	スロープ、多目的トイレやエレベーター等のバリアフリーに配慮した設備を設置します。
省エネルギー	LED照明、高断熱・高气密化等の省エネルギー化に対応した設備を設置します。

長寿命化については、長寿命化に資する性能を備えた部材及び設備の積極的な採用を行います。

表 5-3 長寿命化設計の重点事項

種類	概要
耐久性	各部材について費用対効果が最適、かつ、耐久性の高い材料を採用します。
メンテナンス性	清掃や点検、修繕等の維持管理業務を効率的に実施可能な設計とします。
省エネルギー性	自然エネルギーの活用や環境負荷の低減など、省エネルギー対応の設計とします。

2) 建物用途別の整備水準

整備水準の基本的な考え方として、高耐久な建材・工法を用いて建物の長寿命化を図るとともに、CO<sub>2</sub> の削減やランニングコストの低減に配慮した省エネルギー効果の高い設備機器を選定するなど、環境配慮型の整備を目標とします。

本計画における長寿命化改修、大規模改造の整備水準、その他施設整備に合わせて検討する項目を下表に示します。ただし、これらの整備水準は、標準的な考え方を示すものであり、改修仕様・範囲とも各学校施設の老朽化状況に応じて整備前に改めて検討を行うこととします。

表 5-4 校舎・園舎の施設整備水準

部位・設備		現状	長寿命化改修		大規模改造	
		仕様	仕様	整備割合	仕様	整備割合
躯体		コンクリート	躯体保護対策	100	現状のまま	0
屋根・屋上		シート防水	下地撤去のうえ、シート防水(断熱仕様)	100	下地撤去のうえ、シート防水(断熱仕様)	100
外壁	外壁	モルタル+吹付けタイル	クラック補修のうえ、外壁再塗装(複層塗材)	100	クラック補修のうえ、外壁再塗装(複層塗材)	100
	外部建具(ガラス)	アルミサッシシングルガラス	撤去・更新	100	サッシ交換(カバー工法、複層ガラス)	50
	外部金物	アルミ製手摺 スチール製設備架台	手摺の撤去・更新 設備架台の再塗装	100	劣化部補修 再塗装	100
内部仕上	内装(天井)	化粧石膏ボード	撤去・更新	100	劣化部補修	50
	内装(壁)	石膏ボード+クロス モルタル+塗装	撤去・更新 (外壁面は内断熱)	100	劣化部補修 再塗装	50
	内装(床)	フローリングブロック ビニル床シート	撤去・更新 (フローリング・ビニル床材)	100	床補修(フローリング) 部分補修(ビニル床材)	50
	内部建具	木製建具 軽量鋼製建具	撤去・更新	100	劣化部補修 再塗装・部材交換	50
	ユニット	造作家具 可動間仕切り	撤去・更新	100	劣化部補修 再塗装・部材交換	50
電気設備		—	撤去・更新 (省エネ機器採用)	100	劣化部補修 部材交換	25
機械設備	給排水設備	—	撤去・更新 (省エネ機器採用)	100	劣化部補修 部材交換	25
	空調設備	—	撤去・更新 (省エネ機器採用)	100	劣化部補修 部材交換	25

※整備割合は、改修範囲の割合(100であれば全面、50であれば半分程度)を示します。

表 5-5 体育館・武道場の施設整備水準

部位・設備		現状	長寿命化改修		大規模改造	
		仕様	仕様	整備割合	仕様	整備割合
躯体		鉄骨	躯体保護対策	100	現状のまま	0
屋根・屋上		金属屋根	金属屋根葺き替え (断熱仕様)	100	金属屋根再塗装	100
外壁	外壁	ALC+モルタル +吹付けタイル	外壁再塗装 (複層塗材)	100	外壁再塗装 (複層塗材)	100
	外部建具 (ガラス)	アルミサッシ シングルガラス	撤去・更新	100	サッシ交換 (カバー工法、複層ガラス)	50
	外部金物	—	—	0	—	0
内部仕上	内装 (天井)	直天井	鉄骨再塗装	100	鉄骨再塗装	50
	内装 (壁)	木板貼り 石膏ボード+塗装	撤去・更新 (外壁面は内断熱)	100	劣化部補修 再塗装	50
	内装 (床)	ジムフローリング 畳	撤去・更新 (鋼製束とも)	100	劣化部補修	50
	内部建具	木製建具 鋼製建具	撤去・更新	100	劣化部補修 再塗装・部材交換	50
	ユニット	体育器具	再塗装	100	再塗装	50
電気設備		—	撤去・更新 (省エネ機器採用)	100	劣化部補修 部材交換	25
機械設備	給排水設備	—	撤去・更新 (省エネ機器採用)	100	劣化部補修 部材交換	25
	空調設備	—	撤去・更新 (省エネ機器採用)	100	劣化部補修 部材交換	25

※整備割合は、改修範囲の割合（100 であれば全面、50 であれば半分程度）を示します。

表 5-6 その他の施設整備に合わせて検討する項目

校舎・園舎	質的整備	学習の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学習への展開を考慮した小教室としても利用できる教室の整備</li> <li>・普通教室、特別教室にICT教材を使用するための情報設備の整備</li> </ul>
		生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内装の木質化</li> <li>・ウエット式トイレのドライ化</li> </ul>
	防犯・防災	防犯対策(敷地全体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正門等の敷地出入口や教職員の目の届きにくい場所に防犯カメラを設置</li> <li>・敷地内外の領域が不明確な部分は、フェンス改修等により領域を明確化</li> </ul>
		防災機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時でも給水設備や照明等が利用できるよう非常用発電設備等の整備</li> <li>・避難所利用を想定したトイレ等の衛生環境の充実</li> </ul>
		非構造部材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天吊式の照明やプロジェクター、壁掛け式スピーカー等の落下防止対策</li> <li>・地震等によりガラスが割れて飛散しないようフィルム貼りをするなど、二次被害の拡大防止対策</li> </ul>
	バリアフリー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの導入など、誰もが利用しやすい施設への整備(多目的トイレの整備、エレベーターの整備)</li> </ul>
	エコ改修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーを導入した環境配慮対策やエコマテリアルの積極利用</li> <li>・メンテナンス性の向上や高耐久な建材を使用し、長寿命化を図る。</li> </ul>
体育館・武道場	整質的整備	学習の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育活動はもとより、学校開放時にも利用しやすい施設としての整備</li> </ul>
		生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエット式トイレのドライ化</li> </ul>
	防犯・防災	防災機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所利用を想定したトイレ等の衛生環境の充実</li> </ul>
		非構造部材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天吊式の照明や壁掛け式スピーカー等の放送機器、体育館のバスケットゴール等の落下防止対策</li> <li>・地震等によりガラスが割れて飛散しないようフィルム貼りをするなど、二次被害の拡大防止対策</li> </ul>
	バリアフリー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの導入など、だれもが利用しやすい施設への整備(多目的トイレの整備)</li> </ul>
	エコ改修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーを導入した環境配慮対策やエコマテリアルの積極利用</li> <li>・メンテナンス性の向上や高耐久な建材を使用し、長寿命化を図る。</li> </ul>

3) 対象外施設の整備水準

本計画の対象外の学校施設については、劣化状況等を踏まえ、下表に示すような整備水準に基づき検討していきます。

表5-7 グラウンド等、プールの施設整備水準

施設	仕様
グラウンド等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装(クレイ系・芝生・人工芝等)の健全度向上</li> <li>・附帯施設(フェンス・外周壁等)の健全度向上</li> <li>・附帯設備(照明・散水・排水等の設備)の健全度向上</li> <li>・熱中症対策設備(屋根・ひさし・木陰等)の設置</li> </ul>
プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附帯設備(トイレ, シャワー, 更衣室等)の整備</li> <li>・安全管理(飛び込み, 溺水・排水口吸込事故防止等)</li> </ul>

引用：「スポーツ施設のストック適正化 ガイドライン」(平成30年3月、スポーツ庁)

(参考) 神栖市におけるグラウンド、プールの改修事例

■神栖第一中学校のグラウンド改修事例(グラウンド舗装、側溝の整備、付属設備の更新等)



■波崎小学校のプール改修事例(プール水槽の塗装、付属設備の更新等)

(左：改修前、右：改修後)



4) 長寿命化改修の工事の進め方

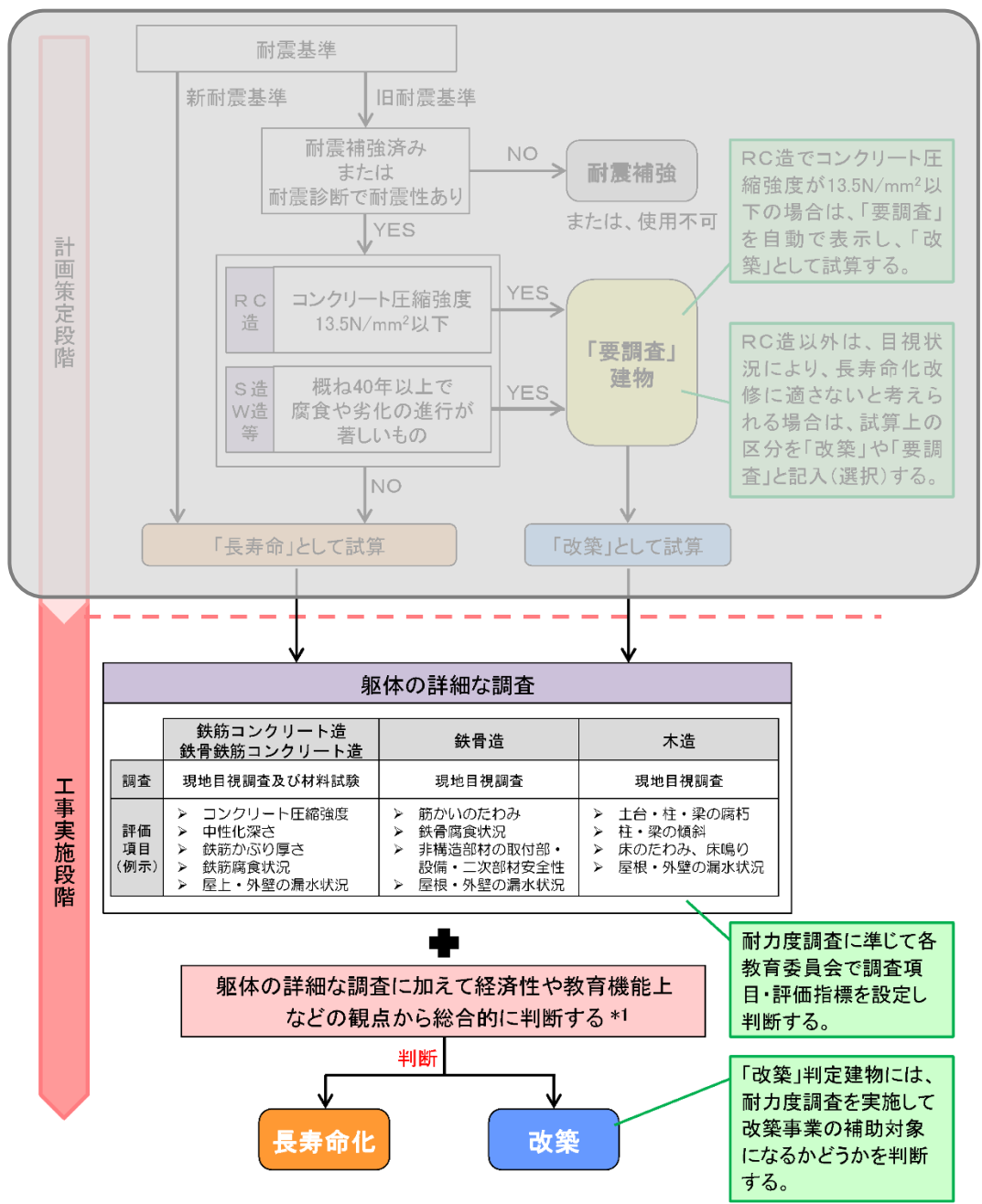
(1) 工事までの流れ

長寿命化改修工事はおおよそ5～6年間の長期にわたり、調査から設計、工事を行います。基本的な大まかな流れは下図のとおりとなります。



図5-1 長寿命化改修の工事の進め方（フロー）

また、下図に示されるように対象施設の工事实施段階において、躯体の詳細調査、経済性、教育機能等の観点から、総合的に長寿命化または改築等の整備方法を判断する必要があります。



\*1 例えば、時を重ねて活用され続けた木造建物等は、それ自体が文化財的価値を有することも多く、改築に際しては、こうした観点からの検討も別途行う必要がある。

図5-2 長寿命化の判定フロー

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月、文部科学省）



(2) 工事の実施方法

本市ではこれまで校舎棟の大規模改造工事を1棟単年度で完了するように実施してきましたが、長寿命化改修工事では工種や工事範囲も多くなるため1棟を2年間で行うことが通常です。児童生徒及び園児の授業・生活環境への影響を考慮して出来るだけ短期間で完了することを目指しますが、複数年度かかる場合も含めて工事の実施方法を以下に整理します。

【1棟単年度工事の工事計画について】

基本条件

- ・改修工事は、夏休み期間のほか、授業実施期間中を含めて工期分けによる居ながら工事（既存の建物の機能を停止せずに利用者が建物を使いながら実施する工事）を基本とし、工事期間中に仮設校舎は設けない。
- ・校舎棟は、規模を考慮した上で可能な限り1つの事業にまとめて一度に改修工事を実施する。
- ・教育環境への影響も踏まえ、可能な限り工事期間を短縮するものとし、校舎棟が複数ある場合でも2か年度で校舎棟全体の改修工事が完了する計画とする。
- ・改修工事に際して机・椅子・棚等の備品の仮置場を確保する必要があるが、仮設倉庫は設けず既存校舎内で置場を確保する。（体育館は、避難場所となるため置場として使用しない）

基本工程の検討

長寿命化改修は、工種が多く、また、工事前の準備期間や設備機器等の製作期間も考慮しなければならないため、1棟を3期に分けて工事を行います。特別教室での授業は普通教室でも実施可能ですが、普通教室が使えなくなると授業の実施が難しくなるため普通教室は夏休み期間に集中的に工事を行い、特別教室等はその他の期間に工事を行うこととします。

夏休み期間に行う普通教室の改修をⅠ期工事とし、夏休み以降にⅡ期工事、Ⅲ期工事を行う事とします。また、フロア単位で工期を分けると水廻りがある特別教室等はスラブ下（下階の天井内）の配管改修が行えないため、縦割りに工期を分けることとします。

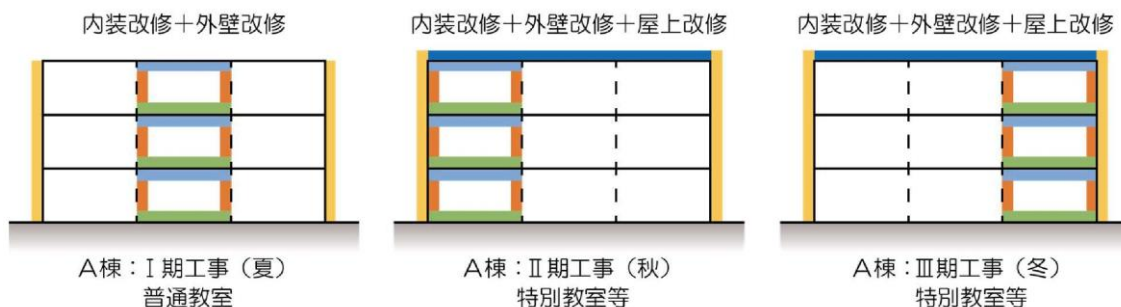


図 5-3 単年度工事での改修イメージ

基本工程の検討より、屋上（屋根）改修・外壁改修等を加えた改修工事内容は、下表の通りです。

表 5-8 単年度工事での改修内容の例

	I 期（普通教室）	II 期（特別教室等）	III 期（特別教室等）
工事内容	内装工事	内装工事	内装工事
	建具改修工事	建具改修工事	建具改修工事
	外壁改修工事	外壁改修工事	外壁改修工事
	電気設備改修工事	電気設備改修工事	電気設備改修工事
	機械設備改修工事	機械設備改修工事	機械設備改修工事
		屋上防水改修	

**備品置場の検討**

工事範囲を3つに分けるにあたり、工事を行っていない残りの範囲で工事実施中の教室の代替としなければならないため、備品置き場は工事を実施している工区内で確保することとします。

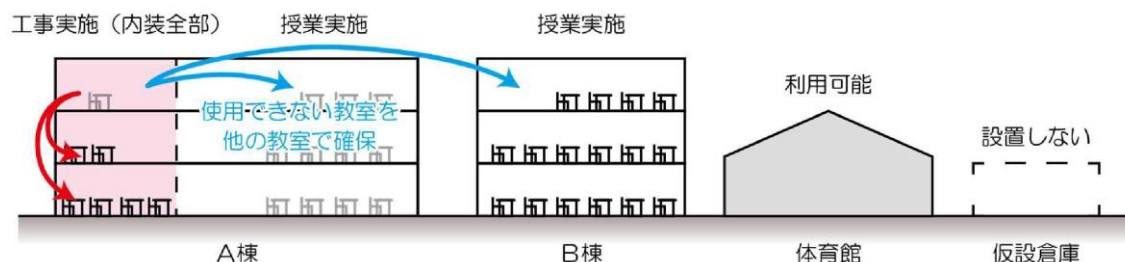


図5-4 単年度工事での備品置場例

**【1棟2か年度工事の工事計画について】**

**基本条件**

- 改修工事は、夏休み期間を中心とした、居ながら工事を基本とし、仮設校舎は設けない。
- 長寿命化改修は、工種・工事範囲が多いため2か年度工事を基本とし、大規模改造は単年度工事を基本とする。
- 校舎棟は、規模を考慮した上で可能な限り1つの事業にまとめて一度に改修工事を実施する。
- 教育環境への影響も踏まえ、可能な限り工事期間を短縮するものとし、校舎棟が複数ある場合でも3か年度で校舎棟全体の改修工事が完了する計画とする。
- 改修工事に際して机・椅子・棚等の備品の仮置場を確保する必要があるが、仮設倉庫は設けず既存校舎内で置場を確保する。（体育館は、避難場所となるため置場として使用しない）

**基本工程の検討**

屋根・屋上、外壁については、夏休み以降も工事が可能と考えますが、内装工事は、約5週間で工事を完了する必要があります。内装改修の部位を分けると『天井改修と壁改修』または『床改修と壁改修』は同時期に実施できますが、上下作業となるため『床改修と天井改修』は、同時には出来ません。

長寿命化改修ではさらに躯体改修（コンクリートの中性化対策等）が必要になることも踏まえて『天井改修＋壁改修』を1年目、『床改修』を2年目に実施することとします。

\*コンクリートの中性化対策：コンクリート内のアルカリ性が失われない様に躯体の表面を被覆したり、アルカリ性溶液を塗布することでコンクリートの中性化による劣化や耐腐食性の劣化を防ぐこと。

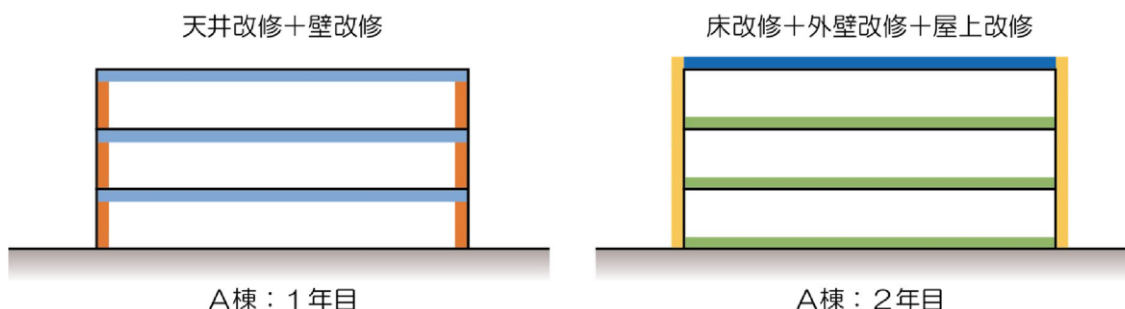


図 5-5 2か年度工事での内装改修イメージ

基本工程の検討より、屋上（屋根）改修・外壁改修等を加えた改修内容は、下表の通りとなります。

表 5-9 2か年度工事での改修内容の例

	1年目工事	2年目工事
工事内容	内装工事：天井・壁	内装改修工事：床
	建具改修工事：内部建具	建具改修工事：外部建具（カバー工法）
	電気設備改修工事	外壁改修工事
	機械設備改修工事	屋上（屋根）防水改修工事

**備品置場の検討**

3か年度で工事を完了する計画では、『1～2年目にA棟の改修工事』、『2～3年目にB棟の改修工事』のようになります。1年目、3年目は改修工事を実施していない棟が備品置場となりますが、2年目はどちらも改修工事を実施しているため、余裕教室を備品置場とする必要があります。

普通教室については、6教室分を1教室に集約可能と想定されます。そのほか特別教室等の備品置場で2教室、職員室の移転先で1教室分必要と仮定すると、学校規模にもよりますが、2年目の工事を実施するには余裕教室が4～6教室程度必要となります。



図 5-6 2か年度工事での備品置場例 (建物単位)

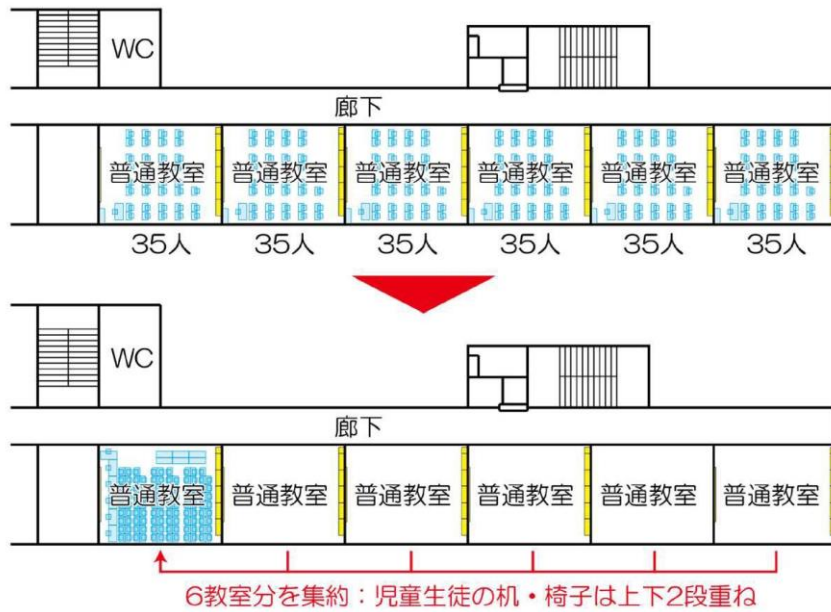


図 5-7 2か年度工事での備品置場例 (教室単位)

(3) 整備内容の見直し

改修等の工事に掛かる費用は、設計段階で整備内容を見直すことにより、性能を極端に落とさない形で費用削減に努めることが可能であり、方法として、以下のような例が挙げられます。

- 屋根材は、補修と塗装により改善できる場合は、ふき替えない。
- 設備配管、配線、照明器具等を再利用する。
- 天井は、補修と塗装のみとする。
- 既存利用できる家具やロッカー等は、補修等により運用する。
- 調整程度で改善可能な建具は、取替えない。
- 工期分散により仮設校舎を使用しない。
- 使用材料を変更する。

5) 学校施設の整備事例

(1) エコ設備の事例



左：太陽光の入射角が制限され室温上昇を抑制するルーバーの設置（神奈川県南足柄市立福沢小学校）  
 右：地元産材を多く利用し、やすらぎやぬくもりが感じられる廊下（愛知県豊田市立寺部小学校）  
 引用：「エコスクールー環境を考慮した学校施設の整備推進ー」（平成 29 年 6 月、文部科学省他）

(2) バリアフリー・ユニバーサルデザインの事例



左上：昇降口の段差を解消し、移動を円滑化  
 左下：多機能トイレの整備  
 右：分かりやすい案内表示の設置  
 引用：「近年の災害から学ぶ避難所となる学校施設について～バリアフリー化の取組事例集～」  
 （平成 30 年 3 月、文部科学省）

(3) 安全を確保しつつ自発的な遊びを誘発する施設整備の事例（横浜市港北幼稚園）



左：中庭を中心に各棟をつなぐテラスはゴムチップ舗装で、幼児たちは思い切り駆け回ることができる。  
中央：遊戯棟の壁に配置された塔状の遊具と、そこからつながる空中ブリッジ  
右：空中ブリッジの床は半透明で冒険心をくすぐる。

引用：「これからの幼稚園施設」（令和元年6月、文部科学省）

6) 学校施設優良部品事例

引用：「学校施設優良部品推奨事業（2019年度）」（社）文教施設協会

■折りたたみ式シースルーウォール

（広い空間を多目的に利用するため、簡単操作で空間を仕切ることが出来る。）



■換気機器

（建屋から排熱に自然の力を利用することで、換気のために動力を必要としない。）



## 5.2 維持管理項目の手法等

### 1) 予防保全型の維持管理による日常的・定期的な点検の実施

学校施設をできる限り長く、安全で良好な状態で使用するため、今後は、従来のような不具合が生じた後に、修繕・更新を行う事後保全型の維持管理から、不具合を未然に防ぎ、劣化や損傷が顕在化する前の段階から予防的に対策等を実施することで、施設の延命化や突発的な不具合の防止を図る予防保全型の維持管理へ転換することが必要です。

予防保全型の維持管理では、日常的、定期的な施設点検を継続して実施することが重要になります。

日常的、定期的な点検により、建物の劣化状況を把握することで、故障や不具合の兆候を早期に発見することができるため、突発的な事故・故障が発生する可能性を低減でき、児童生徒及び園児の安心・安全が確保できるとともに、緊急対応に要する修繕や改修に要する支出を縮減することが可能となります。

表 5-10 各種点検実施表

点検種別	内容	調査者	周期	点検内容
法定点検 または 定期点検	建築基準法第12条に基づく点検	専門業者	3年	敷地、建築構造、建築仕上げ、防火区画、建築設備等の損傷、腐食その他の劣化状況
			1年	排気・排煙設備、非常用照明装置、給排水衛生設備、昇降機について、作動確認や劣化状況 ※昇降機については、月1回の自主点検が必要
	消防法第17条に基づく点検		1年	消火設備、警報設備、避難設備、非常用電源の作動確認や劣化状況の総合的な詳細点検
			6ヵ月	消火設備、警報設備、避難設備、非常用電源の外観確認や作動確認
	電気事業法第39条、第42条に基づく点検		1年	自家用電気工作物の受電・負荷設備について、詳細な作動確認や測定
			1ヵ月	自家用電気工作物の受電・負荷設備について、作動確認や測定
	構造躯体以外の劣化状況調査		3年 (建築基準法第12条に基づく点検とあわせて実施)	構造躯体以外の部位(屋根・屋上、外壁、内部仕上等)の劣化状況
神栖市職員による訪問点検	市職員	1年	施設の不具合箇所の確認	
日常点検	学校関係者による日常的な点検	教職員等	日常的	日常的な設備等の作動確認、不具合箇所箇所の確認



また、「劣化状況調査票」は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(文部科学省、平成29年3月)に基づき、使用していくことを基本とします。

また、情報の更新は、3年毎に行われる劣化状況調査時に実施することとします。

通し番号	5		
学校名	息栖小学校	学校番号	0971
建物名	普通・特別教室棟		調査日
棟番号	11	建築年度	平成25年度(2013年度)
構造種別	RC	延床面積	4,400㎡
		階数	地上 3階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			A
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフレを目視点検できない			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			A
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ( )			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			A
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ改修	H28		
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児等対策	H28	H25・H28バリアフリー改修	
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
4 電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 構造体の耐震対策	H25	2ヵ年継続事業(H24, H25)社会資本整備総合交付金(地震補強及び防災機能強化)	B
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)  
 2ヵ年継続事業(H24, H25)社会資本整備総合交付金(地震補強及び防災機能強化)  
 H26プール循環装置・床改修  
 H26仮設校舎建設、体育館耐震補強及び改修、H27・H28体育館耐震補強及び改修

健全度
94 / 100点

図5-8 劣化状況調査票の記入例

引用:「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(文部科学省、平成29年3月)

2) 学校施設カルテの整備

各学校施設からの不具合箇所の共有や各種点検における修繕や改修に必要な箇所等の情報を整理・記録するとともに、学校施設情報の一元化を図るため、「学校施設カルテ」を整備し、学校施設情報の共有化及び計画的な維持管理に向けて活用を図ります。

また、情報の更新は、劣化状況調査票と同様に3年毎に行われる劣化状況調査時を基本に、適宜実施することとします。

施設カルテ(現況用)①										施設カルテ(現況用)②									
学校施設番号 0971					基準日					学校施設番号 0971					基準日				
施設基本情報										建築物の状況									
施設名 鳥飼小学校										用途別区分									
所在地 神奈川平塚2780										普通教室棟 18.8/2009年度 管理・普通教室棟 20/2009年度 屋内運動場 21.8/2012年度 特別教室棟 -									
所管課 教育総務課										普通・特別室等									
大分類 学校施設										計算上の区分									
小学校区 鳥飼小学校										普通教室棟 長寿命化 管理・普通教室棟 長寿命化 屋内運動場 長寿命化 特別教室棟 長寿命化									
延床面積 9,908 m <sup>2</sup>										劣化状況評価									
敷地面積 27,055.00 m <sup>2</sup>										種別 様名 部位・設備									
目的外使用 駐車場										2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度									
防災活動拠点 指定避難所・指定緊急避難場所										劣化度 健全度									
建築物の主要部材										種別 様名 部位・設備									
種別 建物名称 建築年度 延床面積 (m <sup>2</sup> ) 建築面積 (m <sup>2</sup> ) 構造 階数 大規模改修年度 新旧耐震基準(耐震対策) 劣化状況										2 普通教室棟 屋根・屋上 A 49									
2 普通教室棟 1973 1,243 鉄筋コンクリート造 3 0 旧(H23耐震補強)										5 管理・普通教室棟 屋根・屋上 A 54									
5 管理・普通教室棟 1974 2,673 鉄筋コンクリート造 3 0 旧(H23耐震補強)										6 屋内運動場 屋根・屋上 A 94									
6 屋内運動場 1973 1,070 鉄骨造 2 0 旧(H23耐震補強)										9 特別教室棟 屋根・屋上 A 59									
9 特別教室棟 2001 522 鉄骨造 2 0 新										11 普通・特別教室棟 屋根・屋上 A 94									
11 普通・特別教室棟 2013 4,400 鉄筋コンクリート造 3 0 2013 新(H23改築工事)										- - - - -									
工事履歴										【屋根・屋上・外壁・内部仕上げ】									
種別 実施年度 事業内容 金額(円・税込) 業者名										A:概ね良好									
2,5 H23 耐震補強 - -										B:部分的に劣化									
2,5 H23 屋上・外壁・トイレ・電気・給水管改修 - -										C:広範囲に劣化									
11 H24+H25 社会資本整備総合交付金(耐震補強及び防災機能強化) - -										D:早急に対応する必要がある									
6 H28 耐震補強・非構造部材耐震化 - -										【電気設備・機械設備】									
6 H28 屋上・外壁・内部・トイレ・電気・給水管改修 - -										A:20年未満									
										B:20年~40年									
										C:40年以上									
										D:著しい劣化がある場合									
										利用状況									
										区分 単位 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度									
										○ 児童・生徒数 人 668 667 678 658 648									
特記事項																			

図5-9 学校施設カルテの記入例

## 第6章 長寿命化の実施計画

### 6.1 学校施設の整備優先度

#### 1) 改修等の優先順位付け

今後の学校施設の整備優先度について、前述の各施設の健全度評価（P.51～56：図3-30、表3-26～表3-30）に施設の重要性（校舎・園舎は、体育館・武道場より重要性が高いとする）を踏まえ、学校施設の優先度を1～5に区分し、下表に示します。

優先度1及び2に該当する建物については、優先的（10年以内を想定）に長寿命化改修や改築等の対策を講じることを推進します。

なお、本章以下の学校施設の整備優先度及び長寿命化計画、整備計画は、長寿命化改修や改築において点検・診断の実施や施工計画の策定、工事等を一体的に実施することが想定される棟をまとめて1つの建物とし、施設配置図に基づき管理上の区分を整理しています。

また、次表に示すとおり、各学校における一体の建物としての健全度は、それを構成する各棟の健全度の平均値を採用しています。

表 6-1 学校施設の整備優先度

		健全度 (文部科学省 学校施設の長寿命化計画に係る解説書付属ツールによる)			
		低			高
		I (25点未満)	II (25点以上50点未満)	III (50点以上75点未満)	IV (75点以上)
施設重要度	高	優先度 1 ・息栖小学校 (校舎 1 : 49) ・横瀬小学校 (校舎 1 : 36、校舎 2 : 45、校舎 3 : 49) ・やたへ土合小学校 (校舎 1 : 38) ・神栖第四中学校 (校舎 1 : 26、校舎 2 : 49) ・波崎第二中学校 (校舎 2 : 27) ・須田幼稚園 (園舎 1 : 49)	優先度 2 ・息栖小学校 (校舎 2 : 54、校舎 3 : 59) ・軽野東小学校 (校舎 : 55) ・大野原小学校 (校舎 2 : 68) ・大野原西小学校 (校舎 : 63) ・柳川小学校 (校舎 : 73) ・太田小学校 (校舎 1 : 67、校舎 2 : 71) ・須田小学校 (校舎 1 : 73、校舎 2 : 71) ・榎松小学校 (校舎 1 : 74) ・神栖第一中学校 (校舎 1 : 68、校舎 2 : 60、校舎 3 : 62) ・神栖第二中学校 (校舎 1 : 59、校舎 2 : 62、校舎 3 : 71) ・神栖第三中学校 (校舎 2 : 59) ・波崎第一中学校 (校舎 2 : 61) ・波崎第二中学校 (校舎 1 : 73) ・波崎第三中学校 (校舎 1 : 73、校舎 2 : 74、校舎 3 : 64、校舎 4 : 56) ・波崎第四中学校 (校舎 1 : 52、校舎 2 : 55) ・うずも幼稚園 (園舎 : 65) ・石神幼稚園 (園舎 1 : 65、園舎 2 : 65、園舎 3 : 65) ・須田幼稚園 (園舎 2 : 62、園舎 3 : 65)	優先度 3 ・やたへ土合小学校 (体育館 : 53) ・神栖第一中学校 (体育館 : 71、武道場 : 71) ・波崎第二中学校 (体育館 1 : 63、武道場 : 71) ・波崎第三中学校 (体育館 : 73) ・波崎第四中学校 (体育館(武道場) : 62)	優先度 4 ・息栖小学校 (校舎 4 : 94) ・深芝小学校 (校舎 : 75) ・軽野小学校 (校舎 1 : 84、校舎 2 : 84) ・大野原小学校 (校舎 2 : 68) ・須田小学校 (校舎 3 : 80) ・波崎小学校 (校舎 : 76) ・波崎西小学校 (校舎 1 : 75、校舎 2 : 75、校舎 3 : 75) ・榎松小学校 (校舎 2 : 75) ・やたへ土合小学校 (校舎 2 : 100) ・神栖第二中学校 (校舎 4 : 75) ・神栖第三中学校 (校舎 1 : 75) ・波崎第一中学校 (校舎 1 : 84) ・波崎第四中学校 (校舎 3 : 75) ・大野原幼稚園 (園舎 : 75) ・須田幼稚園 (園舎 4 : 75)
	低	優先度 2 ・神栖第三中学校 (武道場 : 14) ・神栖第四中学校 (体育館(武道場) : 18)	優先度 3 ・横瀬小学校 (体育館 : 46) ・神栖第三中学校 (体育館 : 37) ・波崎第一中学校 (体育館 : 29)	優先度 4 ・やたへ土合小学校 (体育館 : 53) ・神栖第一中学校 (体育館 : 71、武道場 : 71) ・波崎第二中学校 (体育館 1 : 63、武道場 : 71) ・波崎第三中学校 (体育館 : 73) ・波崎第四中学校 (体育館(武道場) : 62)	優先度 5 ・息栖小学校 (体育館 : 94) ・深芝小学校 (体育館 : 75) ・軽野小学校 (体育館 : 84) ・軽野東小学校 (体育館 : 86) ・大野原小学校 (体育館 : 100) ・大野原西小学校 (体育館 : 77) ・柳川小学校 (体育館 : 84) ・太田小学校 (体育館 : 94) ・須田小学校 (体育館 : 84) ・波崎小学校 (体育館 : 84) ・波崎西小学校 (体育館 : 84) ・榎松小学校 (体育館 : 100) ・神栖第二中学校 (体育館 : 94、武道場 : 94) ・波崎第一中学校 (武道場 : 84) ・波崎第二中学校 (体育館 2 : 82) ・波崎第三中学校 (武道場 : 94)

※表中の ( ) 内の数値は、一体の建物の健全度 (構成される各棟の健全度の平均値) を示します。

優先度別の建物数	I (25点未満)	II (25点以上50点未満)	III (50点以上75点未満)	IV (75点以上)	合計
I・高 (校舎・園舎)	0 (優先度1)	9 (優先度2)	32 (優先度3)	18 (優先度4)	59
II・中 (体育館・武道場)	2 (優先度2)	3 (優先度3)	7 (優先度4)	17 (優先度5)	29
合計	2	12	39	35	88

本市の学校施設の建物は、築 40 年を超える建物が多く、今後 10 年間に長寿命化改修が集中することから、改修等にかかるコストが突出する可能性があります。

早急な改修が求められる建物については、近年中の対応を想定しつつ、財政的かつ施行体制上の困難な状況も勘案し、保全優先度に従い毎年の施設整備コストの平準化を図りつつ計画を実施するものとします。

なお、本計画は、今後の財政状況や社会情勢、市の優先施策に応じて、適宜、計画を変更する可能性があることに留意する必要があります。

## 6.2 学校施設の長寿命化計画

---

今後40年間（2020（令和2）年～2059（令和41）年）の学校施設の長寿命化計画を以下に示します。

文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトにより試算した今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の結果や劣化状況調査結果の健全度評価を踏まえ、前述の改修周期（図4-4、図4-5）に基づいた学校施設の改築、長寿命化改修、大規模改造の実施時期について、小学校・中学校・幼稚園・教職員住宅・その他の施設別、かつ、建物用途別（校舎・園舎、体育館、武道場、教職員住宅、その他）に次表に示します。

ただし、第1期は直近10年間の計画であり、次節「6.3 学校施設の整備計画」に示すとおり、整備優先度に基づき長寿命化改修の時期を調整しています。

表6-2 学校施設の長寿命化計画

			長期整備計画 (40年間)							
施設名	建物用途	棟番号	第1期		第2期		第3期		第4期	
			2020~2024	2025~2029	2030~2034	2035~2039	2040~2044	2045~2049	2050~2054	2055~2059
息緒小学校	校舎1	2		長寿命化改修						改築
	校舎2	5		長寿命化改修						改築
	校舎3	9		大規模改造						長寿命化改修
	校舎4	11				大規模改造				
深芝小学校	体育館	6		長寿命化改修						改築
	校舎	1			大規模改造					長寿命化改修
軽野小学校	体育館	2			大規模改造					長寿命化改修
	校舎1	10-1、10-2		長寿命化改修						改築
軽野東小学校	校舎2	15			長寿命化改修					改築
	体育館	11		長寿命化改修						改築
大野原小学校	校舎	1-1、1-2、1-3、1-4、1-5		長寿命化改修						改築
	体育館	2		長寿命化改修						改築
横瀬小学校	校舎1	1-1、1-2、1-3、1-4、1-5		長寿命化改修						改築
	体育館	11								改築
大野原西小学校	校舎2	11	部位修繕			長寿命化改修				
	体育館	6		長寿命化改修						
横瀬小学校	校舎1	1	部位修繕			長寿命化改修				
	校舎2	2	部位修繕			長寿命化改修				
大野原西小学校	校舎3	7	部位修繕				長寿命化改修			
	体育館	3	大規模改造			長寿命化改修				
柳川小学校	校舎	1	部位修繕				長寿命化改修			
	体育館	2、6	大規模改造				長寿命化改修			
太田小学校	校舎	10-1、10-2、10-3		長寿命化改修		大規模改造				改築
	体育館	12-1		長寿命化改修						
須田小学校	校舎1	8-1、8-2、14		長寿命化改修						改築
	校舎2	13	部位修繕		長寿命化改修					
須田小学校	体育館	10		長寿命化改修						
	校舎1	6、15	部位修繕		長寿命化改修					
波崎小学校	校舎2	12					長寿命化改修			
	校舎3	14				大規模改造				長寿命化改修
波崎西小学校	体育館	5		長寿命化改修						
	校舎	20、26、27		長寿命化改修						改築
波崎西小学校	体育館	23		長寿命化改修						
	校舎1	22				大規模改造				
植松小学校	校舎2	16		長寿命化改修						改築
	校舎3	18			長寿命化改修					
植松小学校	体育館	17		長寿命化改修						
	校舎1	1-1、1-2、1-3、1-4、1-6、10		長寿命化改修						改築
やたべ土舎小学校	校舎2	8-1、8-2	部位修繕		長寿命化改修					改築
	校舎1	1	部位修繕		長寿命化改修					
神緒第一中学校	校舎2	8			大規模改造					長寿命化改修
	体育館	5	大規模改造			長寿命化改修				
神緒第二中学校	校舎1	1-1、1-2、1-3		長寿命化改修						改築
	校舎2	3		長寿命化改修						改築
神緒第三中学校	校舎3	12	部位修繕		長寿命化改修					
	体育館	19-1、19-2、19-3			長寿命化改修			長寿命化改修		
神緒第四中学校	武道場	11	部位修繕		長寿命化改修					
	校舎1	1-1、1-2、1-3		長寿命化改修						改築
神緒第二中学校	校舎2	2		長寿命化改修						改築
	校舎3	3		長寿命化改修						改築
神緒第三中学校	校舎4	18	解体							
	校舎5(新)	-				大規模改造				
神緒第四中学校	体育館	4-1		長寿命化改修						改築
	武道場	9		長寿命化改修						
波崎第一中学校	校舎1	13				大規模改造				
	校舎2	12		大規模改造						
波崎第二中学校	体育館	10-1、10-2、10-3		大規模改造				長寿命化改修		長寿命化改修
	校舎・武道場	6-1、6-2			長寿命化改修					
波崎第三中学校	校舎1	1、2-5、2-6	部位修繕		長寿命化改修					
	校舎2	7	部位修繕				長寿命化改修			
波崎第四中学校	校舎・武道場	2-1、2-2	大規模改造				長寿命化改修			
	校舎1	23					大規模改造			
うずも幼稚園	校舎2	1-4		長寿命化改修						
	体育館	17		大規模改造						
石神幼稚園	武道場	13		長寿命化改修						改築
	校舎1	9-1、9-2、11-3		長寿命化改修						改築
大野原幼稚園	校舎2	4	解体							
	体育館1	5、13、14		長寿命化改修						改築
須田幼稚園	体育館2	15		長寿命化改修						
	武道場	11-1、11-2	部位修繕		長寿命化改修					
土倉住宅	校舎1	2-1、2-2、3		長寿命化改修						改築
	校舎2	14-1、14-2	部位修繕				長寿命化改修			
第二松風荘	校舎3	13	部位修繕				長寿命化改修			
	校舎4	1		長寿命化改修						改築
第二泉荘	体育館	16-1、16-2		大規模改造						長寿命化改修
	武道場	9		長寿命化改修						改築
旧矢田部小学校	校舎1	1	部位修繕			長寿命化改修				
	校舎2	2、3	部位修繕			長寿命化改修				
旧楳松幼稚園	校舎3	10				大規模改造				長寿命化改修
	体育館・武道場	4	大規模改造				長寿命化改修			
旧清水住宅	園舎	5	大規模改造					長寿命化改修		
	園舎1	1		長寿命化改修						改築
大野原幼稚園	園舎2	4		長寿命化改修						
	園舎3	6		大規模改造						長寿命化改修
須田幼稚園	園舎	1-1、1-2、1-3、1-4、1-5		長寿命化改修						
	園舎1	2	部位修繕		長寿命化改修					
土倉住宅	園舎2	3	部位修繕		長寿命化改修					
	園舎3	5	部位修繕				長寿命化改修			
第二松風荘	園舎4	7		大規模改造						長寿命化改修
	その他	-	部位修繕					解体		
旧矢田部小学校	その他	-	部位修繕			解体				
	その他	-	部位修繕							
旧楳松幼稚園	12-1、12-2			長寿命化改修						
	その他	-		解体						
旧清水住宅	1-1、1-2、1-3、3-1、3-2、6、7、8			解体						
	その他	-		解体						

## 6.3 学校施設の整備計画

文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトにより試算した今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の結果や劣化状況調査結果の健全度、総合評価点による整備優先度を考慮した上で整備計画を策定します。

第1期（2020～2029）の整備期間の10年間の学校施設の改築、長寿命化改修、大規模改造、部位修繕の実施時期及び費用について、小学校・中学校・幼稚園・教職員住宅・その他の施設別、かつ、建物用途別（校舎・園舎、体育館、武道場、教職員住宅、その他）に次表以降に示します。

表6-3 第1期整備計画費用（項目別合計）

(単位：百万円)

費用項目	今後の維持・更新コスト									
	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)
施設整備費	213.8	414.9	816.9	480.7	305.5	2,842.6	2,719.4	1,305.1	1,935.9	822.5
維持修繕費	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2
その他施設関連経費	193.4	193.4	193.4	193.4	193.4	193.4	193.4	193.4	193.4	193.4
光熱水費・委託費	130.1	130.1	130.1	130.1	130.1	130.1	130.1	130.1	130.1	130.1
小学校・中学校・幼稚園・教職員住宅・その他 年間 計	794.5	995.6	1,397.6	1,061.4	886.2	3,423.3	3,300.1	1,885.8	2,516.6	1,403.3
小学校・中学校・幼稚園・教職員住宅・その他 5年間 計	5,135.3					12,529.0				
小学校・中学校・幼稚園・教職員住宅・その他 10年間 計	17,664.3									

※その他の施設整備費及び維持修繕費、光熱水費・委託費は、過去5年の実績値を平均した見込額です。

表6-4 第1期整備計画（小学校）

施設名	健全度	優先度 (5区分)	建築物用途	棟番号	今後の維持・更新コスト																			
					令和2年度 (2020)		令和3年度 (2021)		令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)		令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)		令和8年度 (2026)		令和9年度 (2027)		令和10年度 (2028)		令和11年度 (2029)	
					金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目	金額	工事項目
鹿嶋小学校	49	2	校舎1	2	準備期間																			
	54	3	校舎2	5	準備期間																			
	59	3	校舎3	9	準備期間																			
	94	5	校舎4	11	準備期間																			
	75	4	校舎5	1	準備期間																			
深芝小学校	75	5	体育館	2	準備期間																			
	84	4	校舎1	10-1、10-2																				
軽野小学校	84	4	校舎2	15	準備期間																			
	84	5	体育館	11	準備期間																			
軽野東小学校	55	3	校舎	1-1、1-2、1-3、1-4、1-5	準備期間																			
	86	5	体育館	2	準備期間																			
大野原小学校	81	4	校舎1	1-1、1-2、1-3、1-4、1-5	準備期間																			
	68	3	校舎2	11	準備期間																			
柳瀬小学校	100	5	体育館	6	準備期間																			
	36	2	校舎1		準備期間																			
	45	2	校舎2		準備期間																			
	49	2	校舎3		準備期間																			
	46	3	体育館	3	準備期間																			
大野原西小学校	63	3	校舎		準備期間																			
	77	5	体育館	2、6	準備期間																			
柳川小学校	74	3	校舎	10-1、10-2、10-3	準備期間																			
	84	5	体育館	12-1	準備期間																			
太田小学校	67	3	校舎1	8-1、8-2、14	準備期間																			
	71	3	校舎2	13	準備期間																			
須田小学校	73	3	校舎1	10	準備期間																			
	94	5	体育館	10	準備期間																			
	71	3	校舎2		準備期間																			
	80	4	校舎3		準備期間																			
	84	5	体育館		準備期間																			
波崎小学校	76	4	校舎	20、26、27	準備期間																			
	84	5	体育館	23	準備期間																			
波崎西小学校	75	4	校舎1	22	準備期間																			
	75	4	校舎2	16	準備期間																			
	75	4	校舎3	18	準備期間																			
	84	5	体育館	17	準備期間																			
	74	3	校舎1	1-1、1-2、1-3、1-4、1-6、10	準備期間																			
榎井小学校	75	4	校舎2	8-1、8-2	準備期間																			
	100	5	体育館	2	準備期間																			
やたへ土命小学校	38	2	校舎1	1	準備期間																			
	100	4	校舎2	8	準備期間																			
53	4	体育館	5	準備期間																				
小学校 年間計					93.1																			
小学校 5年間計					414.9																			
小学校 10年間計					823																			
小学校 5年間計					141.0																			
小学校 10年間計					0.0																			
					1,313.3																			
					1,371.8																			
					1,099.0																			
					1,889.6																			
					590.6																			

(単位：百万円)



表6-5 第1期整備計画（中学校）

施設名	健全度 (5区分)	優先度 (5区分)	建築物用途	棟番号	今後の維持・更新工口																			
					令和2年度 (2020)		令和3年度 (2021)		令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)		令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)		令和8年度 (2026)		令和9年度 (2027)		令和10年度 (2028)		令和11年度 (2029)	
					工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額
神橋第一中学校	68	3	校舎1	1-1, 1-2, 1-3																				
	60	3	校舎2	3																				
	62	3	校舎3	12																				
	73	4	体育館	3																				
神橋第二中学校	59	3	校舎1	1-1, 1-2, 1-3																				
	62	3	校舎2	2																				
	71	3	校舎3	3																				
	75	4	校舎4	18																				
神橋第三中学校	100	4	校舎5 (粉)	-																				
	94	5	体育館	4-1																				
	94	5	武道場	9																				
	75	4	校舎1	13																				
神橋第四中学校	59	3	校舎2	12																				
	37	3	体育館	3																				
	14	2	校舎・ 武道場	6-1, 6-2																				
	26	2	校舎1	1, 2-5, 2-6																				
波崎第一中学校	49	2	校舎2	7																				
	18	2	校舎・ 武道場	2-1, 2-2																				
	84	4	校舎1	23																				
	61	3	校舎2	1-4																				
波崎第二中学校	29	3	体育館	17																				
	84	5	武道場	13																				
	27	2	校舎2	4																				
	63	4	体育館1	5, 13, 14																				
波崎第三中学校	82	5	体育館2	15																				
	71	4	武道場	11-1, 11-2																				
	73	3	校舎1	2-1, 2-2, 3																				
	64	3	校舎3	13																				
波崎第四中学校	56	3	校舎4	1																				
	73	4	体育館	16-1, 16-2																				
	94	5	武道場	9																				
	52	3	校舎1	1																				
計	75	3	校舎2	2, 3																				
	75	4	校舎3	10																				
	62	4	体育館・ 武道場	4																				
	00																							
中学校 年間計					1207																			
中学校 5年間計																								
中学校 10年間計																								
計					1,181.6	525.3	230.1	305.5	1,254.1	1,078.0	189.7	246.3	179.6	4,129.3	2,947.6									

表6-6 第1期整備計画（幼稚園、教職員住宅・その他）

今後の維持・更新コスト

(単位：百万円)

施設名	健全度	優先度 (5区分)	建築物用途	棟番号	令和2年度 (2020)		令和3年度 (2021)		令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)		令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)		令和8年度 (2026)		令和9年度 (2027)		令和10年度 (2028)		令和11年度 (2029)	
					工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額
うずも幼稚園	65	3	園舎	5							大規模改築	109.6												
石津幼稚園	65	3	園舎1	1																				
	65	3	園舎2	4																				
	65	3	園舎3	6																				
大野原幼稚園	75	4	園舎	1-1、1-2、1-3、 1-4、1-5																				
	49	2	園舎1	2																				
須田幼稚園	62	3	園舎2	3																				
	65	3	園舎3	5																				
	75	4	園舎4	7																				
幼稚園 年間計					0.0	0.0	14.2	109.6	0.0	75.3	69.5	16.4	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.4
幼稚園 5年間計					337.4																			
幼稚園 10年間計																								

今後の維持・更新コスト

(単位：百万円)

施設名	健全度	優先度 (5区分)	建築物用途	棟番号	令和2年度 (2020)		令和3年度 (2021)		令和4年度 (2022)		令和5年度 (2023)		令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)		令和8年度 (2026)		令和9年度 (2027)		令和10年度 (2028)		令和11年度 (2029)	
					工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額	工事種目	金額
土合住宅	-	-	教職員住宅	-																				
第一松風荘	-	-	教職員住宅	-																				
第二泉荘	-	-	教職員住宅	-																				
旧矢田部小学校	-	-	校舎	12-1、12-2																				
旧福松幼稚園	-	-	園舎	1-1、1-2、1-3、 3-1、3-2、6、7、 8																				
	-	-	教職員住宅	-																				
旧清水住宅	-	-	教職員住宅	-																				
教職員住宅・その他 5年間計					0.0	0.0	44.1	200.0	0.0	200.0	200.0	0.0	0.0	200.0	0.0	0.0	200.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教職員住宅・その他 10年間計					444.1																			

## 6.4 長寿命化計画の維持・更新コストの見通しと課題

### 1) 長寿命化計画の維持・更新コストの見通し

文部科学省の「解説書」付属エクセルソフトにより試算した従来型の今後の維持・更新コストは、40年間で約815.9億円、年平均約20.4億円と試算されました。一方、全施設を長寿命化対象とし、長寿命化周期を50年で試算した今後の維持・更新コストは、40年間の総額で約626.5億円、年平均は約15.7億円となり、従来型と比較して40年間の総額では約189.5億円が縮減されます。

ただし、長寿命化を行ったとしても、今後も過去の施設関連整備費（17.2億円）と同程度の施設関連整備費用がかかることになり、今後の維持・更新にかかる予算確保が大きな課題となってきます。

また、今後の維持・更新コストを10年単位で見えていくと、長寿命化改修が集中して行われる2020年～29年の直近10年間では、約178億円、改築が集中して行われる2050年～59年の最後の10年間では、約190億円として改築費用が多額に見込まれる課題があります。

学校施設の整備優先度に基づく直近の整備計画を進めた場合、建築から改修や更新時期を経過した建物における積み残し対応が、その後のコストの増大につながることも考慮する必要があります。

前節に示した今後40年間の更新費用の見通しは、過去5年間の施設関連経費の実績から比べると差が小さいですが、将来的な市の財政状況を鑑みると、今後も過去と同様に予算を見込めるとは限りません。

そのため、今後、本計画の見直しを行っていく過程で、長寿命化や予防保全を勘案し、維持管理コストの縮減及び平準化に努めるとともに、児童・生徒・園児数の推移を注視しながら、市民へ情報開示やご意見を伺いながら、学校施設の減築や適正規模・適正配置等についても、あわせて検討していく必要があります。

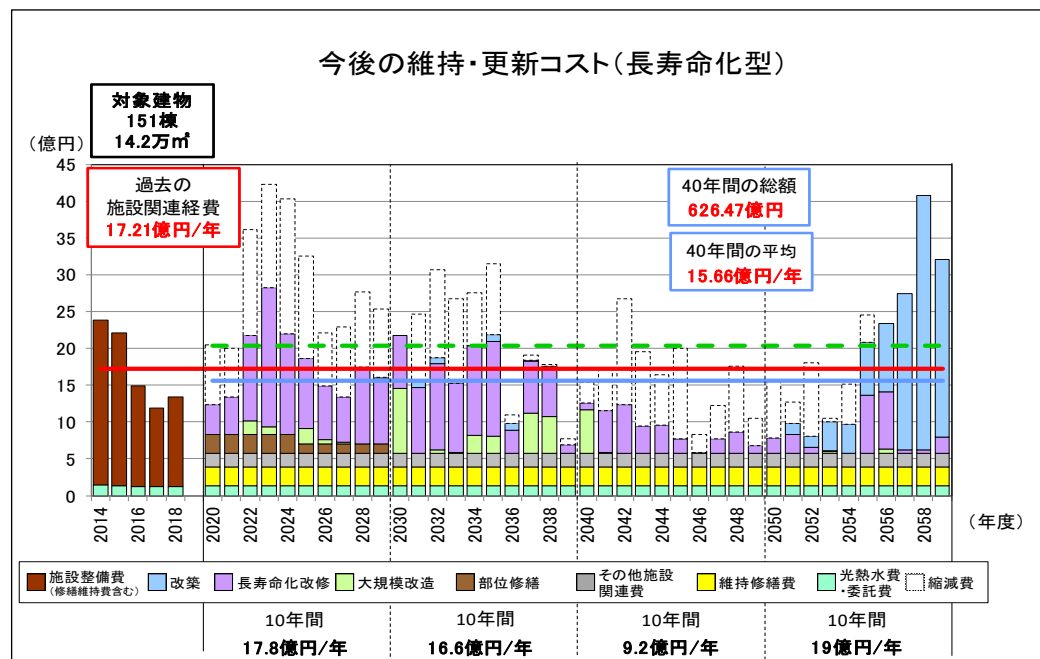
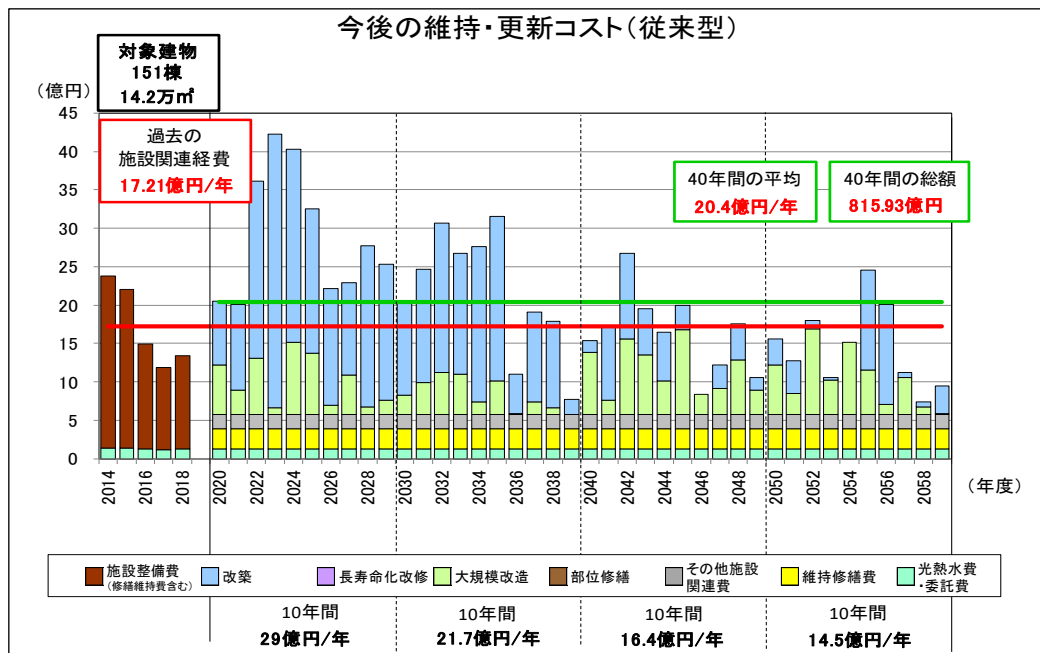


図 6-1 今後の維持更新コスト (従来型から長寿命型への転換) (※図は再掲)

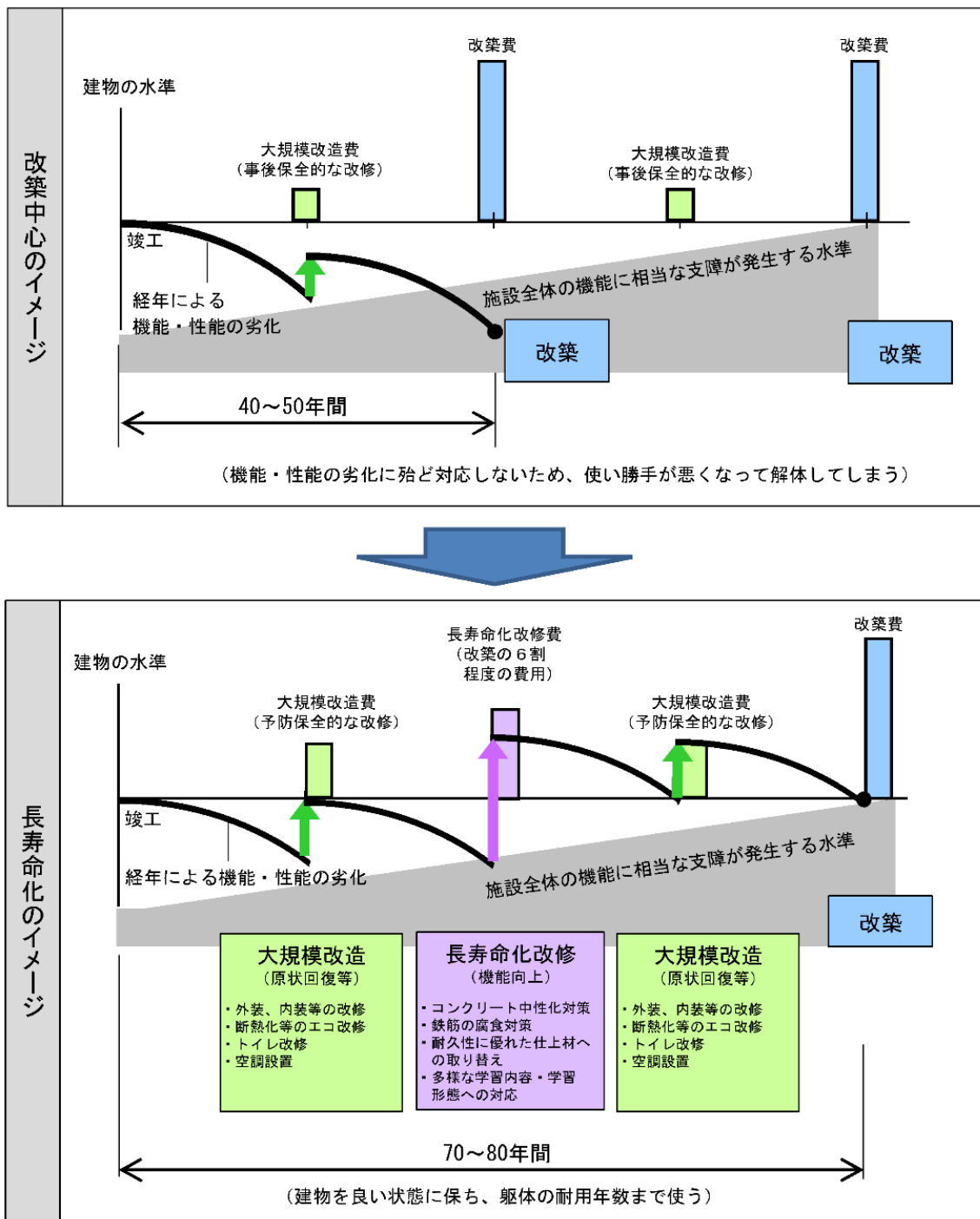


図 6-2 改築中心から長寿命化への転換及び修繕・改築周期のイメージ (※図は再掲)

## 2) 国庫補助金制度の活用

安全で快適な学校施設を維持していくためには、継続的な整備費用が必要となり、財政支出面で大きな負担となります。そのため、実施段階においては、国庫補助金制度を最大限に活用し、財政支出の縮減を図ります。

以下、本計画に関連する国庫補助事業について、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）より抜粋します。

**長寿命化改良事業の概要**

従来、改築（建替え）していた老朽施設の再生を図るため、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など現代の社会的要請に応じた改修を支援します。

【対象校】 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校

【対象建物】 校舎、屋内運動場、寄宿舎

【算定割合】 1／3

【補助要件】 構造体の劣化対策を要する建築後40年以上経過した建物

下限額：7,000万円（小規模校 1,000万円、幼稚園 400万円）

**大規模改造（老朽）事業の概要**

経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や、教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る改修を支援します。

【対象校】 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校

【対象建物】 校舎、屋内運動場、寄宿舎

【算定割合】 1／3（財政力指数が1.0を超える設置者にあっては2／7）

【補助要件】 建築後20年以上の建物の外部及び内部の両方を同時に全面的（※建物全体の延べ床面積の約70%以上）に改造する工事

上限額：2億円（過去急増市町村にあっては3億円）

下限額：7,000万円（小規模校 1,000万円、幼稚園 400万円）

平成 29 年度予算に係る地方財政措置等について

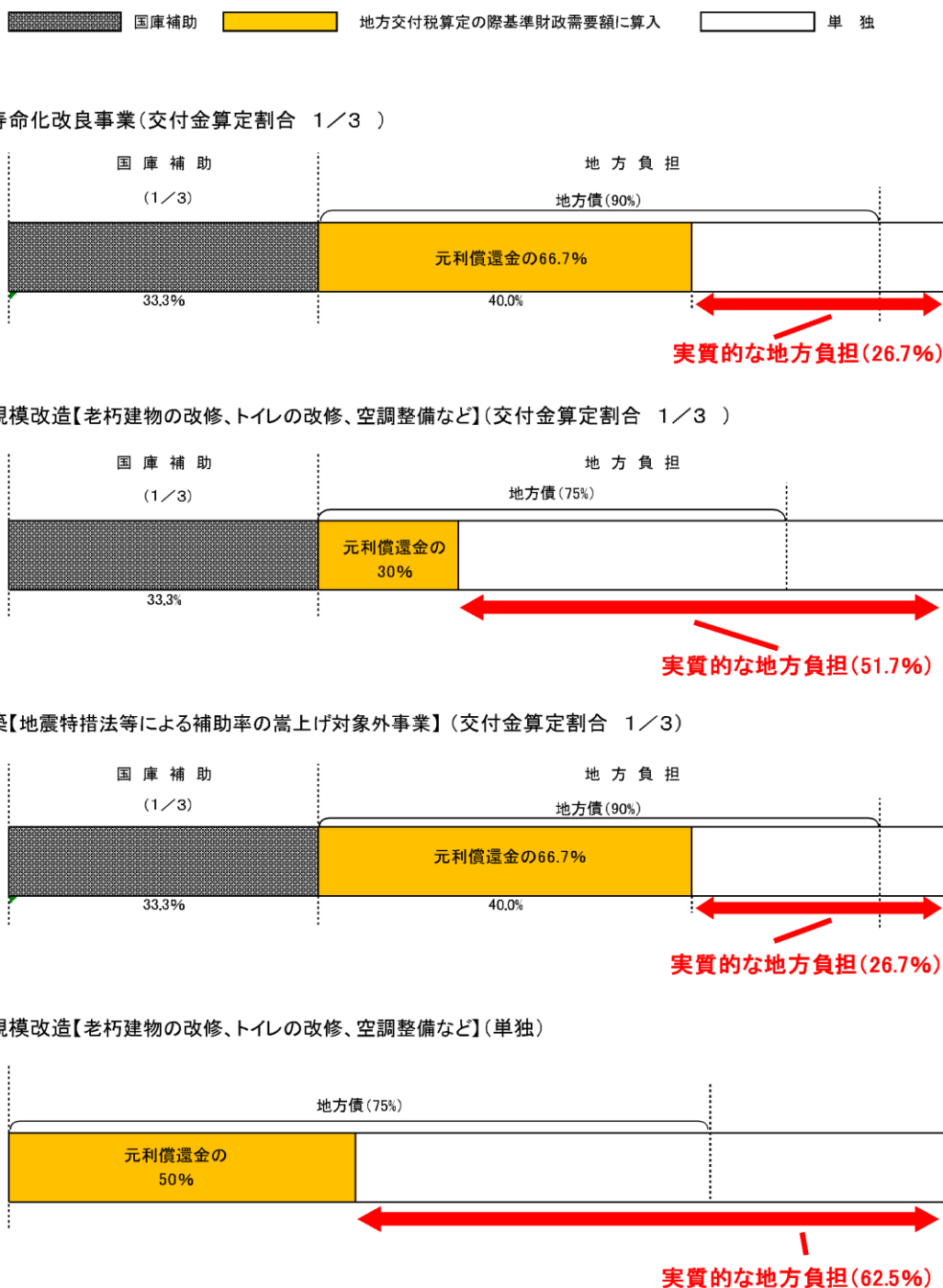


図 6-3 平成 29 年度予算に係る地方財政措置等について (1/2)  
 引用:「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成 29 年3月、文部科学省)

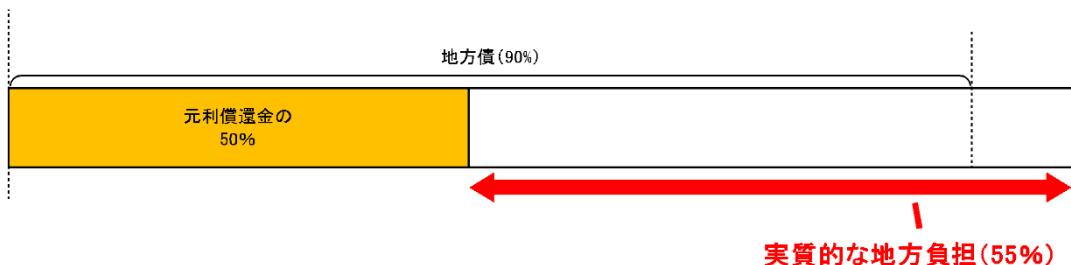
地方交付税算定の際基準財政需要額に算入
  単 独

◆集約化・複合化事業に係る地方債措置

【対象】

公共施設等総合管理計画に基づいて実施される既存の公共施設の集約化・複合化事業であって、全体として延床面積が減少するもの（庁舎等の公用施設や公営住宅、公営企業施設等は対象外）

【充当率】

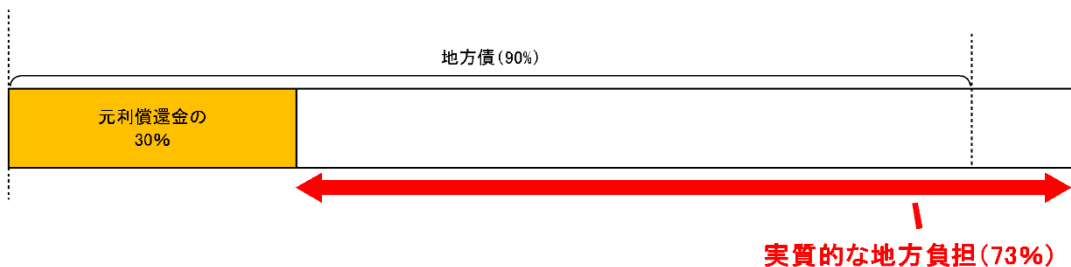


◆転用事業に係る地方債措置

【対象】

公共施設等総合管理計画に基づいて実施される既存の公共施設等の転用事業（転用後の施設が庁舎等の公用施設、公営住宅、公営企業施設等である場合は対象外）

【充当率】



◆公共施設等の除却についての地方債の特例措置

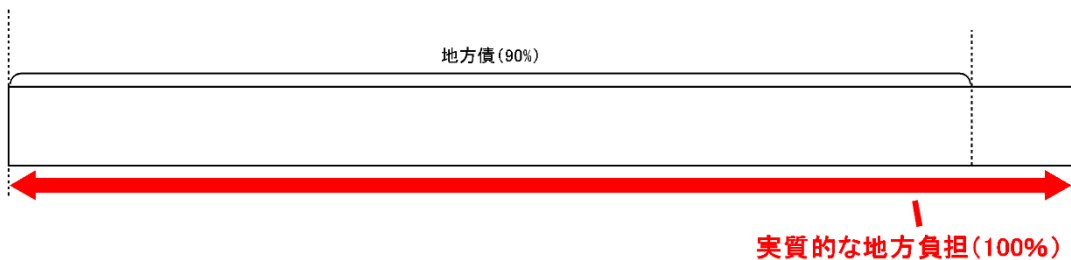


図 6-4 平成 29 年度予算に係る地方財政措置等について（2 / 2）

引用：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月、文部科学省）



## 第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

### 7.1 情報基盤の整備と活用

学校施設の劣化状況の点検・評価結果は、今後の維持管理の基礎資料となる重要な情報であり、記録し、保管していく必要があります。また、点検・評価後に修繕や改修等を行った場合の履歴についても、同様に管理していくことにより、効果的・効率的な維持管理が可能となります。その際、関係各課でこれら各情報を相互に反映（随時更新）できる一元的な管理を行うため、施設情報を共有化する仕組みの構築が求められます。

学校施設の基本情報、光熱水費等の維持管理費や劣化状況調査結果、修繕や改修履歴のデータベース化や施設管理システム等の活用も検討しつつ、一元的な管理による学校施設情報の共有化や継続的な運用及び維持管理を推進していきます。

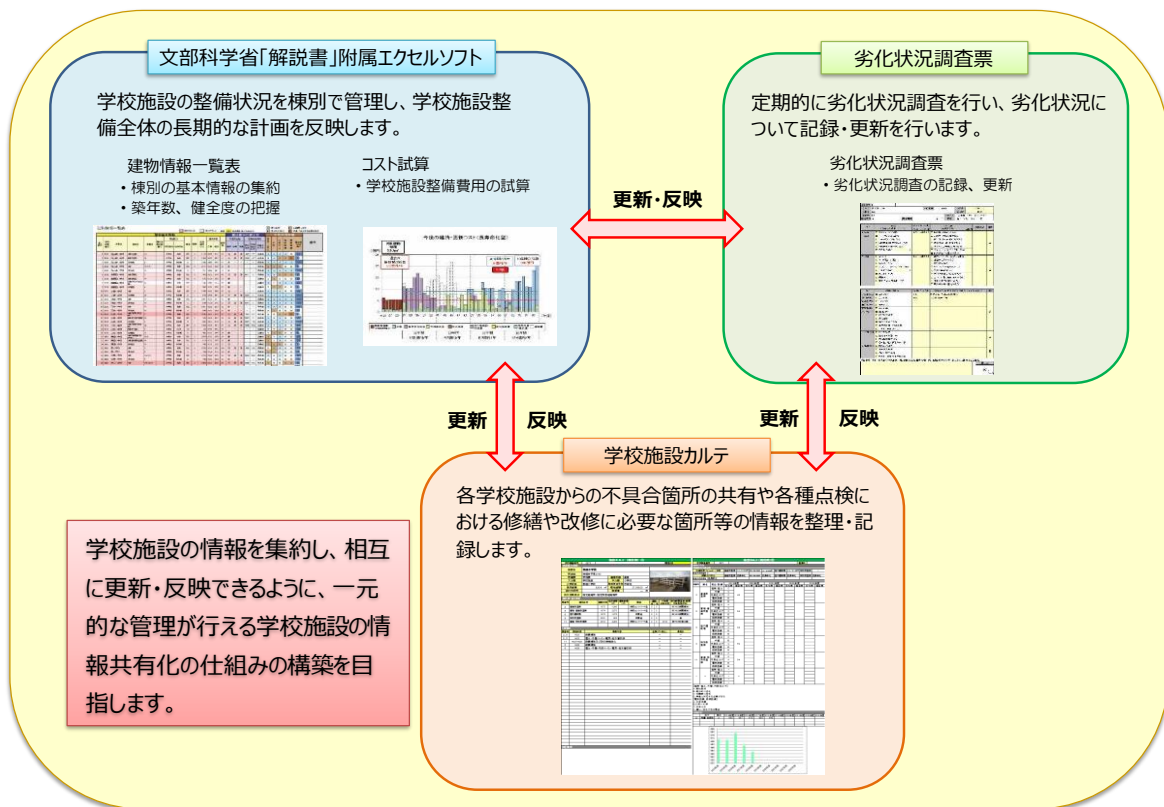


図 7-1 一元的な管理による学校施設情報の共有化の仕組みの構築イメージ

## 7.2 推進体制の整備

計画を継続的に実施するために、教育総務課を中心に関係各課と連携し、全庁的な推進体制の整備に取り組んでいきます。

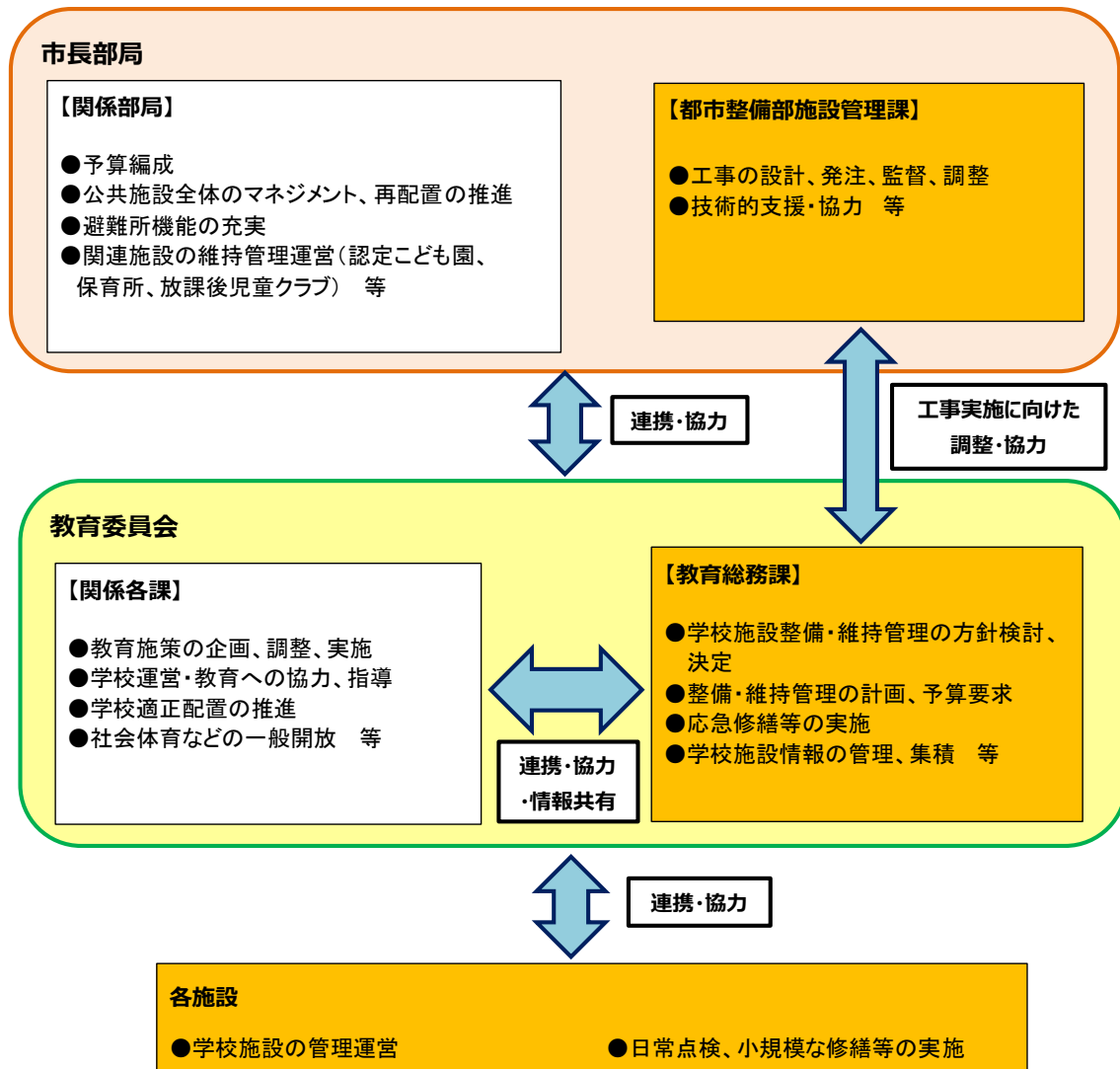


図 7-2 推進体制における担当部署との連携イメージ

### 7.3 フォローアップ

計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。

そのため、PDCA サイクルの考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。特に、計画の見直し時は、長寿命化の実施状況、施設の劣化度を評価、検証し、改善に向けての検討等、チェック機能とフォローアップに基づく取り組みを推進していきます。

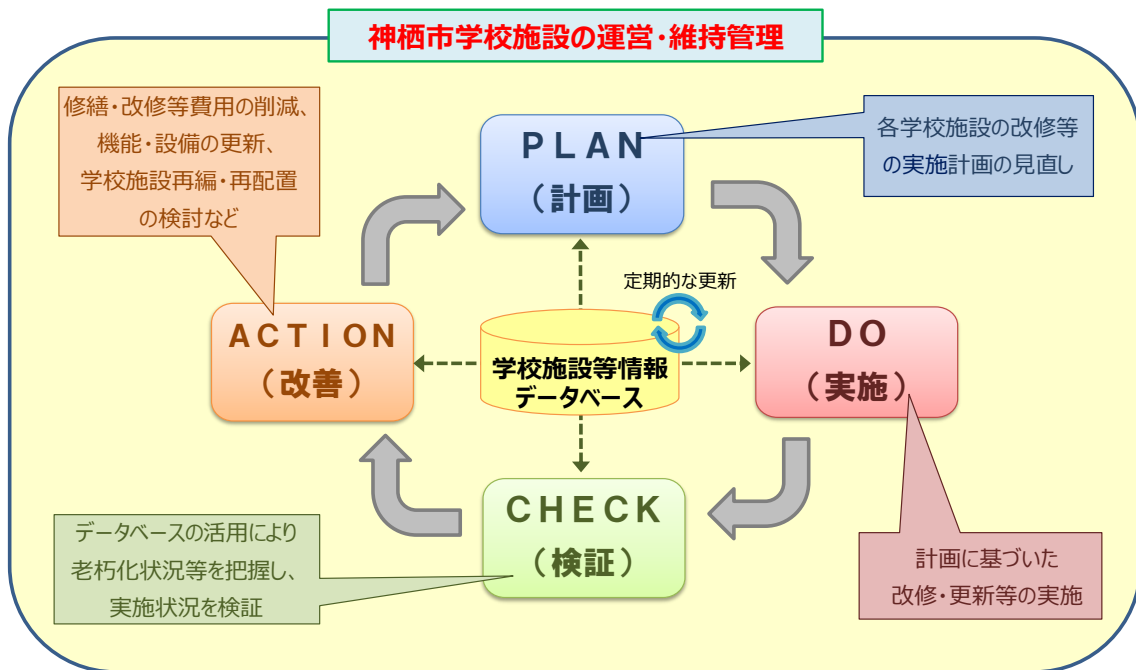


図 7-3 PDCA サイクルによるフォローアップの実施方針イメージ

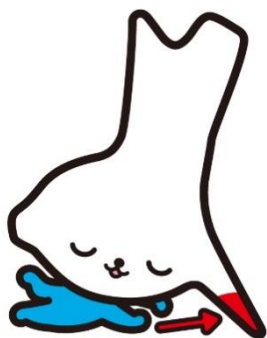


## 参考資料

### 参考文献

- 本文中における引用または参考とした文献及び計画等
- ・「学校施設の長寿命化改修の手引」（平成 26 年 1 月、文部科学省）
- ・「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月、文部科学省）
- ・「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月、文部科学省）
- ・「学校施設の長寿命化計画に関する事例集」（平成 29 年 3 月、文部科学省）
- ・「小学校施設整備指針」（平成 28 年 3 月、文部科学省）
- ・「中学校施設整備指針」（平成 28 年 3 月、文部科学省）
- ・「幼稚園施設整備指針」（平成 28 年 3 月、文部科学省）
- ・「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）
- ・「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」（平成 27 年 11 月、文部科学省）
- ・「学校施設の老朽化対策について」（平成 25 年 3 月、文部科学省）
- ・「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（平成 27 年 1 月、文部科学省）
- ・「廃校リニューアル 50 選」（平成 15 年 4 月、文部科学省、「廃校施設の実態及び有効活用状況等調査研究委員会」）
- ・「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」（平成 25 年 3 月、文部科学省）
- ・「エコスクールー環境を考慮した学校施設の整備推進ー」（平成 29 年 6 月、文部科学省他）
- ・「近年の災害から学ぶ避難所となる学校施設について～バリアフリー化の取り組み事例集」（平成 30 年 3 月、文部科学省）
- ・「これからの幼稚園施設」（令和元年 6 月、文部科学省）
- ・「公共施設等更新費用試算ソフト仕様書」（平成 27 年 5 月、総務省）
- ・「減価償却資産の耐用年数に関する省令（の学校用）」（改正：平成 30 年 3 月 31 日、財務省）
- ・「公営住宅法施行令」（改正：平成 29 年 12 月 22 日、政令第 319 号）
- ・「都市再開発法施行令」（改正：平成 30 年 6 月 6 日、政令第 183 号）
- ・「スポーツ施設のストック適正化 ガイドライン」（平成 30 年 3 月、スポーツ庁）

- 「改修比率算定表（公立学校施設整備事務ハンドブック）」（令和元年、公立学校施設法令研究会）
- 「公立学校施設整備事務ハンドブック」（令和元年、公立学校施設法令研究会）
- 「建築物の耐久計画に関する考え方」（1988年10月、日本建築学会）
- 「建築工事標準仕様書」（JASS5鉄筋コンクリート工事2009年、日本建築学会）
- 「学校施設優良部品推奨事業（2019年度）」（（社）文教施設協会）
  
- 「第2次神栖市総合計画～かみす共創まちづくりプラン～（2018年度～2022年度）」（平成30年6月、神栖市企画部政策企画課）
- 「神栖市生涯学習推進計画[後期見直し計画]」（平成28年3月、神栖市企画部市民協働課）
- 「神栖市学校適正規模適正配置基本計画（改訂版）」（平成28年10月、神栖市教育委員会学務課）
- 「神栖市子どものための施設等再編基本計画」（平成27年4月、神栖市健康福祉部福祉事務所こども課／教育委員会学務課）
- 「神栖市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月、神栖市企画部政策企画課）
- 「神栖市人口ビジョン」（平成29年7月、企画部政策企画課）
- 「第2期神栖市教育振興基本計画」（平成30年12月、神栖市教育委員会教育総務課）



## 用語集

---

### 長寿命化：

建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を伸ばすこと。保全建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。

### 予防保全：

損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持や回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。

### 事後：

保全老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。

### 維持管理：

建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。

### 更新：

既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義ととらえてよい。改築老朽化により構造上危険な状態にあったり、教育上、著しく不適当な状態にあったりする既存の建物を「建替える」こと。

### 改修：

改修経年劣化した建物の部分または全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。

### 修繕：

経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。

### 長寿命化改修：

長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

### 大規模改修、大規模改造：

老朽化の進行している施設について、改修の総費用を抑えるために部位ごとに改修を行うのではなく、棟ごとに改修を行うこと。

### 躯体：

柱、梁、床等の建物の構造部分のこと。

## 庁内検討委員会の実施

本計画における庁内検討委員会の実施概要と委員構成を以下に示します。

### ■ 庁内検討委員会の実施概要

回数	開催日	審議内容
1	2019/8/23(木) 13時15分～15時00分	・目指すべき姿の設定 ・学校施設の全体把握の整理 等
2	2019/10/29(火) 10時00分～12時00分	・学校施設の老朽化状況の実態把握 ・施設整備の基本方針の策定案 等
3	2019/12/24(火) 10時00分～12時00分	・ライフサイクルコストの試算 ・40年間の長寿命化計画(案)及び実施計画(案) ・神栖市学校施設等長寿命化計画(素案)完成 等
4		

### ■ 委員構成

番号	役職名	職氏名	備考
1	委員長	教育委員会 教育部長	教育委員会の代表として選任
2	副委員長	教育委員会 教育総務課長	学校施設の維持管理面の代表として選任
3	委員	教育委員会 学務課長	学校内部の運営面の代表として選任
4	委員	教育委員会 文化スポーツ課長	体育館を利用する社会体育等の代表として選任
5	委員	教育委員会 教育指導課長	子ども達や教職員等の管理面の代表として選任
6	委員	企画部 政策企画課長	上位計画(神栖市施設総合管理計画)策定部署の代表として選任







## 神栖市学校施設等長寿命化計画（素案）

令和2年 1月  
神栖市

住所 : 〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991-5  
電話番号 : 0299-77-7212 (直通)  
FAX : 0299-77-7703  
E-mail : kyoiku@city.kamisu.ibaraki.jp